

第Ⅱ編

中部支部のあゆみ

第3章 | 特別寄稿

3.1 まえがき

本章では、歴代中部支部長の執筆による特別寄稿として、平成10年度以降に中部支部長を経験された方々の寄稿文を掲載する。執筆にあたって、寄稿文は1件あたり1ページ程度とし、その内容は「中部支部のあゆみ」に沿ったものとなるようお願いした。すでに故人となられた方、ご多忙のため執筆いただけなかった方がいるため、平成10年度以降の歴代中部支部長の一覧を示した。

3.2 歴代支部長一覧 (平成10年以降)

歴代	年度	氏名	役職(就任当時)
第61代	平成10年度	伊佐治 敏	愛知県土木部長
第62代	平成11年度	犬飼 隆一	名古屋市土木局長
第63代	平成12年度	山本 邦夫	名古屋高速道路公社副理事長
第64代	平成13年度	松井 寛	名古屋工業大学教授
第65代	平成14年度	本多 啓	東海旅客鉄道(株)常務取締役 技術本部本部長
第66代	平成15年度	大根 義男	愛知工業大学教授
第67代	平成16年度	村田 進	国土交通省中部地方整備局長
第68代	平成17年度	宇佐美 勉	名古屋大学大学院教授
第69代	平成18年度	藤井 則義	愛知県建設部長
第70代	平成19年度	渡辺 恭久	名古屋市緑政土木局長
第71代	平成20年度	宮池 克人	中部電力(株)代表取締役副社長執行役員
第72代	平成21年度	山本 幸司	名古屋工業大学教授
第73代	平成22年度	野田 豊範	東海旅客鉄道(株)代表取締役副社長
第74代	平成23年度	伊藤 義人	名古屋大学教授
第75代	平成24年度	梅山 和成	国土交通省中部地方整備局長
第76代	平成25年度	平井 雄二	愛知県土木部長
第77代	平成26年度	早川 高明	名古屋市緑政土木副局長
第78代	平成27年度	小室 俊二	中日本高速道路(株)取締役常務執行役員 経営企画本部本部長
第79代	平成28年度	杉戸 真太	岐阜大学理事・副学長
第80代	平成29年度	服部 邦男	中部電力(株)常務執行役員 土木建築部長兼原子力本部副本部長
第81代	平成30年度	松野 篤二	東海旅客鉄道(株)常務執行役員 建設工事部長, 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部名古屋建設部長
第82代	平成30年度	本田 敦	東海旅客鉄道(株)執行役員 建設工事部長, 中央新幹線推進本部 中央新幹線建設部名古屋建設部長

3.3 寄稿文

当時を振り返って

い さ じ さ と し
伊佐治 敏
平成10年度支部長



私は、昭和35年学生会員になって以来学会とは長いお付き合いになります。愛知県道路建設課に席を置き、中部支部のお手伝いで関係県にも出張する機会ができたお陰で皆さんといろいろな交流する機会を頂きました。

モータリゼーション(なつかしい響き?)の幕が開き、私は昭和40年代当初から環状2号線の計画に係わることができました。当時の建設省中部地建や名古屋市の皆さんと毎日のように議論したのが得難い体験です。米道路局発行の“Highway Capacity Manual”等と首っ引きで今の各インターの計画図をクロソイド定規を使って作成していました。

昭和62年、急に和歌山県土木部に転勤となり紀伊半島の道路整備担当となりました。この年関西国際空港が着工され、和歌山県人は「扇風機の裏側になってしまう」と心配しており、私も先頭になって走らされました。意気軒昂な関西支部支部総会などで「本部からの会費の配分が少ないのやないか」と遠慮なく本部役員を突き上げる光景が珍しくなかったのを覚えています。

愛知へ戻ると、2005国際博覧会の誘致運動が始まっていました。平成9年モナコのBIE総会で正式決定され、土木の関係者は会場、アクセスをどう整備するかを頭を悩ませました。

名古屋瀬戸道路などが自然破壊になるとの議論

の矢面にさらされ、愛知青少年公園が主会場に決定されてようやく会場整備が軌道に乗り、道路網、新交通システム「リニモ」も間に合ったわけです。中部国際空港も、鉄道、アクセス道路と併せて万博に間に合いました。

支部60周年記念事業を平成10年に開催しました。会場を出来上がったばかりの名古屋市能楽堂とし、開会の記念演奏として名古屋能楽協会の重鎮鬼頭喜太郎氏はじめ幹部の方々の囃子方に従って、学会会長以下関係者が白足袋で神妙に入場したのがいい思い出です。

「土木」という言葉に愛着を持っています。

私は愛知県土木部長で退任しましたが、全国的な趨勢で1年後には建設部と名称が変わってしまいました。学会の名前だけはそのままで存続していますが、大学なども土木系という呼び方になりました。英国では、ブルネルがチャーチルについて偉大な人物とされているように、土木技術者が尊敬され認められる国になりたいものです。

本学会は女性会員も増え、若い会員の力も集約されて目覚ましい活動がなされています。

今後、南海トラフ地震、豪雨災害などいわゆるメガクライシス、巨大危機に対応して、他分野とも連携して「土木」の本領を発揮していくことが大事だと思います。

80年は我が人生

いぬかい りゅういち
犬飼 隆一
平成11年度支部長



まず、中部支部の80周年にあたって、これまで関わってこられた各位のご尽力に敬意を表し、心よりお喜びを申し上げます。

80年という、まさに我が人生そのもので、砂埃のたつ道を、草履をはいて、学校に通ったのが社会インフラとの付き合いの始まりであった。

そのような風景も大きく変化し、昭和30年代中頃から、黒四ダムや、オリンピック、高速道路に新幹線など、目覚ましい国土開発がすすむ中、遣り甲斐、生き甲斐に土木を志す大勢の仲間たちが心躍らせた。丁度大学で土木を学んだのもその頃であった。

縁あって名古屋市役所に奉職した新米の技術屋にとって、手掛けた玄関先の工事に、地域の人々から、感謝、感謝で迎え入れてもらい、微力ながら、選んだ仕事に対する充実感や、満足感が、市民のために、地域のために・・・の気持ちに強く背中を押してくれたことを覚えている。

しかし経済成長に伴いインフラ整備の投資も増え、着々と地域整備につながり、便利さや快適さが増すとともに、いつの間にか、社会インフラが“空気”のようなものになり、3Kだとか、政治にも翻弄されたこともあって、社会基盤整備を志す人や、取り組む人々もその数を減らしてきた。

2018年(平成30年)の夏は、当地名古屋でも観測史上初めて40度を超え“高齢者は命にかかると危険な暑さだから外出はなるべく抑えるように”、がテレビでも流れるといった異常な気温を体感した。

このような異常な気候も災いしたのか、西日本をはじめ各地で、水害や、台風そして地震による自然の驚異に晒され、襲われ、山は崩れ、堤防は壊さ

れ、橋は落ち、一面の水害、そして残念ながら命を落とされた方々の悲報を目にし、耳にするたびに、切なく、惨めで、寂しい気持ちにさいなまれた夏であった。

これまでもそうであったように、この時ばかりは社会インフラが“空気”から“非常に大切なモノ”に豹変し、1日も早い“インフラの復旧、復興”に向かって、一斉に土木業界への関心度、期待度は高まり、その中であって、土木屋は己を忘れて、今でも日夜、力を注いでいる仲間たちが大勢いることは周知の事実である。

強くしなやかな国民生活の実現を図るために、防災、減災等に関する強靱な国土づくり実現、知見の高いインフラの維持管理、国際競争を高める社会基盤整備の実現など、持続可能性ある地域づくりのために、昭和の時代とは違った新たな時を迎えていることは、土木分野に関わっているすべての人が承知している。しかしお茶の間の皆さんが同じ目線かという、いささか疑問に感ずるのは、私だけだろうか。

切ないことに、地元で地域づくりに頑張っている多くの業者の方々から、“人手不足・人材不足”の声が悲鳴となって聞こえてくる。否応なしに押し寄せてきている少子化高齢化の波の中にあっても、土木技術者は乞い求められているのだ。

80周年の八という末広がり契機に、お茶の間の理解も得ながら、人手不足と少子化の中での人材確保といった難しい方程式を解きながら、強靱な国づくりの中で、切なさや寂しさ、虚しさを少しでも減らせる、そんな国になるよう、土木学会中部支部に関わる皆様方の奮闘とご尽力を期待すると共に、支部の更なる発展を祈念申し上げます。

わが半世紀を振り返って

まつい ひろし
松井 寛
平成13年度支部長

このたび土木学会中部支部がめでたく創立80周年を迎えられた由、誠に慶賀に存じます。

ちょうど10年前、思いがけず土木学会中部支部70周年記念誌に寄稿させていただく機会を得て、その折には支部長時代の経験談を既に述べさせていただいておりますので、今回は私自身の半世紀余にわたる土木界に身を置く人生を振り返りながら、個人的な感想を述べさせていただきます。

私が土木学会に入会いたしましたのは学生時代の昭和36年、以降学生会員から始まって、正会員、フェロー会員、名誉会員を経て今日まで56年余になります。学生時代は日本がちょうど高度経済成長時代がはじまった頃、昭和39年開催の東京オリンピックに向けて高速道路や新幹線の建設が最盛期を迎える頃で、まさに土木界が輝いていた時代でありました。昭和40年代は日本列島改造論が一大ブームとなり、高速道路や新幹線整備など巨大プロジェクトが全国各地で進められました。このような良き時代に二十代を送ることができたのは今から思えば全く幸運でありました。この頃不足する土木技術者を養成すべく、全国の大学で土木系学科の新設、定員増が図られたことになりました。というわけで私もその1兵卒として大学卒業後大学教員に身を置くこととなり、思いがけずも通算45年にわたる教員人生を送ることとなりました。

我が国の高度経済成長時代は一方で多くの歪を生み出すこととなりました。その際たるものが環境破壊です。昭和48年末に発生したオイルシ

ックにより我が国の高度経済成長時代は終焉し、土木界を取り巻く環境も大きく変わりました。自然環境や居住環境への配慮が重視され、また経済性重視の観点からプロジェクト立案にあたっては、費用便益分析が不可欠のものとなりました。

それからおよそ半世紀が経過し、かつての高度経済成長時代に建設されたインフラが更新時期に入ってきております。これからは維持管理の時代と言われる所以です。いま我が国は少子高齢化が大きな社会問題となっております。とくに建設業界では土木技術者の高齢化率は他の産業に比べても高く、今後熟練技術者の不足が懸念されており、一方では若手技術者も圧倒的に不足しております。技術の継承もままならないのが現状と言われています。また製造業のなかでも建設業の生産性の低さがしばしば指摘されているところです。これらの課題の解決にはいま注目されているAIの活用がこれからの建設業にとって必須となることでしょう。

一方では、AIの進歩によってそう遠くない将来多くの仕事がAIに取って代われ、大量の失業者が生み出されるとも予想されています。土木の今の仕事がAIに取って代わられる部分がどの程度なのかわかりませんが、あらゆる仕事の中で建設業や農業分野が将来AIに取って変わられる割合が高いというAI研究者の見方もありますので、AIの今後の発展に十分に注視していくことが重要でしょう。

自然災害多発の年に思う

みやいけ よしひと
宮池 克人
平成20年度支部長

2018年は、自然災害多発の1年でした。北陸豪雪に始まり、大阪の地震、西日本豪雨、台風21号、北海道の地震、台風24号など、皆さんの生活や仕事にも直接・間接的に影響が及んだのではないのでしょうか。

東日本大震災から7年有余たちました。巨大な地震と津波によって、広域にわたる甚大な被害に加え、原発事故が発生。わが国未曾有の国難となってしまいました。現在も、復興・再生の取り組みが進められています。

この東日本大震災の被害と復旧の状況をもとに、これから30年以内に発生する確率が70~80%とされる南海トラフ地震の被害推計が、内閣府から公表されています。これによれば、地震と津波による死者32万3000人、毀損する建物、工場、公共インフラなどの資産被害は約170兆円に及ぶとしています。

これを東日本大震災と比べると、おのおの1桁大きな数字となっていることに気づきます。その理由は、南海トラフ地震が、社会経済集積が進み、高度な土地利用の行われている中京圏や関西圏などの地域を直撃するためです。

さらに震災の後には、工場などの生産施設や道路、港湾などのインフラが破壊されることによって、経済活動が低迷することになります。この「経済被害」を、阪神淡路大震災後の地域総生産の20

年間の回復カーブを参考にシミュレートした結果、南海トラフ地震による経済被害の総額は、20年間で1,240兆円と推計され、わが国経済の回復が危ぶまれる「国難」に直結しかねないと、土木学会の報告書(2018年6月)は述べています。

同報告書では、リスボン大地震(1755)、幕末・安政の複合災害(東海・南海地震(1854)、江戸地震(1855)、江戸暴風雨(1856))、ポーラサイクロン(1970)などを例示し、災害による内政の混乱や国力の衰退などにより、歴史の流れを大きく変えていく要因となった例を紹介しています。

過去から自然災害を繰り返してきた日本列島。日本人の精神には、災害に対する一種の諦めと、辛かった過去は早々に忘れ去ろうとする心情が育まれているとの説も納得できますが、それは過去の数々の災害から、たくましく立ち直ってきたという自信の裏返しとも言えます。

しかし、今、われわれは、社会経済集積が進んだ地域では自然災害による被害が極端に大きなものになる場合があることに気付いたわけです。これまでのように、再びたくましく立ち直ることができるという幻想は捨て、官民をあげて国民の生活に回復不能で致命的な影響をもたらすことのない、強靱な国土づくりを急がねばならない時代に至っていると、自然災害多発の今日、思いを新たにした次第です。

名古屋工業大学奉職時の 社会貢献活動

やまもと こうし
山本 幸司
平成21年度支部長



土木学会中部支部から平成13年度の幹事長、平成21年度の支部長を仰せつかったが、関係者のご尽力で何とか大役を果たすことができ、平成25年に支部功労賞を頂いたことに感謝している。幹事長時代には幹事団とともに支部活動の活発化に努め、幹事会の議事録作成を導入したことが思い出されるが、支部長時代は幹事団のご尽力にお任せしたことを反省している。その後も事務局関係者のご努力によって支部活動がますます活発になっていることに敬意を表したい。私も微力ながら「大規模地震発生時の緊急対応」をテーマに小学校から社会人組織まで幅広い層に対する出前講座を担当し、少しでも社会基盤施設整備の重要性について理解して頂けるよう努めている。

個人的なことで恐縮であるが、名古屋工業大学在職時の社会貢献活動として、①JICA技術協力、②中部国際空港プロジェクト、③愛・地球博、等に参画できたのは光栄であった。このうち②については構想段階から参加したが、当時はLCC時代の到来を予想し得なかったこと、航空需要規模から2本目の滑走路をクローズド・パラレルと計画したこと、空港アクセス手段が十分ではなかったこと等が思い出される。③については愛・地球博の誘致が決定した後の企画・計画策定と運営に参画し、とりわけ観客輸送対策に責任者の一人として深く関わったことが印象深い。ともあれ、このようなプロジェクトにも土木関係者が深く関わっていることを広く知って頂きたいものである。本稿ではこのうち①について概述したい。

ブラジル連邦政府は東北ブラジルの開発を担う高級技術者を育成するため、1970年代に国立パライバ大学理工学部(CCT/UFPb)に大学院の設置を決定し、我が国には交通計画・交通工学分野の専門家派遣を要請してきた。恩師である京都大学名誉教授の吉川和広先生が初代専門家として、その後は現名古屋工業大学名誉教授の松井寛先生を含めて数名が派遣され、私は5代目の専門家として

昭和55年に赴任した。着任早々、ポルトガル語で講義・研究指導することを要請されて面喰ったが、何とか業務を遂行して帰国した際に、吉川先生から「今後、ブラジルへの技術協力は君に任せるから頑張るように」と指示された。

昭和56年10月に名工大へ転勤となったが、その後もブラジル連邦政府から長期専門家の派遣要請を受けたものの、着任早々に長期間赴任するわけにもいかず、結局は1〜3か月ずつの短期派遣に切り替えて何度も現地へ赴いた。派遣専門家から学位を授与された教員や技術者が東北ブラジルに定着しないことをJICAから指摘され、水理学や土質工学にも拡大したこの技術協力はミニプロジェクト方式(当時)に格上げされたのち平成2年5月に終了した。

我々がCCT/UFPbへ技術協力していることを知ったブラジリア大学の日系教員から「地方大学への技術協力を継続しても効果は薄いので、是非我々に技術協力して欲しい」という要請を受けた。そこで短期専門家およびJICA調査団員として何度も現地へ赴き、ブラジルで社会問題の一つとなっていた『地方都市における都市交通分野の技術者不足に取り組む』ための人材養成センター(CEFTRU/UnB)の設置と技術移転を目的とするプロジェクト方式技術協力を平成10年8月にスタートさせた。この技術協力は専門家派遣(現名古屋工業大学教授の秀島栄三先生や現名古屋港管理組合の服部明彦専任副管理者を含め、延べ20数名)、機材供与(3.5億円以上)、カウンターパート(ブラジリア大学等の関係者10数名)研修受け入れで構成され、平成14年2月に無事終了した。技術協力関連を中心にブラジルへ20数回も出張した土木分野の大学教員は珍しいのではなからうか。

最後に、長年にわたり事務職員として事務局活動を支えて下さった鶴飼峰子さんとクラシック音楽に造詣の深い現事務職員の額額育子さんのご尽力に感謝するとともに、土木学会中部支部の活動がますます活発になることを期待させて頂く。

土木技術者として発信を

のだ とよのり
野田 豊範
平成22年度支部長



土木学会中部支部の創立80周年を心よりお祝い申し上げます。1938年に発足したということですので、日中戦争がすでに始まっており大変不安定で厳しい時代であったと思います。そのような中、土木工学、土木業界の発展を目指して活動を始めてくれた先人に敬意を表したいと思います。

私は中部支部には昭和62年JR東海が発足した時に幹事として参加させていただきました。中部地区での勤務は初めてでしたので、中部支部での活動を通してこの地区の土木に関係する産、官、学の多くの方々と知り合うことができましたし、JR東海としても温かく一員に加えて頂いたことをありがたく思っています。その後平成14年度に幹事長、22年度に支部長を務めさせていただきました。

支部長の任期中、23年3月に東日本大震災が発生しました。支部のホームページに掲載されている活動報告を見ると、22年9月には「降雨・竜巻・地震・津波から人を守るために—新しい気象情報の活用—」、12月には「切迫する巨大地震への地震発生予測と減災技術」と題して講習会を開催しています。これは当然東北地方を対象としたものではありませんが、テーマは時宜を得ていたと思います。昨年6月に土木学会は「国難をもたらす巨大災害対策についての技術検討報告書」を公表し、南海トラフ地震や首都直下地震等の巨大災害の被害想定と対策による減災効果を明らかにしました。大変衝撃的な内容でしたが、社会に対してしっかり警鐘を鳴らしたものだと思います。検証した知見は勇気をもって発信すること、厳しく困難な事象だからと逃げたりしないで、真正面から具体的に対応していくことが求められます。

私ごとになりますが、大学では国土のインフラ整備に従事することに意義を見出して土木学科に進学し、昭和46年に国鉄に就職しました。国鉄時代は新幹線の建設を主に担当し、山陽新幹線の新開門トンネルの海底区間や東北新幹線の盛岡以南

の工事、そして盛岡以北の東北新幹線の調査、計画等を担当しました。

一方、国鉄は極めて厳しい経営状態にあり、毎年巨額の赤字を出し続けていて、新幹線の建設は必要ないと厳しく批判されました。しかし、国鉄再建の抜本的な対策として国鉄が民営分割されましたが、新幹線の路線がなければ、国鉄の分割民営化は覚束なく、幹となる新幹線の路線があつて初めて可能になったと考えます。

民間会社であるJR東海では鉄道の特性が発揮できる路線は適正に評価し、中長期的な視点に立った戦略的な投資が可能となりました。東海道新幹線をのぞみ号により高速化し、品川駅を新設、そして運行本数の増加を図り、国鉄時代の東海道新幹線から大きく飛躍して、多くの皆様にご利用いただいています。さらに東海道新幹線の経年劣化や大規模災害への備えのため東海道新幹線を二重系化すべく、中央新幹線の建設が本格化しています。

プロジェクトの推進に当たっては必ず困難に直面しますが、中央新幹線はこれまでの新幹線建設の経験と技術を踏まえて綿密に調査計画し評価を行ってきました。地元に丁寧にご説明、協議をしてご理解、ご協力をいただき、予定通りそして今後100年、200年の使用に耐え得る高品質の交通インフラとして完成させて欲しいと願っています。

最後に、最近の激甚災害の連続やインフラの老朽化を見るとインフラ整備は後追いになっており、厳しい財政下で財源も十分とは言えません。また土木業界は少子高齢化と後継者の確保難、働き方の改革等の共通の課題を抱えています。インフラの整備、維持を通じて国民生活の安全を守り、経済を発展させるという我々の使命を果たすため、自負を持って課題やその対策を検討し発信していく必要があります。産、官、学が集う土木学会中部支部の場を有効に活用して欲しいと思います。

中部支部活動について

いとう よしと
伊藤 義人
平成23年度支部長



名古屋大学の学生時代に土木学会の学生会員になり、その後、正会員、フェロー会員となり、50年近くが過ぎようとしています。土木学会中部支部の役員としては、助教授時代に幹事をして、その後、幹事長、商議員、支部長をし、現在は顧問をしています。平成29年度支部総会で、中部支部功績賞をいただきました。

平成4年度の幹事のときは、中部電力が事務局でしたが、中部支部研究発表会の論文に対して、中部支部論文奨励賞と技術賞を創設したことが思い出深いです。若手対象の中部支部論文奨励賞は、他の支部で実施している例もあり、私が提案して、その年に直ぐに実施されました。メダルを作る費用などが問題となって、我々幹事が出してもよいと私が発言して、他の幹事に反論されたことを覚えています。中部支部論文奨励賞という名称は、単に発表論文だけでなく、それまでの継続的な研究に対して授与し、もらった若手が喜ぶ方がよいということで決めました。しかし、その後少し重すぎるという議論が出て、平成8年度からは優秀研究発表賞として現在まで継続されています。少しでも若手研究者や学生の学術活動に貢献できていることは大変光栄です。

平成17年度の幹事長のときは、幹事会の運営の仕方は、現在のWG方式を既に採用しており、随分やりやすかった思い出があります。WG方式以前の幹事会は、幹事長が全てを差配する必要があり大変であることを知っていました。名古屋大学の岩田先生が幹事長のときにこの方式を生み出したと聞いています。宇佐美支部長の代理で、本部の毎月の理事会にも出ました。土木学会全体の運営を目のあたりにしました。

幹事長の後で商議員になり、予算などの重要事項に関与しました。幹事長経験者の商議員には任

期がないため、定年をどうするかが課題でした。70歳を超えた時に、本人の申し出で、やめることができるようになったと思います。

平成23年度に支部長になり、商議員は退任しました。本部の毎月の理事会に、また1年間出ましたが、支部の報告をスライドを使って報告しようとしたとき、本部事務から拒否されて、配布文書だけで説明を要請されたのにはびっくりしました。支部長になって、支部長特命委員会「土木分野における若手人材育成に関する検討委員会」委員長：中村光教授)を作り、報告書を出したことを、大変印象深く覚えています。

<https://jsce-chubu.jp/chubu/wp-content/uploads/2016/01/sc-report2012.pdf>

学術団体の学会は、ともすると長老が中心となりがちですが、次世代の若手を支援し、かつ運営にも若手が関与してもらうことが必要だと思います。その意味では、現在の土木学会中部支部は、かなりうまく運営できているように思います。

私は、現在中部支部顧問として毎年1回の顧問会と総会には、出来るだけ出るようにしていますが、顧問の方々の参加が少ないのは大変残念です。

岐阜高専校長として、私はまだ現役ですが、研究者としても若手に迷惑をかけない範囲内で活動をしています。そのため、北大で開催された平成30年度の土木学会全国大会にも参加しましたが、定年を迎えつつある同世代の研究者の参加が少なくなったのには、少し驚きました。しかし、耐荷力・維持管理の懇親会では、若手も多く参加して盛況であり、これは嬉しいことでした。

80周年を迎えた土木学会中部支部の今後の発展を祈念いたします。我々のような元支部長は陰ながら支えていきたいと思っています。

土木を志して40年、支部での活動を振り返って

こむろ としじ
小室 俊二
平成27年度支部長



石原裕次郎と三船敏郎が出演する「黒部の太陽」という映画がありました。富山県黒部川上流に黒部第四ダムを建設するにあたって、最大の難工事である資材運搬トンネルを様々な困難を克服しながら掘る技術者たちとりまく人々の物語です。そこに描かれているように、スケールの大きい仕事がしたいと思い土木を志しました。卒業後は当時の日本道路公団に入社し、現場で必死に仕事をしたことが思い出されます。分割民営化で中日本高速道路勤務となりましたが、40年間高速道路の計画・設計・建設・維持管理に携わってきました。その間道路は様々な進化をしてきました。一方その上を走る車も進化しています。歴史を振り返ると車の動力は馬から蒸気機関、そしてガソリンエンジンになり、車輪にはゴムが付き、中に空気が入りました。道路も例えば路面は土・砂利や石から、アスファルト舗装、高機能舗装と進化してきています。しかし近年の車の進化は特に著しいものがあります。安全・安心・快適な道路交通のためには、道路も車に負けないよう車と協調しながら進化しなくてはと思っています。

道路に限らず土木は社会で重要な役割を担っています。このことを皆さんにもっと知って頂く必要があると考えていたところ、2015年6月に中部支部長を拝命することとなりました。その前年に土木学会は創立百周年を迎え、過去百年を振り返り将来の百年の目指すべき方向性を示した「社会と土木の100年ビジョン」を策定し、新しい百年に向かって第一歩を踏み出したところでしたので身の引き締まる思いでした。中部地区では様々なプロジェクトが実施されています。一方で先輩たちが築き上げてきた社会資本の経年劣化が進み、構造物の効率的な維持管理や更新により安全性や永

続性を保つことが求められています。また南海トラフ大地震等の発生が指摘され、防災減災が急務となっています。「100年ビジョン」には「持続可能な社会実現に向け土木が取り組む方向性」として安全・環境・活力・生活の4つの視点が記されていますが、中部地区においても前述の課題に対して環境に配慮しながら安全性を高めていくこと、また多くのプロジェクトや事業により経済的活力を維持することにより生活を豊かにすること、そしてこれらの努力を継続していくことが重要です。

そのために、産官学連携し地域の方とも協働しながら土木技術に携わる人たちが自信と誇りを持つ環境を整え、これまで培ってきた技術を次世代に伝えていくことが大切であり、このことを念頭に支部活動を行いました。研究発表会や技術講習会の他、思い出されるのが土木の魅力を積極的に社会に発信したことです。土木の日を中心に見学会を開催し、土木出前講座や土木市民講座を開催し、HPをリニューアルしました。また、次世代の技術者に学会の理解を深めてもらうために学生交流会で構造物の企画・設計・施工・維持管理それぞれの段階における具体的な仕事を紹介しました。さらに国土交通省中部地方整備局・地盤工学会中部支部・中部地域づくり協会との災害時協力協定の運用方法や支部のマニュアルを見直し、より緊密に連携し円滑に情報の収集発信ができるようにしたことも印象に残っています。

支部長在任は一年というわずかな期間でしたが、つつがなく終えることができたのも支部役員事務局そして会員の皆様のご支援の賜物と感謝しております。中部支部の益々の発展をお祈り致します。

防災の基本は、 「事前の一策は事後の百策に勝る」

すぎと まさた
杉戸 真太
平成28年度支部長



大学での修士論文で、地震工学分野の論文を纏めた時から40年以上があったという間に過ぎてしまいました。この間、学会本部や中部支部の各種の研究委員会の委員として参加させていただき、多くのことを学ばせて頂きました。

大学の助手として勤め始めた年の6月には、1978年宮城県沖地震が発生し、土木構造物の損傷状況や、ライフライン系システムの被災状況とその復旧過程等の調査のため、発災直後から1年間で何度も現地に赴いたことが思い起こされます。この地震による死者28名のうち、半数以上の方がブロック塀などの下敷きによるものであったことは、多くの方の記憶に残っていることと思います。この地震では、補強対策のないブロック塀の倒壊に加えて家屋倒壊被害も多く、3年後の1981年の建築基準法の改正につながりました。この改正では、「震度6強～7レベルの最大級の地震動に対しても家屋の倒壊は免れる強さ」とすることを義務づけられました。このような“事前の一策”が、如何に大きな減災に繋がったかは、この後の巨大地震災害や、その後さらに耐震基準が改定された後に発生した地震災害で明確に示されました。

その一例として、1995年兵庫県南部地震で被災した震源断層近傍のある地域での全戸調査によると、1981年の新しい基準に適合する一般住宅の倒壊率が相対的に極めて少なかったことが挙げられています。それでも、人口が集中する大都會が最大級の強度の地震動に襲われたことで、この地震では6000名以上の尊い命が奪われました。この地震の発生時刻は比較的早朝だったため(午前5時46分)、鉄道などの公共交通システムの大きな構造的被災による人的被害が極端に少なかったということが言えます。高速鉄道のトンネル内部の壁

の崩壊、通常の鉄道の橋桁落下などによる路線の崩壊、高速道路の長大橋梁の落橋や連続桁の崩壊など、多くの土木構造物では甚大な被害が発生しましたが、交通システムの利用中における人的被害は極めて少なく済みまし。これにより、地震発生時間帯によって、被害の内容が大きく異なることも分析され、自治体の地震被害想定調査等でも、いくつかの地震発生時刻の異なるケースで検討されることとなりました。

兵庫県南部地震での強大な破壊力を有する地震動は、都市部におけるあらゆるものに甚大な被害をもたらし、これが契機となってあらゆる社会インフラの耐震基準を大幅に変更させることとなりました。

また、とくに公共の既存構造物についても耐震化補強が順次行われてきており、その成果は近年の地震災害の状況に見ることができます。たとえば、2016年の熊本地震において、震度7となった地域もあったが、高速道路の被害は大きくなく数日で回復し、また、熊本空港も数日で利用可能となったことが挙げられます。このような事前対策の大きな効果はほとんど報道さませんが、土木技術の進歩が如何に減災に寄与しているかを示していることかと思ひます。

一方、個人の住居など、民間の古い建物の補強等による耐震化対策は様々な理由から進んでいないことから、直接の人的被害は相変わらず多く、また、避難所での生活が長期にわたる事例が相変わらず報告されています。防災・減災に係る法体制の整備への進言も含めて、我々土木技術者であればこそできる“事前の一策”を多く提案することが社会から期待されていると思ひます。

平成29年度 支部事務局を振り返って

はっとり くにお
服部 邦男
平成29年度支部長



弊社は平成29年度に事務局を担当したが、前回の事務局運営から既に9年が経過していた。土木学会が果たすべき本来の役割に変わりはないものの、検討体制、実施内容等が様変わりした中で、変わらぬ使命をもって臨んだ我々の取組を示す。～開かれた土木学会に向けて～

土木学会には、研究発表会、技術講習会など土木技術者の技術力向上・相互交流、若手技術者育成を目的とする基盤活動に加えて、一般市民を対象とした土木に関する啓発を担う重要な役割もある。その活動として小学生とその保護者を対象とした親子ふれあい見学会、会員以外も参加できる市民見学会など各世代を対象とした行事を幅広く企画、実施した。また、高校、各種団体等からの要請により出前講座を開催した。中でも力点を置いたのは、学生と技術者の交流会であり、選奨土木遺産を通じて、土木の魅力語り合うことにより、両者の距離感を縮めることができた。

これらの取組を通じ、土木の持つ魅力・社会貢献について、一般市民の方々に幅広く情報発信できたのではないかと。～段取り八分～

続いて精力的に行った取組が、次年度に予定されている‘80周年記念事業’の準備であった。

70周年の際に事務局を務めていた我々は、準備不足のため十分な運営が出来なかったという自責の念より、『準備委員会』を早期に立ち上げ、検討体制の構築、テーマの選定、会場の予約など

骨格の整備をいち早く行った。～備えあれば憂いなし～

もう一つの取組は、中部地域に甚大な被害を及ぼすと想定される南海トラフ地震等の大規模災害発生時における行政と学協会との協力体制の充実・更なる拡大であった。これまでも中部地方整備局と土木学会も含めた学協会との災害時の協力に関する枠組があった。しかしそれが、有事に停滞なく的確に機能する体制なのか？また体制の範囲は充分か？などの観点から現状を振り返り、我々は、地盤工学会等の関連学会と協調して、中部地方整備局に働き掛け、当地域の五県三市を含めた災害時における調査及び技術支援等の協力体制強化、充実に向けた災害協定の締結を平成29年度末に執り行った。

更にこの協定締結を契機として、名古屋大学減災連携研究センターに協力頂き、産官学がそれぞれの立場で防災・減災に向けての取組状況や研究内容を紹介し、意見交換を行うシンポジウムを平成30年度当初に開催し、多くの方に聴講頂いた。

このような体制・協定は一度構築すれば機能するというものではなく、関係者が‘お互いの顔が見える関係’を構築し、常に異常時に備える気持を持ち続ける事が肝要であろう。

～おわりに～

中部支部創立80周年、おめでとうございます。次回90周年記念事業を進める際に、我々が執り行った取組事例がその一助になれば幸いです。



学生と技術者の交流会の開催状況



シンポジウムの開催状況

第4章 | 土木学会名誉会員

4.1 まえがき

本章では、平成20年度以降の名誉会員を紹介する。原則として、中部支部の推挙により名誉会員になられた方と名誉会員になられた時点で中部支部所属の方を掲載している。すでに故人となられた方、ご都合により経歴の掲載を辞退された方がいるため、平成20年度以降の名誉会員一覧を示した。

4.2 土木学会名誉会員一覧

平成20年度	高木 不折			
平成21年度	伊佐治 敏	犬飼 隆一		
平成22年度	宇野 尚雄	河上 省吾	馬場 亮介	
平成23年度	田邊 忠顯	松井 寛	岩田 好一郎	
平成24年度	宇佐美 勉			
平成25年度	該当なし			
平成26年度	四俵 正俊			
平成27年度	部田 哲雄			
平成28年度	宮池 克人			
平成29年度	関口 龍一			

第5章 | 土木学会賞受賞者

5.1 まえがき

本章では、平成20年度から平成29年度までの10年間に、土木学会賞を受賞された方々を紹介する。

5.2 土木学会賞受賞者の紹介

平成20年度

【技術賞(Iグループ)】

建物直下を通過するわが国初の超近接双設大断面トンネルの設計・施工技術

－新東名高速道路今里第一トンネル－

中日本高速道路(株)東京支社沼津工事事務所
清水・アイサワ・ピーエス三菱特定工事共同企業体



【技術賞(IIグループ)】

超膨張性と高圧帯水層を有する特殊地山に適合したトンネル施工技術の確立

－北陸新幹線 飯山トンネル－

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
鉄道建設本部 北陸新幹線建設局
鉄建・りんかい日産・守谷共同企業体
熊谷・日本国土・大本共同企業体
間・鴻池・加賀田・丸山共同企業体
西松・東亜・植木・中元共同企業体
大成・銭高・第一・松本土建共同企業体
大林・大豊・松村・田中産業共同企業体



【技術賞(IIグループ)】

大断面TBMを活用した飛騨トンネルの完成と東海北陸道の全線供用

中日本高速道路(株)



【技術賞(IIグループ)】

徳山ダム
～国内最大級のロックフィルダムの建設並びに自然と共生する美しいダム湖の創出～
(独)水資源機構



【論文賞】

2方向繰り返し荷重を受ける矩形断面鋼製橋脚柱の履歴特性
[土木学会論文集A, Vol.63, No.1, pp.122-141, 2007]
後藤 芳顯 (名古屋工業大学)
江 坤生 (中建国際設計)
小畑 誠 (名古屋工業大学)

【論文賞】

乗用車専用小型道路トンネル内における火災時の熱気流挙動特性(数値シミュレーションによる検討)
[土木学会論文集F, Vol.63, No.4, pp448-459, 2007]
菊本 智樹 ((株)エコプラン)
川端 信義 (金沢大学)
丸山 大輔 ((財)国土技術研究センター)
山田 真久 ((株)エコプラン)

【論文奨励賞】

CFRP板付着端近傍への低弾性接着剤の使用によるはく離せん断応力の低減
[構造工学論文集, Vol.54A, pp.842-849, 2008]
石川 敏之 (名古屋大学)

平成21年度

【技術賞(Iグループ)】

名張川上流3ダムの統合操作による洪水調節
国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所
(独)水資源機構木津川ダム総合管理所



【技術賞(IIグループ)】

名古屋港次世代高規格コンテナターミナル
国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所
飛島コンテナ埠頭(株)



【研究業績賞】

2方向地震動を受ける鋼製橋脚の耐震性能と限界状態に関する研究
後藤 芳顯(名古屋工業大学)

【論文奨励賞】

円柱を有する既設鋼製ラーメン橋脚の耐震性能に関する検討
[土木学会論文集A, Vol.64, No.3, pp571-587, 2008]
木下 幸治(岐阜大学)

【田中賞(研究業績部門)】

鋼橋の耐震・制震設計法の開発と体系化
宇佐美 勉(名城大学)

【田中賞(作品部門)】

猿田川橋・巴川橋
企業者: 中日本高速道路(株)東京支社
設計者: 中日本高速道路(株)東京支社
アジア航測(株), 新日本技研(株)
(株)大林組・昭和コンクリート工業(株)・
(株)ハルテックJV
(株)ピーエス三菱・(株)安部日鋼工業JV
施工者: (株)大林組・昭和コンクリート工業(株)・
(株)ハルテックJV
(株)ピーエス三菱・(株)安部日鋼工業JV
所在地: 静岡県静岡市葵区北



【国際貢献賞】

玉井 信行
(金沢学院大学大学院経営情報学専攻教授)

【技術功労賞】

施工・検査
榎本 信幸
(飛島建設(株)中日本土木支社名古屋土木事業部所長)

平成22年度

【技術賞(IIグループ)】

日本の大動脈における地震災害復旧工事
～東名高速道路 牧之原地区 災害本復旧工事～
中日本高速道路(株)東京支社
(株)大林組



【環境賞(Iグループ)】

石炭ガス製造工場跡地におけるシアン化合物汚染土壌・地下水の浄化技術の開発
大成建設(株)
東邦ガス(株)



【環境賞(IIグループ)】

自然との共生に配慮した環境保全型ダムの建設とモニタリング調査に基づく評価～徳山ダム～
(独)水資源機構

【論文賞】

2重合成I桁の曲げ及びせん断強度の評価方法に関する実験的研究
[土木学会論文集A, Vol.66, No.1, pp.117-132, 2010]
稲葉 尚文 (中日本高速道路(株))
奥井 義昭 (埼玉大学)
長井 正嗣 (長岡技術科学大学)
本間 淳史 (東日本高速道路(株))
春日井 俊博 ((社)日本橋梁建設協会)
野呂 直以 ((社)日本橋梁建設協会)

【論文賞】
 揚水循環併用バイオスパーキング工法によるベンゼン汚染帯水層の浄化特性
 [土木学会論文集F, Vol.65, No.4, pp.555-566, 2009]

桐山 久 (東邦ガス(株))
 高畑 陽 (大成建設(株))
 佐藤 健 (岐阜大学)

【論文奨励賞】
 浚渫土砂により造成される人工浅場の安定性に及ぼす流速変動および水圧変動の影響に関する2次元数値解析
 [海洋開発論文集, 第26巻, pp699-704]
 中村 友昭(名古屋大学)

【田中賞(論文部門)】
 合成I桁の曲げ、せん断相関強度解明に関する実験的研究
 [土木学会論文集A, Vol.66, No.2, pp.393-405, 2010]
 稲葉 尚文 (中日本高速道路(株))
 奥井 義昭 (埼玉大学)
 長井 正嗣 (長岡技術科学大学)
 本間 淳史 (東日本高速道路(株))
 春日井 俊博 ((社)日本橋梁建設協会)
 野呂 直以 ((社)日本橋梁建設協会)

平成23年度
【功績賞】
 宇佐美 勉
 (名城大学理工学部 教授、名古屋大学 名誉教授)

平成24年度
【技術賞(IIグループ)】
 新東名高速道路(第二東海自動車道 横浜名古屋線)御殿場JCTから三ヶ日JCT 162kmの開通(高速道路史上最長の開通)
 中日本高速道路(株)



【論文賞】
 渦と浸透滲出流の影響を考慮した漂砂計算手法と遡上津波による陸上構造物周辺の洗掘現象への適用に関する研究
 [土木学会論文集B3(海洋開発), Vol.68, No.1, pp.12-23, 2012]
 中村 友昭(名古屋大学)
 水谷 法美(名古屋大学)

【論文賞】
 コンクリート舗装における路盤厚設計曲線の信頼性に関する検討
 [土木学会論文集E1(舗装工学), Vol.67, No.2, pp.111-119, 2011]
 竹内 康 (東京農業大学)
 毛 世華 (東京農業大学大学院)
 岡澤 宏 (東京農業大学)
 小梁川 雅 (東京農業大学)
 西澤 辰男 (石川工業高等専門学校)
 堀内 智司 ((独)土木研究所)

【吉田賞(吉田研究奨励賞)】
 世界最大橋梁震動台実験を基にしたRC高架橋システムの数値解析技術の高度化
 木下 幸治(岐阜大学)

【吉田賞(吉田研究奨励賞)】
 化学反応モデルと力学モデルの統合解析手法によるASR膨張挙動の評価
 上田 尚史(名古屋大学)

【田中賞(論文部門)】
 アルミニウム合金製BRBの低サイクル疲労特性
 [構造工学論文集, Vol.58A, pp.448-458, 2012]
 舟山 淳起 (名城大学大学院)
 宇佐美 勉 (名城大学)
 今瀬 史晃 (名城大学大学院)
 王 春林 (名城大学大学院)

【田中賞(作品部門)】
 新湊大橋
 企業者:国土交通省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所, 同 新潟港湾空港技術調査事務所
 設計者:大日本コンサルタント(株)
 (株)オリエンタルコンサルタンツ
 (株)ニュージェック
 日本シビックコンサルタント(株)
 日立造船(株), 住友重機械工業(株)
 沿岸技術研究センター・エイト日本技術開発設計共同体
 施工者:三菱重工橋梁エンジニアリング(株)
 (株)横河ブリッジ
 JFEエンジニアリング(株)
 日立・川田特定JV, 五洋建設(株)
 (株)興和,
 本間道路(株), (株)柿本商会
 五洋・東亜・佐藤特定JV
 鹿島・前田・本間特定JV
 東亜・若築特定JV, (株)大林組
 株木建設(株), (株)竹中土木
 石播・日立特定JV, 川田工業(株)
 (株)銭高組, 五洋・佐伯特定JV
 所在地:富山県射水市



【田中賞(作品部門)】
 佐奈川橋
 企業者:中日本高速道路(株) 名古屋支社
 設計者:鹿島建設(株)
 施工者:鹿島建設(株)
 所在地:愛知県豊川市



【国際活動奨励賞】
 川上 康博
 (中部電力(株))
 国際事業部コンサルティング・協力グループ長

【技術功労賞】
 施工・検査
 神澤 幸治
 (清水建設(株)名古屋支店工事長)

【技術功労賞】
 施工・検査
 五嶋 博己
 ((株)大林組名古屋支店 土木工事部副部長)

【技術功労賞】
 設計・監理
 安永 礼三
 (飛鳥建設(株)北陸支店 能越道氷見作業所所長)

平成25年度

【功績賞】

田邊 忠顯
((一社)社会基盤技術評価支援機構・中部専務理事
／名古屋大学名誉教授)

【論文賞】

地盤パラメータ局所平均の空間的ばらつきと統計的推定誤差の簡易評価理論
[土木学会論文集C(地圏工学),
Vol.68, No.1, pp.41-55, 2012]
本城 勇介 (岐阜大学)
大竹 雄 (岐阜大学)
加藤 栄和 (国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所)

【田中賞(論文部門)】

矩形断面のギャロッピング不安定性と渦放出の関係について
[構造工学論文集,
Vol.59A, 土木学会, pp.552-561, 2013]
八木 知己 (京都大学)
新庄 皓平 (大成建設(株))
成田 周平 (鹿島建設(株))
中瀬 友之 (中部電力(株))
白土 博通 (京都大学)

【田中賞(作品部門)】

各務原大橋
企業者: 各務原市
設計者: 大日本コンサルタント(株)
エムアンドエムデザイン事務所
(株)日本構造橋梁研究所
(有)イー・エー・ユー
施工者: 清水・前田特定建設工事共同企業体
清水・市川・大雄・後藤工事特定建設工事共同企業体
大日本土木(株), 日東工業(株)
大林・市川・横建特定建設工事共同企業体
大日本・市川・後藤特定建設工事共同企業体
大日本・大雄特定建設工事共同企業体
所在地: 岐阜県各務原市上中屋町～川島小網町



【技術功労賞】

管理・運用・防災・保全
青山 實伸
(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
金沢支店道路技術部上席調査役)

【技術功労賞】

管理・運用・防災・保全
來島 輝武
(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)
土木技術部舗装担当部長)

【技術功労賞】

施工・検査
辻井 孝
(鹿島建設(株)中部支店伊勢湾横断シールド統合事務所
所長兼浄心・八幡雨水幹線統合工事事務所所長)

【技術功労賞】

設計・監理
古川 裕
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部北陸新幹線第二建設局次長)

平成26年度

【技術賞(Iグループ)】

浜岡原子力発電所津波対策
防波壁の設計・建設(総延長1.6kmに亘る天端高さ海拔22mの津波防護施設)
中部電力(株)発電本部土木建築部



【技術賞(Iグループ)】

急流河川における治水と環境の調和した新たな河岸防護技術(巨石付き盛土砂州を用いた河岸防護工)
国土交通省北陸地方整備局
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
中央大学研究開発機構福岡ユニット



【技術賞(IIグループ)】

花崗岩を対象とした深度500mに及ぶ我が国初の「深地層の研究施設」の建設(高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する基盤研究プロジェクトである瑞浪超深地層研究所における研究坑道掘削と地層科学研究)
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体
清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体



【環境賞(IIグループ)】

北陸地域における高品質フライアッシュを用いたコンクリートの普及のための技術開発
北陸地方におけるコンクリートへのフライアッシュの有効利用促進検討委員会

【吉田賞(研究業績部門)】

繊維補強セメント系材料の開発と実構造物への適用に関する総合的研究
六郷 恵哲(岐阜大学)

【技術功労賞】

施工・検査
古川 幸司
(株)安部日鋼工業取締役工事本部長兼技術工務本部長)

平成27年度

【技術賞(IIグループ)】

北陸新幹線(長野・金沢間)開業

ー北信越地域と首都圏・関西圏との連携・交流の画期的な促進ー

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
東日本旅客鉄道(株)
西日本旅客鉄道(株)



【論文賞】

山間寒冷地におけるRC床版のASRと凍害による複合劣化の事例とその検証実験

[土木学会論文集E2(材料・コンクリート構造), Vol.70, No3, pp.320-335, 2014]

小林 孝一 (岐阜大学)
鹿野 裕 (小牧市役所)
六郷 恵哲 (岐阜大学)

【論文奨励賞】

煙流動CFDを用いた避難行動シミュレーションによる道路トンネル火災安全性の評価方法

[土木学会論文集F2(地下空間研究), Vol.70, No1, pp.1-12, 2014]

清家 美帆(金沢大学)

【田中賞(論文部門)】

供用後40年経過したPC桁の性状から推定されるPC橋の性能評価

[土木学会論文集E2(材料・コンクリート構造), Vol.71, No3, pp.283-302, 2015]

青木 圭一 (中日本高速道路(株))
渡邊 晋也 (一社)施工技術総合研究所
三加 崇 (三井住友建設(株))
宮永 憲一 (西日本高速道路(株))
睦好 宏史 (埼玉大学大学院)

【田中賞(論文部門)】

実物大BRRP制震ダンパー開発のための基礎的研究

[土木学会・構造工学論文集, Vol.61A, pp.211-223, 2015]

山崎 伸介 (新日鉄住金エンジニアリング(株))
加藤 弘務 (大日本コンサルタント(株)中部支社)
宇佐美 勉 (名城大学総合研究所)
森 翔吾 (竹中土木(株))
野呂 直以 (新日鉄住金エンジニアリング(株))
葛 漢彬 (名城大学)

【出版文化賞】

ようこそドボク学科へ!

都市・環境・デザイン・まちづくりと土木の学び方

佐々木 葉 監修, 真田 純子・中村 晋一郎・仲村 成貴・福井 恒明 編著/学芸出版社
2015年

【技術功労賞】

施工・検査

尾畑 喜代和
(清水建設(株)名古屋支店土木部工事長)

【技術功労賞】

施工・検査

花田 則昭
(鹿島建設(株)中部支店金木戸発電所工事事務所所長)

平成28年度

【技術賞(Iグループ)】

最小限のインフラで最大級の効果を発揮する雪害対策の確立

ー北陸新幹線, 富山・石川県内ー

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構



【技術賞(Iグループ)】

超高層ビル建設における営業線鉄道函体アンダーピニングと透し掘り連壁

ーリニア名古屋駅の一部となるJRゲートタワー新設ー

東海旅客鉄道(株)
大成・鹿島特定建設工事共同企業体



【技術賞(Iグループ)】

全断面機械掘削早期閉合法による脆弱地山への挑戦

ー中部横断道・八之尻トンネルー

中日本高速道路(株)東京支社南アルプス工事事務所
清水建設(株)・岩田地崎建設(株)
特定建設工事共同企業体

【論文奨励賞】

鉄筋補強した繊維補強セメント系複合材料の引張破壊解析と架橋力に着目した破壊挙動評価

[土木学会論文集E2(材料・コンクリート構造), Vol.72, No.3, pp.249-267, 2016]

小倉 大季(清水建設(株))

【田中賞(論文部門)】

すみ肉溶接継手のルートき裂に対する変位基準の疲労強度評価法

[土木学会論文集A1(構造・地震工学), Vol.71, No.3, pp.315-326, 2015]

館石 和雄 (名古屋大学)
早田 直広 (電力中央研究所)
判治 剛 (名古屋大学)
清水 優 (名古屋大学)

【田中賞(作品部門)】

朝明川橋

企業者: 中日本高速道路(株)
設計者: (株)エイト日本技術開発,
IHIインフラシステム・川田工業・川田建設JV
大日本土木(株)
施工者: IHIインフラシステム・川田工業・川田建設JV
大日本土木(株)

所在地: 三重県四日市市小牧町



【技術開発賞】

漏洩磁束法によるPC鋼材破断の非破壊検査技術の開発

宮川 豊章 (京都大学),
青木 圭一 (中日本高速道路(株))
萩原 直樹 ((株)高速道路総合技術研究所)
廣瀬 誠 ((株)四国総合研究所)
木村 美紀 ((株)四国総合研究所)

【技術功労賞】

施工・検査

登坂 弘光
(株)大林組名古屋支店名古屋駅中央西JV工事事務所所長)

第5章 | 土木学会賞受賞者

平成29年度

【論文奨励賞】

都市ガス供給システムにおける地震時供給停止判断の性能評価
 [土木学会論文集A1(構造・地震工学),
 Vol.73, No.4, pp.I_187-I_196, 2017]
 森山 達哉 (岐阜大学)

【論文奨励賞】

非破壊での鉱物定量による不飽和条件下におけるリン
 資材不溶化処理土の鉛の安定鉱物形成と移動抑制の定
 量関係
 [土木学会論文集G(環境),
 Vol.71, No.4, pp.102-111, 2015]
 小川 翔平 (岐阜大学)

【論文奨励賞】

LMSを利用した効果的な水理実験実施のための教材開
 発に関する研究
 [土木学会論文集H(教育),
 Vol.73, No.1, pp.43-52, 2017]
 菊 雅美 (岐阜工業高等専門学校)

【吉田賞(研究業績部門)】

コンクリート骨材のアルカリシリカ反応性の評価に関
 する研究
 鳥居 和之 (金沢大学)

【技術功労賞】

用地・補償
 五井 仁
 (中日本高速道路(株)名古屋支社保全・サービス事業部
 道路管制 センター統括司令)

【技術功労賞】

教育・研究・啓発
 前田 武俊
 ((株)小島組開発統括兼開発部長)

第6章 | 中部支部功績賞受賞者

6.1 まえがき

本章では、平成20年度以降の中部支部功績賞受賞者を紹介する。また、平成20年度以降に名誉会員になられた方については、「第4章 土木学会名誉会員」にて紹介している。

6.2 中部支部功績賞受賞者一覧

平成20年度	受賞者なし	
平成21年度	四俵 正俊	平成26年名誉会員
平成22年度	受賞者なし	
平成23年度	本田 啓 大根 義男	
平成24年度	受賞者なし	
平成25年度	山本 幸司	
平成26年度	宇佐美 勉	平成24年名誉会員
平成27年度	藤井 則義 宮池 克人	平成28年名誉会員
平成28年度	渡辺 恭久 野田 豊範	
平成29年度	伊藤 義人	
平成30年度	受賞者なし	

| 第7章 | 中部支部優秀研究発表賞・技術賞受賞者

7.1 まえがき

本章では、平成20年度から平成29年度までの10年間に、中部支部優秀研究発表賞・技術賞を受賞された方を紹介する。両賞とも、当該年度の支部研究発表会で発表されたものから選考される。優秀研究発表賞は優れた研究成果を発表した中部支部所属の学生、若手研究者や技術者（36歳未満）を表彰するものである。また、技術賞は中部7県における土木技術の進展に顕著な貢献をしたと認められる優れた業績を表彰するものである。さらに、平成28年度からは、中部支部支部長賞が創設された。学生の学習意欲の向上と学会の周知を行うことを目的として、申し出のあった各学校から学科／専攻／専攻科ごとに優秀な卒業生／修了生の各1名を表彰するもので、これらの各賞の表彰は、翌年度の土木学会中部支部総会において行われている。

7.2 中部支部優秀研究発表賞・技術賞一覧

平成20年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- | | | |
|--------|-------------------|--|
| 第I部門 | 石川 敏之 (名古屋大学大学院) | 「疲労き裂を閉口させて寿命を向上させる技術の開発」 |
| 第II部門 | 小木曾 圭祐 (名古屋大学大学院) | 「3次元気液多相乱流数値モデルDOLPHIN-3Dの高度化に関する一検討」 |
| 第III部門 | 館井 恵 (名古屋工業大学) | 「粒状体流れ中の圧縮波発生と分級のメカニズム」 |
| 第IV部門 | 伊藤 太一 (名古屋工業大学) | 「車両挙動分析による交差点コンパクト化の影響評価」 |
| | 鈴木 祐大 (名古屋大学) | 「都市域を対象とするライフサイクル環境負荷・維持コスト・QOL推計システムの基礎的検討」 |
| 第V部門 | 内藤 大輔 (金沢大学大学院) | 「粗大毛細管空隙の物質移動特性の反映に関する一考察」 |
| | 江口 輝行 (名古屋大学) | 「ひび割れを有する超高強度ひずみ硬化型セメント系材料の一軸引張荷重下における疲労性状」 |
| 第VI部門 | 杉浦 聡志 (岐阜大学大学院) | 「安全性・快適性を考慮したLCCに基づく道路舗装アセットマネジメントの方法論」 |
| 第VII部門 | 平野 勇二郎 (名古屋大学) | 「生物難分解性有機物群の活性炭吸着特性に及ぼす凝集処理の影響熱赤外リモートセンシングを用いた東京都心部における地表面温度と熱収支のシミュレーション」 |

2. 技術賞受賞者

- | | | |
|------|------------------|---------------------------|
| 第I部門 | 山田健太郎研究室 (名古屋大学) | 「疲労き裂を閉口させて寿命を向上させる技術の開発」 |
| | 名古屋高速道路公社 | 「既設PC梁と新設鋼製梁との接合方法の開発」 |

平成21年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- | | | |
|--------|--------------------|---|
| 第I部門 | 圓地 則仁 (岐阜大学) | 「震源断層を予め特定しにくい地震の30年発生確率の評価」 |
| 第II部門 | 沼津 晃洋 (名城大学大学院) | 「感潮河川・堀川近傍における不圧地下水挙動と水交換過程」 |
| 第III部門 | 柴田 賢 (名古屋工業大学) | 「降雨を考慮した浸透破壊および越流に対する模型堤防の強度比較」 |
| 第IV部門 | 後藤 梓 (名古屋大学) | 「最終右折車との交錯に着目した信号切り替わり時の車両挙動分析」 |
| 第V部門 | 高橋 幹雄 (金沢工業大学) | 「点検データを用いた既存山岳道路トンネルの保有性能の評価」 |
| 第VI部門 | 篠田 将希 (金沢工業大学) | 「点検データを用いた既存山岳道路トンネルの保有性能の評価」 |
| 第VII部門 | 和田 桂児 (岐阜工業高等専門学校) | 「メタノール含有排水を処理するメタン発酵処理法(UASB及びAnDHS)の処理性」 |
| | 葛口 利貴 (岐阜大学) | 「ダム湖による河川有機物動態の変化が底生動物群集に与える影響」 |

2. 技術賞受賞者

- | | | |
|------|----------------|---|
| 個人部門 | 鷲見 哲也 (大同大学) | 「2009年8月兵庫県佐用町豪雨災害に関する調査報告」 |
| 団体部門 | 東海旅客鉄道(株)建設工事部 | 「BOSS工法による東海道新幹線上空における道路橋架設工事の作業日数短縮について」 |

3. 子供用ホームページコンテンツデザインコンペ「土木の仕事をお子様に伝えよう」優秀賞受賞者

- | |
|--------------------|
| 中野 博智 (名古屋工業大学大学院) |
|--------------------|

平成22年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- | | | |
|--------|--------------------|---|
| 第I部門 | 上月 隆史 (東海旅客鉄道(株)) | 「載荷実験によるRC円形橋脚の実大モデルと1/2縮小モデルの損傷比較」 |
| 第II部門 | 中村 友昭 (名古屋大学高等研究院) | 「浸透滲出流による層流・乱流抵抗の影響を考慮した漂砂モデルに関する一考察」 |
| 第III部門 | 森 涼香 (名城大学) | 「供試体作製法の違いが砂礫の力学特性に及ぼす影響」 |
| 第IV部門 | 野々山 栄人 (岐阜大学) | 「斜面安定解析に対するSPH法の適用」 |
| 第V部門 | 岩川 慎悟 (名古屋大学大学院) | 「5枝交差点における実設計による信号交差点とラウンドアバウトの比較」 |
| | 原田 剛志 (岐阜大学) | 「非重複経路本数とアクセシビリティ指標に基づく岐阜県道路ネットワークの接続脆弱性評価」 |
| 第VI部門 | 柴山 舞 (金沢大学) | 「不均質な空隙空間構造が電気伝導率に及ぼす影響」 |

- 第VII部門 磯野 純治 (東海旅客鉄道(株))
「プレボーリング工法におけるモルタルH鋼杭の支持力評価」
白水 真和 (岐阜大学大学院)
「木質系焼却灰による溶液中からのPb除去メカニズムの解明」

2. 技術賞受賞者

- 第I部門 大木 基裕 (東海旅客鉄道(株))
「地山補強土工法による盛土の耐震補強」
団体部門 東海旅客鉄道(株)建設工事部
「安全性や施工性の更なる向上を目的とした線路下横断工法の開発」

平成23年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 早川 泰央 (東海旅客鉄道(株))
「鉄道高架橋分割施工におけるひび割れ対策」
第II部門 安藤 康平 (名古屋大学大学院)
「津波作用時のケーソン式混成堤周辺の水位変動と水圧変動に関する一考察」
第III部門 兼松 祐志 (名城大学)
「供試体作製時の含水比の違いが河川堤防砂の力学特性に及ぼす影響」
第IV部門 松尾 幸二郎 (豊橋技術科学大学大学院)
「知覚総コスト最小化原理に基づく希望走行速度選モデルの提案」
第V部門 海野 貴裕 (名古屋大学)
「拘束下におけるコンクリートの爆裂挙動のRBSM-TRUSS Networkモデルによる評価」
第VI部門 大野 沙知子 (岐阜大学大学院)
「地域協働型道路施設管理の仕組みづくりの方向性と課題」
第VII部門 田上 寛之 (岐阜工業高等専門学校)
「螺旋水車を用いたピコ水力発電システムの実験的研究」

2. 技術賞受賞者

- 個人部門 來嶋 優子 (東海旅客鉄道(株))
「名古屋車輦区構内における歩道橋桁の送り出し架設工事」

平成24年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 篠田 将旭 (名城大学大学院)
「構造用アルミニウム合金SPDの基礎的性能実験」
第II部門 鈴木 一輝 (名古屋大学)
「準3次元モデルと平面2次元モデルによる氾濫結合モデルの構築」
第III部門 間瀬 将成 (岐阜大学)
「局所平均を用いた円弧すべり計算の簡易信頼性解析法」
第IV部門 小山田 哲郎 (名古屋大学大学院)
「電気自動車の充電切れに対する意識に関する研究」
第V部門 横田 光一郎 (金沢大学大学院)
「ASR膨張のコンクリート-鉄筋間のひずみ伝達機構モルタル断層画像のRGB情報を利用した骨材抽出に関する研究」

- 第VI部門 武田 拓也 (信州大学大学院)
「実行雨量と地域情報を用いた土砂災害の危険性評価」
第VII部門 濱野 太宏 (信州大学)
「地盤環境が熱応答試験結果に与える影響に関する実験的研究」

2. 技術賞受賞者

- 第I部門 川崎 浩司 (名古屋大学大学院)
「沿岸防災・減災に資する災害リスク可視化技術システムの構築」
第II部門 宗 栄一 ((一社)日本建設保全協会, 長野県道路公社, (株)長野技研, (株)小宮山土木)
「三才山トンネル有料道路 油戸橋橋梁修繕工事報告(床版の上下増厚工法による長寿命化対策)」

平成25年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 廣畑 幹人 (名古屋大学大学院)
「TMCP鋼の溶接継手特性に及ぼす加熱および冷却の影響」
第II部門 中村 友昭 (名古屋大学)
「津波の越流による海岸堤防背後の洗掘の再現計算について」
第III部門 奥山 勇太 (名古屋工業大学)
「落石衝突を受ける敷砂緩衝材の密度変化」
第IV部門 高野 剛志 (名古屋大学)
「居住-移動統合分析に基づく低炭素地区デザイン手法の検討」
第V部門 野口 聖矢 (富山県立大学)
「鉄筋で拘束されたコンクリートのコア削孔によるひずみ測定に関する実験的研究」
第VI部門 受賞者なし
第VII部門 小川 翔平 (岐阜大学)
「射撃場土壌におけるリン資材によって溶出されたSbの含鉄資材との併用による不溶化」

2. 技術賞受賞者

- 設計部門 グループ 名古屋大学・名城大学・(株)浅沼組
吉川 高広 (名古屋大学)
「粘土地盤上の不飽和盛土の地震中・地震後挙動に関する空気～水～土骨格連成解析」
施工部門 団体 東海旅客鉄道(株)
加納 俊作 (東海旅客鉄道(株))
「名古屋駅新ビル(仮称)における鉄道函体アンダーピニング工事の施工」

平成26年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 国井 俊輔 (名古屋大学大学院)
「桁下での火災を模擬した鋼桁の加熱冷却実験」
第II部門 市岡 大昌 (金沢大学大学院)
「波による砂漣の発生・発達過程に関する数値解析」
第III部門 新井 拓弥 (名古屋工業大学)
「粒度分布形状に着目した管渠周辺の地盤の陥没挙動と変状速度」
第IV部門 井戸 聖 (岐阜大学)

- 第V部門 「阪神高速道路のETCデータを用いた料金改定における交通影響分析」
平石 陽一 (名古屋大学倉敷紡績(株))
「コンクリート構造物のひび割れを検知するFRP製センサの開発と実構造物への適用事例」
 - 第VI部門 小野寺 聡 (東海旅客鉄道(株))
「鉄道函体直下を横断する透し堀り連壁工事の施工」
 - 第VII部門 佐野 翼 (長野工業高等専門学校)
「国内の食品加工廃水におけるDHS処理法の処理水質及び固形物の収支」
2. 技術賞受賞者
- 施工部門 団体 中部電力株式会社 徳山水力建設所
青木 崇 (中部電力(株))
「運用中の徳山ダム直下における水力発電所建設工事」
 - 設計部門 グループ 倉敷紡績(株) 平石 陽一
岐阜大学 國枝 稔
中日本高速道路(株) 酒井 修平
川崎重工業(株) 小出 宜央
「コンクリート構造物のひび割れを検知するFRP製センサの開発と実構造物への適用事例」

平成27年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 石田 明久 (金沢大学大学院)
「空気弁の地震被害要因に関する模型振動実験」
- 第II部門 松原 卓也 (金沢大学大学院)
「波浪履歴を用いた直立護岸の被災予測に関する研究」
- 第III部門 田中 敬大 (名古屋工業大学)
「異なる地盤材料を組み合わせた互層緩衝構造の衝撃緩衝特性」
- 第IV部門 佐々木 憲史 (岐阜大学)
「観光流動把握を目的とした流動モデリングと遷移確率推定」
- 第V部門 中根 康智 (豊田工業高等専門学校)
「ポリマーを混入した繊維補強超速硬コンクリートの基礎的研究」
- 第VI部門 岩本 直晃 (東海旅客鉄道(株))
「鉄道函体アンダーピニング工事における仮受工の施工」
- 第VII部門 館 文人 (名古屋大学大学院)
「ストック型社会の形成に向けた建設系マテリアルストック評価指標に関する研究」

2. 技術賞受賞者

- 維持管理部門一般社団法人
- 日本建設保全協会 宗 栄一
 - 長野県道路公社 手塚 敏徳
 - 九州共立大学 牧角 龍憲
 - 矢木コーポレーション(株) 宮澤 健一
- 「三才山トンネル有料道路の橋梁床版長寿命化対策について
(本沢橋床版取替えに伴う旧床版の切出し調査報告)」

平成28年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 猪飼 豊樹 (名城大学大学院)
「T型溶接継手の延性破壊シミュレーション手法に関する一検討」
- 第II部門 菊 雅美 (岐阜工業高等専門学校)
「UAVによる空撮画像から礫の粒径分布を算定する手法に関する一考察」
- 第III部門 堀 耕輔 (名古屋工業大学)
「異なる含水比が敷砂緩衝材の衝撃緩衝性能に及ぼす影響」
- 第IV部門 亘 陽平 (長野工業高等専門学校)
「観光流動把握を目的とした流動モデリングと遷移確率推定」
- 第V部門 遅 舜元 (名古屋大学)
「せん断補強筋を有するせん断破壊するRCはりの寸法効果に対する解析的検討」
- 第VI部門 富岡 明 (岐阜大学)
「既設アンカー切土のり面の確率的安全性評価」
- 第VII部門 野中 一鴻 (名古屋大学大学院)
「人口統計を考慮した都市構造物のマテリアルストック・フロー分析
-名古屋市中心部と和歌山市中心部を対象として-」

2. 技術賞受賞者

- 施工部門 落河 崇征 (豊田市)
「自然環境と生活環境に配慮した人工河川・新安永川の建設」

3. 支部長賞受賞者

- 愛知工業大学 工学部都市環境学科 大久保 亮祐
- 石川工業高等専門学校 環境都市工学科 瀬川 莉子
- 石川工業高等専門学校 専攻科環境建設工学専攻 出村 隆能
- 金沢工業大学 環境・建築学部環境土木工学科 野馬 沙央里
- 金沢工業大学大学院 工学研究科環境土木工学 石井 一騎
- 岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 浦崎 幹八郎
- 岐阜大学工学部 社会基盤工学科 高橋 周斗
- 岐阜大学大学院 工学研究科社会基盤工学専攻 安藤 宏恵
- 近畿大学工業高等専門学校 吉田 雄登
- 信州大学工学部 土木工学科 秋山 大輔
- 信州大学大学院 理工学研究科修士課程土木工学専攻 YONJAN SANTOSH
- 大同大学工学部 建築学科土木・環境専攻 村田 大輔
- 大同大学大学院 工学研究科都市環境デザイン学専攻土木・環境コース 吉川 慎平
- 中部大学 工学研究科建設工学専攻 村瀬 将隆
- 中部大学 工学部 都市建設工学科 額 直寛
- 富山県立大学大学院 工学研究科環境工学専攻 三原 一輝
- 豊田工業高等専門学校 専攻科建設工学専攻 中根 康智
- 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 LIM JIA YEN
- 長野工業高等専門学校 環境都市工学科 市川 晃己
- 三重大学大学院 生物資源学研究所共生環境学専攻 長岡 誠也
- 名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 山田 聡徳
- 名城大学理工学研究科 建設システム工学専攻 石川 雄己

(教育組織名称五十音順)

平成29年度

1. 優秀研究発表賞受賞者

- 第I部門 上山 裕太 (名古屋大学大学院)
「ハイブリッドFRP引抜成形アングル部材により補修された腐食した鋼桁端部の耐荷力実験」
- 第II部門 豊田 将也 (岐阜大学大学院)
「2017年に日本列島に接近・上陸した台風強度に関する再現実験」
- 第III部門 吉野 貴仁 (豊橋技術科学大学)
「進行波および定常波を受ける海底地盤における有効応力応答と底質移動の解析」
- 第IV部門 北田 寛明 (岐阜大学)
「大垣の水系基盤からみた近代都市マネジメント」
- 第V部門 加藤 了俊 (金沢工業大学大学院)
「亜硝酸リチウム混入ゲルを用いたコンクリートの複合劣化対策工法の効果評価」
- 第VI部門 柴田 貴文 (岐阜大学)
「社会的費用を考慮した最適工法選択モデルの開発」
- 第VII部門 浦崎 幹八郎 (岐阜工業高等専門学校)
「硫酸塩を含む電子産業排水の嫌気性処理の適用性と有機物分解過程の調査」

2. 技術賞受賞者

- 施工部門 グループ 中日本高速道路(株), 瀧上工業(株) 代表者 山本 大貴
「国内最大級の制震ダンパーを用いた名港西大橋(上り線)の耐震補強工事」

3. 支部長賞受賞者

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 愛知工業大学 工学部都市環境学科 | 前田 智法 |
| 石川工業高等専門学校 環境都市工学科 | 稲場 光太郎 |
| 石川工業高等専門学校 専攻科環境建設工学専攻 | 梶田 広大 |
| 金沢工業大学 環境・建築学部環境土木工学科 | 石金 達也 |
| 金沢工業大学大学院 工学研究科環境土木工学 | 田中 祐貴 |
| 岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 | 大内 誠直 |
| 岐阜工業高等専門学校 専攻科先端融合開発専攻 | 服部 聖也 |
| 岐阜大学 工学部社会基盤工学科 | 熊澤 拓也 |
| 岐阜大学大学院 工学研究科社会基盤工学専攻 | 小野 友暉 |
| 近畿大学工業高等専門学校 総合システム工学科都市環境コース土木系 | 兼原 史典 |
| 信州大学 工学部土木工学科 | 渡司 悠人 |
| 信州大学大学院 総合理工学研究科工学専攻水環境・土木工学分野 | 杉浦 翔太 |
| 大同大学 工学部建築学科土木・環境専攻 | 宮崎 敬大 |
| 中部大学 工学部都市建設工学科 | 奥村 侑亮 |
| 中部大学大学院 工学研究科建設工学専攻 | 伊藤 健介 |
| 富山県立大学大学院 工学研究科環境工学専攻 | 小林 勇佑 |
| 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 | 本多 光樹 |
| 豊田工業高等専門学校 専攻科建設工学専攻 | 鈴木 恒太 |
| 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学課程 | 東 洸成 |
| 豊橋技術科学大学大学院 建築・都市システム学専攻 | 櫻木 悠貴 |
| 長野工業高等専門学校 環境都市工学科 | 内山 茂 |
| 名古屋工業大学 都市社会工学科環境都市系プログラム | 高辻 理人 |
| 三重大学大学院 生物資源学研究科共生環境学専攻 | 松岡 健介 |
| 名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 | 吉田 聡一郎 |
| 名城大学大学院 理工学研究科建設システム工学専攻 | 猪飼 豊樹 |

(教育組織名称五十音順)

第8章 | 中部支部10年のあゆみ

8.1 平成20～29年度の活動一覧

平成20年度

1. 主催行事

(1) 講習会・技術講座

第1回「2007年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会」

日 時:平成20年5月15日(木)

場 所:名古屋市工業研究所

参加者:168名

第2回「2008年制定鋼・合成構造標準示方書－耐震設計編－講習会」

日 時:平成20年6月20日(金)

場 所:名古屋市工業研究所

参加者:63名

第3回創立70周年記念事業 ミニシンポジウム「地球温暖化への適応策～水循環の視点から～」

日 時:平成20年10月31日(金)

場 所:名古屋大学シンポジオン

参加者:120名

第4回「土木技術者に求められる姿 —技術士資格取得のために—」

日 時:平成21年2月12日(木)

場 所:愛知工業大学(本山キャンパス)

参加者:88名

第5回「地震防災に関する講習会」

日 時:平成21年3月6日(金)

場 所:名古屋市工業研究所

参加者:51名

(2) 土木の日関連行事

①70周年記念事業「飛驒トンネルバックヤードツアー」

日 時:平成20年8月1日(金)

見学先:飛驒トンネル, 白川郷

参加者:35名

②親子ふれあい見学会

「名古屋の空と海とわたしたちの暮らし」

日 時:平成20年11月23日(日)

見学先:中部国際空港・名古屋港他

参加者:34名

③市民見学会

<コース1>市民見学会(名古屋市)

テーマ:見て! 触れて! 体験して! 公共交通について考えてみよう

日 時:平成20年11月1日(土)

見学先:名古屋市地下鉄・レトロ電車館他

参加者:26名

<コース2>工事現場見学会(岐阜県飛騨地区)

テーマ:～地域の建設現場を見る～

日 時:平成20年11月1日(土)

見学先:丹生川ダム工事現場

参加者:19名

<コース3>県民見学会(富山県)

テーマ:「とやまの土木(過去・未来)～とやまの土木遺産と未来を拓くとやまの土木を見にいこう～

日 時:平成20年11月15日(土)

見学先:能越自動車道・富岩運河環水公園他

参加者:18名

<コース4>工事現場見学会(岐阜県岐阜地区)

テーマ:～地域の建設現場を見る～

日 時:平成20年11月15日(土)

見学先:新所平島線(橋梁工事現場)・岐阜シティータワー43

参加者:37名

④ 学校イベントの協賛・後援

工大祭併催「スタンプラリー&クイズ」

日 時:平成20年10月12日(日)

場 所:金沢工業大学

長野高専高専祭「工嶺祭」

日 時:平成20年10月25日(土)～26日(日)

場 所:長野工業高等専門学校

岐阜高専高専祭「環境都市工学科専門展」・「環境都市外展」

日 時:平成20年10月25日(土)～26日(日)

場 所:岐阜工業高等専門学校

⑤ エクスカーション

第1回「徳山ダム・根尾谷断層の体験型見学会」

日 時:平成20年8月26日(火)

見学先:徳山ダム・根尾谷地震断層観察館

参加者:30名

第2回「人と利水～徳山・横山ダムの見学を通して～体験型見学会」

日 時:平成20年8月27日(水)

見学先:徳山・横山ダム他

参加者:9名

第3回「人と利水～徳山・横山ダムの見学を通して～体験型見学会」

日 時:平成20年8月29日(金)

見学先:徳山・横山ダム他

参加者:25名

(3) 研究発表会

日 時:平成21年3月3日(火)
場 所:名城大学
参加者:421名
講演発表論文件数: I～VII部門 282件

(4) 土木出前講座

- ①「東海・東南海地震による各種被害予測と防災への取り組み」
日 時:平成20年5月7日(水)
場 所:南知多町立日間賀中学校
講 師:名古屋工業大学教授 谷口 仁士
参加者:55名
- ②「都市の健全な水環境」
日 時:平成20年5月15日(水)
場 所:安城市文化センター
講 師:大同工業大学教授 大東 憲二
参加者:44名
- ③「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成20年5月16日(水)
場 所:各務原市立川島中学校
講 師:名古屋工業大学教授 山本 幸司
参加者:126名
- ④「中部の土木遺産をたずねて」
日 時:平成20年5月27日(水)
場 所:静岡県職員会館
講 師:愛知工業大学准教授 小池 則満
参加者:116名
- ⑤「東海・東南海地震による各種被害予測と防災への取り組み」
日 時:平成20年7月16日(水)
場 所:静岡労政会館
講 師:名古屋工業大学教授 谷口 仁士
参加者:69名
- ⑥「東海大地震と被害の話」
日 時:平成20年7月29日(火)
場 所:愛知県自治センター
講 師:中部大学大学院教授 山田 公夫
参加者:35名
- ⑦「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成20年9月4日(木)
場 所:クラシー半田市民交流プラザホール
講 師:名古屋工業大学教授 山本 幸司
参加者:74名
- ⑧「東海・東南海地震による各種被害予測と防災への取り組み」
日 時:平成20年10月2日(木)
場 所:クラシー半田市民交流プラザホール
講 師:名古屋工業大学 谷口 仁士

- 参加者:65名
 - ⑨「生態系と開発」
日 時:平成20年10月6日(月)
場 所:豊橋市役所
講 師:名古屋工業大学 増田 理子
参加者:60名
 - ⑩「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成20年10月22日(水)
場 所:中津川市民病院
講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
参加者:92名
 - ⑪「新聞紙に乗ろう!橋の話と実験」
日 時:平成20年12月3日(水)
場 所:豊山町立豊山小学校
講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶
参加者:38名
 - ⑫「進化しつづける建設材料」
日 時:平成21年2月20日(金)
場 所:愛日建設技術協会(清須市都市計画課)
講 師:名古屋大学 国枝 稔
参加者:92名
 - ⑬「東海大地震と被害の話」
日 時:平成21年3月19日(木)
場 所:愛知県東郷町立東郷中学校
講 師:中部大学 山田 公夫
参加者:150名
- (5) 70周年記念事業
- ①「飛騨トンネルバックヤードツアー」(土木の日関連行事として実施)
日 時:平成20年8月1日(金)
見学先:飛騨トンネル, 白川郷, NEXCO中日本名古屋支社道路管制センター
参加者:35名
 - ②ミニシンポジウム「地球温暖化への適応策～水循環の視点から～」(第3回技術講習会として実施)
日 時:平成20年10月31日(金)
場 所:名古屋大学シンポジオン
参加者:120名
 - ③70周年記念事業記念式典・記念シンポジウム「地球温暖化に挑む!～今, 私たちがすべきこと～」
日 時:平成20年11月22日(土)
場 所:中電ホール
参加者:301名
- (6) 自治体ランチ活動 講師:名古屋市職員等
- ①「土木技術者がデザインする視点」
日 時:平成20年7月2日(水)
場 所:愛知工業大学
 - ②「名古屋都心の交通政策」

- 日 時:平成20年10月14日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ③「現場に必要な土木技術者の感性」
日 時:平成20年10月21日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ④「危機管理のノウハウ」
日 時:平成20年10月28日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑤「危機管理のノウハウ」
日 時:平成20年10月29日(水)
場 所:中部大学
 - ⑥「中川運河プロジェクト」
日 時:平成20年11月4日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑦「現場に必要な土木技術者の感性」
日 時:平成20年11月5日(水)
場 所:中部大学
 - ⑧「名古屋都心開発プロジェクト」
日 時:平成20年11月11日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑨「市民と行政のパートナーシップ」
日 時:平成20年11月12日(水)
場 所:中部大学
 - ⑩「施工現場の今日的課題」
日 時:平成20年11月18日(火)
場 所:中部大学
 - ⑪「名古屋市が求める社会人の姿勢」
日 時:平成20年11月19日(水)
場 所:愛知工業大学
 - ⑫「市民と行政のパートナーシップ」
日 時:平成20年11月25日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑬「公園管理の事例－行政代執行の実例」
日 時:平成20年12月9日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑭「地方公共団体の入札制度」
日 時:平成21年1月13日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑮公共工事発注における積算の問題」
日 時:平成21年1月20日(火)
場 所:名古屋工業大学
 - ⑯「公共工事に関わる法律」
日 時:平成21年1月27日(火)
場 所:名古屋工業大学
2. 共催・協賛・後援行事
- (1) 共催行事
建設技術フェア2008in 中部
主 催:建設技術フェアin中部実行委員会
日 時:平成20年10月29日(水)～30日(木)
場 所:名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール

- (2) 協賛行事
- ①日本材料学会東海支部 第1回イブニングセミナー
主 催:日本材料学会東海支部
日 時:平成20年5月22日(木)
場 所:(財)ファインセラミックセンター
 - ②日本材料学会東海支部 第45期第1回講演会
主 催:日本材料学会東海支部
日 時:平成20年7月15日(火)
場 所:中部大学名古屋キャンパス
 - ③テクノフェア2008
主 催:中部電力(株)
日 時:平成20年10月29日(水)～30日(木)
場 所:中部電力株式会社技術開発本部
- (3) 後援行事
- ①第7回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成20年8月21日(木)
場 所:中部国際空港(株)
第2セントレアビル4階会議ホール
 - ②第3回 新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト
主 催:中日本高速道路株式会社名古屋支社
日 時:平成20年10月18日(土)
場 所:金山南ビル
 - ③平成20年度(第18回)建設コンサルタント業務技術発表会)
主 催:(社)建設コンサルタンツ協会中部支部
日 時:平成20年10月20日(月)
場 所:愛知県厚生年金会館
 - ④科学技術振興調整費による人材育成シンポジウム 第15回岐阜シンポジウム『暮らしの安全と地域再生への挑戦－「みち」のメンテナンス技術－』
主 催:岐阜大学 社会資本アセットマネージメント技術研究センター
日 時:平成20年11月28日(金)
場 所:じゅうろくプラザ議ホール
 - ⑤「鉄筋継手の品質確保のための管理と検査」講習会
主 催:(社)日本鉄筋継手協会
日 時:平成20年11月28日(金)
場 所:石川県地場産業振興センター
 - ⑥第8回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成21年2月12日(木)
場 所:中部国際空港(株)
第2セントレアビルセントレアホール
3. 会議
- (1) 支部総会
日 時:平成20年4月17日(木)15:00～17:15
場 所:愛知厚生年金会館
(名古屋千種区池下町2丁目63)
特別講演:「地球温暖化に伴う地域気象への影響」

- 愛知教育大学教授 大和田 道雄
出席者:総会126名 講演会143名
- (2) 顧問会:1回
 - (3) 商議員会:4回
 - (4) 幹事会:9回
 - (5) 調査研究委員会選考委員会:2回
 - (6) 優秀研究発表賞選考委員会:4回
 - (7) 技術賞選考委員会:2回
 - (8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
 - (9) 企画調整WG:9回
 - (10) 広報WG-1:8回
 - (11) 広報WG-2:9回
 - (12) 講習会WG-1:9回
 - (13) 講習会WG-2:9回
 - (14) 70周年記念事業 実行委員会:8回
 - (15) 70周年記念事業 部会長会:4回
 - (16) 70周年記念事業 総務部会:2回
 - (17) 70周年記念事業 シンポジウム部会:7回

平成21年度

1. 主催行事

(1) 技術講習会

第1回「鋼橋の維持管理に関する講習会」

日 時:平成21年5月19日(火)

場 所:名古屋市工業研究所

参加者:130名

第2回「土壌・地下水汚染に関する講習会」

日 時:平成21年6月9日(火)

場 所:名古屋市工業研究所

参加者:83名

第3回「COP10 プレシンポジウム -生物多様性と

工学の関わり-」(共催)

主 催:名古屋工業大学

日 時:平成21年9月1日(金)

場 所:名古屋工業大学

参加者:81名

第4回「中部支部調査研究報告会『都市河川・堀川の

再生に向けて』

日 時:平成21年10月3日(土)

場 所:名古屋都市センター

参加者:126名

第5回「材料劣化が生じたコンクリート構造物の構

造性能研究小委員会『成果報告会』

日 時:平成21年10月21日(水)

場 所:金沢工業大学

参加者:39名

第6回「橋梁技術発表会及び講演会一次世代に贈る

鋼橋のために-」(共催)

主 催:(社)日本橋梁建設協会

日 時:平成21年11月18日(金)

場 所:愛知県産業労働センター

参加者:160名

(2) 土木の日関連行事

①親子ふれあい見学会

「くらしの中のふしぎを海からさぐる」

日 時:平成21年11月23日(月・祝)

見学先:名古屋高速道路・名古屋港

参加者:39名

②市民見学会

＜愛知県＞「未来を支える社会基盤整備－わくわく貸切りニモで行くサツキとメイの家－」

日 時:平成21年11月7日(土)

見学先:名古屋環状2号線, 愛・地球博記念公園,

リニモ試乗・車両基地,

瀬戸デジタルタワー

参加者:33名

＜三重県＞「私たちのまわりの土木施設を見てみよう」

日 時:平成21年11月14日(土)

見学先:北勢バイパス現場, 四日市港,

中部電力 川越火力発電所

参加者:29名

＜長野県＞「過去から現代へ, 信州の土木施設を訪ねて」

日 時:平成21年11月15日(日)

見学先:北陸新幹線建設現場,

中部横断自動道建設現場,

小谷道路建設現場

参加者:33名

③学校イベントの協賛・後援

第6回全国工業高等専門学校デザインコンペティッ

ション

日 時:平成21年11月13日(金)～15日(日)

場 所:豊田工業高等専門学校・スカイホール豊田

岐阜高専・高専祭「防災減災展～東海地震への備え

～&環境都市の部屋」

日 時:平成21年10月24日(土)～25日(日)

長野高専・高専祭「軽くて強くってカッコいい橋っ

て, どんな橋」

日 時:平成21年10月24日(土)～25日(日)

④ エクスカーション

第1回「徳山ダム, 根尾谷断層および観察館コース」

日 時:平成21年7月29日(水)

見学先:徳山ダム, 根尾谷断層および観察館

参加者:19名(愛知県科学教育研究会メンバー)

第2回「陶都の小路と砂防の知恵」

日 時:平成21年8月7日(金)

見学先:セラミックパーク美濃, 雲五川床固工群,

市之倉おりべ砂防堰堤他

参加者:27名(三重県朝日町教育委員会メンバー)

第3回「陶都の小路と砂防の知恵」

日 時:平成21年8月26日(水)

見学先:市之倉おりべ砂防堰堤,

市之倉さかづき美術館

参加者:27名(尾張教育研究会丹葉支部社会部会

(社会科研究会)メンバー)

(3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式

日 時:平成21年10月28日(水)

場 所:建設技術フェア2009in 中部

(国土交通省中部地方整備局 中部技術

事務所内)

七ヶ用水 給水口および大水門(手取川

七ヶ用水土地改良区)

柳河原発電所 跡曳水路橋(関西電力株

式会社北陸支社)

北勢線のねじり橋とめがね橋(三岐鉄道

株式会社)

(4) 研究発表会

日 時:平成22年3月1日(月)

場 所:金沢工業大学

参加者:524名

講演発表論文数:Ⅰ～Ⅶ部門 328件(キャン

セル4件含む)

(5) 土木出前講座

①「生態系と開発, 環境・外来種, 生物多様性, COP10

環境と生物の関係に関する一般知識から最先端

の研究まで」

日 時:平成21年6月26日(金)

場 所:名古屋市立神の倉中学校

講 師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:470名

②「生態系と開発, 環境・外来種, 生物多様性, COP10

環境と生物の関係に関する一般知識から最先端

の研究まで」

日 時:平成21年10月15日(木)

場 所:常滑市立南陵中学校

講 師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:106名

③「液化化しそうな地盤とは?作って調べてみよう」

日 時:平成21年10月28日(水)

場 所:幡豆郡一色町立一色中部小学校

講 師:愛知工業大学 奥村 哲夫

参加者:94名

④「地震と津波」

日 時:平成21年10月30日(火)

場 所:弥富市立十四山中学校

講 師:名古屋大学 水谷 法美

参加者:58名

⑤「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急

対応について」

日 時:平成21年11月13日(金)

場 所:国土交通省中部地方整備局

講 師:名古屋工業大学 山本 幸司

参加者:50名

⑥「水域災害のリスクを考える」(日本鉄道施設協

会中部支部)

日 時:平成21年11月20日(金)

場 所:名古屋マリオットアソシアホテル

講 師:名古屋工業大学 北野 利一

参加者:85名

⑦「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急

対応について」

日 時:平成21年12月18日(金)

場 所:名古屋市立富士中学校

講 師:名古屋工業大学 山本 幸司

参加者:113名

⑧「東海大地震に備えて - 地震災害を探る -」

日 時:平成22年1月21日(木)

場 所:安城市立桜井中学校

講 師:中部大学 山田 公夫

参加者:31名

⑨「地域づくりに活かす技術者の視点と役割」(静

岡県道路協会・静岡県道路利用者会議)

日 時:平成22年2月9日(火)

場 所:静岡県総合研修所もくせい会館

講 師:名古屋工業大学 秀島 栄三

参加者:95名

⑩「気候の歴史をさぐる」

日 時:平成22年2月19日(金)

場 所:愛日建設技術協会(清須市建設部)

講 師:名古屋工業大学 庄 建治朗

参加者:70名

⑪「新聞紙に乗ろう!橋の話と実験」

日 時:平成22年2月23日(火)

場 所:豊山町立豊山小学校

講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶

参加者:49名

⑫生態系と開発, 環境・外来種, 生物多様性, COP10

環境と生物の関係に関する一般知識から最先端

の研究まで」

日 時:平成22年2月24日(水)

場 所:宇治山田商業高等学校

講 師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:238名

⑬「地震災害をさぐる - 巨大地震に備えて -」

日 時:平成22年3月11日(木)

場 所:聖霊中学校(瀬戸市)

講 師:中部大学 山田 公夫

参加者:200名

(6) 自治体ブランチャ活動 講師:名古屋市職員等

- ①「名古屋市の道路づくりから」
日 時:平成21年11月11日(金)
場 所:中部大学
参加者:30名
- ②「行政・施策の実際」
日 時:平成21年11月18日(水)
場 所:中部大学
参加者:30名
- ③「行政・施策の実際」
日 時:平成21年12月11日(金)
場 所:名古屋工業大学
参加者:90名

2. 共催・協賛・後援行事

(1) 共催行事

- ①先生のための「社会資本」学習支援講座
主 催:国土交通省中部地方整備局
日 時:平成21年8月18日(火)
場 所:中部国際空港
- ②「COP10 プレシンポジウム -生物多様性と工学の関わり-」(第3回技術講習会)
主 催:名古屋工業大学
日 時:平成21年9月1日(火)
場 所:名古屋工業大学
- ③建設技術フェア2009in 中部
主 催:建設技術フェアin中部実行委員会
日 時:平成21年10月28日(水)~29日(木)
場 所:国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所内
- ④「橋梁技術発表会及び講演会-次世代に贈る鋼橋のために-」(第6回技術講習会)
主 催:(社)日本橋梁建設協会
日 時:平成21年11月18日(金)
場 所:愛知県産業労働センター

(2) 協賛行事

- ①プロジェクトマネジメント学会「中部支部シンポジウム」
主 催:プロジェクトマネジメント学会
日 時:平成21年11月12日(木)
場 所:名古屋工業大学
- ②テクノフェア2009
主 催:中部電力(株)
日 時:平成21年10月21日(水)~22日(木)
場 所:中部電力(株)技術開発本部

(3) 後援行事

- ①第9回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成21年8月28日(金)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ②COP10協賛事業「流域生態圏を基にこの国の形

- を創る」シンポジウム
主 催:同シンポジウム実行委員会
日 時:平成21年9月15日(火)
場 所:ホテルグランコート名古屋
- ③文部科学省科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成プログラム 「『鉄の橋』を守る技術-暮らしの安全と地域再生への挑戦」
主 催:岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター
日 時:平成21年9月25日(金)
場 所:岐阜文化センター
- ④平成21年度建設コンサルタント業務技術発表会
主 催:(社)建設コンサルタンツ協会中部支部
日 時:平成21年10月7日(水)
場 所:桜華会館
- ⑤第4回 新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト
主 催:(社)日本鉄筋継手協会
日 時:平成21年10月17日(土)
場 所:アスナルホール(金山)
- ⑥全国高等専門学校デザインコンペティション2009 in 豊田
主 催:高等専門学校連合会
日 時:平成21年11月14日(土)~15日(日)
場 所:スカイホール豊田(豊田市総合体育館)
- ⑦第10回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成22年1月29日(金)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル

3. 会議

- (1) 支部総会
日 時:平成21年4月15日(水)15:00~19:00
場 所:メルパルク名古屋
(名古屋市東区葵3-16-16)
特別講演:「COP10と経済・社会・環境のバランス~いのちのインフラとしての生物多様性~」
名古屋市立大学 大学院経済学研究科
准教授 香坂 玲
出席者:総会155名 講演会146名
- (2) 顧問会:1回
- (3) 商議員会:3回
- (4) 幹事会:9回
- (5) 調査研究委員会選考委員会:2回
- (6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回
- (7) 技術賞選考委員会:2回
- (8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
- (9) 企画調整WG:9回
- (10) 広報WG-1:7回
- (11) 広報WG-2:9回
- (12) 講習会WG-1:8回
- (13) 講習会WG-2:9回

平成22年度

1. 主催行事

(1) 技術講習会

- 第1回「土木技術者に求められる姿 -技術士資格取得のために-」
日 時:平成22年4月28日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:84名
- 第2回「腐食した鋼構造物の耐久性照査に関する講習会」
日 時:平成22年6月30日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:87名
- 第3回「降雨・竜巻・地震・津波から人を守るために-新しい気象情報の活用-」
日 時:平成22年9月9日(木)
場 所:栄ガスホール(名古屋)
参加者:175名
- 第4回「仮設構造物の計画と施工(2010年改訂版)に関する講習会」
日 時:平成22年10月13日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:98名
- 第5回「切迫する巨大地震への地震発生予測と減災技術に関する講習会」
日 時:平成22年12月7日(火)
場 所:名古屋逓信会館
参加者:397名

(2) 土木の日関連行事

- ①親子ふれあい見学会
「中部の空と海の玄関を探ろう」
日 時:平成22年11月23日(火・祝)
見学先:セントレア・名古屋港
参加者:36名
- ②市民見学会
<石川県>「道」と「河」と「まちななか秋風情」, 見て・めぐる会
日 時:平成22年10月24日(日)
見学先:卯辰トンネル, 野田地内(大桑連絡橋), 辰巳ダム, 犀川御影大橋, 兼六園
参加者:40名
- <名古屋市>「名古屋高速の工事現場を見てみよう」
日 時:平成22年11月21日(土)
見学先:名古屋高速4号東海線工事現場,
さしまライブ24歩道橋仮設工事現場 他
参加者:22名
- <静岡県>「二級河川太田川沿いの土木の現場や施設を見学しよう!!」
日 時:平成22年11月21日(土)

- 見学先:福田漁港, 浅羽海岸サンドバイパス,
森川橋, 太田川ダム 他
参加者:21名
- ③土木技術者と学生の交流会
講演会 「土木技術者の夢」
日 時:平成22年11月17日(水)
場 所:名古屋逓信会館
講 師:東海旅客鉄道(株) 関 雅樹
参加者:89名
- 意見交換会 土木技術者(官公庁・学校・民間企業)と学生の交流
日 時:平成22年11月17日(水)
場 所:名古屋逓信会館
参加者:101名
- ④エクスカージョン
「人々の暮らしと治水の歴史を学ぶ」
日 時:平成22年11月20日(土)
見学先:輪中, 長良川河口堰, 名古屋市雨水対策整備工事
参加者:22名
- (3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式
日 時:平成22年11月17日(水)
場 所:名古屋逓信会館
参加者:89名
六見橋(岐阜県下呂土木事務所)
松重閘門(名古屋市緑政土木局)
清水灯台(清水海上保安部)
- (4) 市民対象講座
講演会 「土木史」
日 時:平成22年11月17日(水)
場 所:名古屋逓信会館
講 師:岐阜大学 出村 嘉史准教授
参加者:110名
- (5) 研究発表会
日 時:平成23年3月4日(金)
場 所:中部大学
参加者:545名
講演発表論文件数: I ~ VII部門 334件
- (6) 土木出前講座
①「生態系と開発, 環境・外来種, 生物多様性, COP10 環境と生物の関係に関する一般知識から最先端の研究まで」
日 時:平成22年4月16日(金)
場 所:豊明市商工会議所(豊明市産業振興課)
講 師:名古屋工業大学 増田 理子
参加者:38名
- ②「新聞紙に乗ろう! 橋の話と実験」
日 時:平成22年7月16日(金)
場 所:豊山町立豊山小学校
講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶

- 参加者:43名
- ③「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成22年7月27日(火)
場 所:自治センター(愛知県企業庁)
講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
参加者:23名
- ④「阪神・淡路大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成22年8月27日(金)
場 所:中部運輸局
講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
参加者:79名
- ⑤「近づく大地震 地震発生のしくみと地震予測地震への対応」
日 時:平成22年8月27日(金)
場 所:小諸市公民館
(高齢者福祉センター糠塚園)
講 師:長野工業高等専門学校 古本 吉倫
参加者:88名
- ⑥「微生物でまちをきれいにする」
日 時:平成22年9月16日(木)
場 所:小諸市公民館(女性学級)
講 師:信州大学 松本 明人
参加者:47名
- ⑦「コンクリート構造物の維持管理」
日 時:平成22年12月1日(水)
場 所:豊橋市役所
講 師:名古屋大学 中村 光
参加者:56名
- ⑧「都市における下水道の役割」
日 時:平成23年3月16日(水)
場 所:中部土質試験協同組合
講 師:名古屋市上下水道局 山下 研二
参加者:28名
- (7) 自治体ランチ活動 講師:名古屋市職員等
 - ①「バリアフリー,ユニバーサルデザイン等の土木における今日的課題について」ほか
日 時:平成22年6月10日~7月15日
場 所:豊田高専
参加者:203名
 - ②「環境に配慮した道路整備の説明および現場見学」
日 時:平成22年6月30日, 7月7日
場 所:豊田高専
参加者:75名
 - ③「橋梁設計から動物園の管理まで」ほか
日 時:平成22年11月10日, 11月17日
場 所:中部大学
参加者:74名

2. 共催・協賛・後援行事

(1) 共催行事

- ①先生のための「社会資本」学習支援講座
主 催:国土交通省中部地方整備局
日 時:平成22年8月20日(金)
場 所:名古屋市都市センター
- ②建設技術フェア2010in 中部
主 催:建設技術フェアin中部実行委員会
日 時:平成22年11月4日(木)
場 所:国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所内
- ③「橋梁技術発表会及び講演会-安全・安心な鋼橋-」
主 催:(社)日本橋梁建設協会
日 時:平成22年11月11日(木)
場 所:東建ホール・丸の内

(2) 協賛行事

- ①テクノフェア2010
主 催:中部電力(株)
日 時:平成22年10月20日(水)~21日(木)
場 所:中部電力(株) 技術開発本部
- ②プロジェクトマネジメント学会「中部支部シンポジウム」
主 催:プロジェクトマネジメント学会
日 時:平成22年11月15日(月)
場 所:名古屋工業大学

(3) 後援行事

- ①文部科学省科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成プログラム
「暮らしの安全と地域再生への挑戦『地域の道をみんなで守る』」
主 催:岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター
日 時:平成22年4月23日(金)
場 所:岐阜県民ふれあい会館
- ②第5回PIセミナー 「文化創造としての公共事業の評価と実践-最近の新しい動き」
主 催:(社)社会基盤技術評価支援機構・中部
日 時:平成22年5月14日(金)
場 所:愛知芸術文化センター
- ③第11回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成22年8月26日(木)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ④9・11 恵南豪雨災害から10年シンポジウム
主 催:恵那市
日 時:平成22年9月12日(日)
場 所:恵那市上矢作町公民館
- ⑤第37回技術士全国大会
主 催:(社)日本技術士会
日 時:平成22年9月24日(金)~27日(月)

- 場 所:じばさん三重, 四日市文化会館, 他
- ⑥名古屋のまちとみなとの未来を考える会
名古屋港ガーデンふ頭を考える学生競技設計, 公開講評会及び展覧会
主 催:名古屋都市センター
日 時:平成22年10月2日(土)
場 所:名城大学天白キャンパス, 名古屋都市センター
- ⑦平成22年度建設コンサルタント業務技術発表会
主 催:(社)建設コンサルタント協会中部支部
日 時:平成22年10月6日(水)
場 所:愛知産業労働センター
- ⑧文部科学省科学技術振興調整費地域再生人材創出拠点の形成プログラム
「岐阜大学社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニットシンポジウム-暮らしの安全と地域再生への挑戦-まじめなコンクリートが守る」
主 催:岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター
日 時:平成22年10月7日(木)
場 所:岐阜市文化センター
- ⑨公益財団法人豊田都市交通研究所 設立20周年シンポジウム
主 催:公益財団法人豊田都市交通研究所
日 時:平成22年10月15日(金)
場 所:豊田産業文化センター
- ⑩第5回 新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト
主 催:中日本高速道路株式会社名古屋支社
日 時:平成22年10月23日(土)
場 所:アスナルホール(金山)
- ⑪プロジェクトマネジメント学会 中部支部シンポジウム
主 催:プロジェクトマネジメント学会中部支部
日 時:平成22年11月15日(月)
場 所:名古屋工業大学
- ⑫第12回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成23年2月10日(木)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル

3. 会議

(1) 支部総会

- 日 時:平成22年5月10日(月)15:00~19:00
場 所:愛知県産業労働センター
(名古屋市市中村区名駅4丁目4-38)
特別講演:「リニア開発状況の現状と今後について」
東海旅客鉄道株式会社 東海道新幹線21世紀対策本部
リニア開発本部 副本部長 甲坂 友昭
出席者:総会149名 講演会179名

- (2) 顧問会:1回
- (3) 商議員会:3回
- (4) 幹事会:10回
- (5) 調査研究委員会選考委員会:4回
- (6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回
- (7) 技術賞選考委員会:2回
- (8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:5回
- (9) 地域貢献事業運営委員会:2回
- (10) 全国大会準備委員会:1回
- (11) 企画調整WG:9回
- (12) 広報WG-1:9回
- (13) 広報WG-2:9回
- (14) 講習会WG-1:8回
- (15) 講習会WG-2:9回

平成23年度

1. 主催行事

(1) 技術講習会

- 第1回「技術士資格取得のために-建設部門の2次試験に備える-」
日 時:平成23年4月11日(月)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:79名
- 第2回「土木構造物共通示方書I・IIに関する講習会」
日 時:平成23年6月29日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:51名
- 第3回 「土木学会による耐震入門セミナー:重点要約編」
日 時:平成23年11月28日(月)
場 所:金沢工業大学
参加者:35名
- 第4回「液状化対策工法」
日 時:平成23年12月5日(月)
場 所:名古屋大学
参加者:80名
- 第5回「コンクリート構造物を中心とした維持管理技術の最前線~最新動向の講習会と実物大橋梁モデルの見学~」
日 時:平成23年12月20日(火)
場 所:名古屋大学
参加者:71名
- (2) 土木の日関連行事
 - ①親子ふれあい見学会
「中部水辺環境を学ぼう!!」
日 時:平成23年11月23日(水・祝)
見学先:堀川~名古屋港~木曾三川~船頭平閘門
参加者:30名

②市民見学会

＜愛知県＞「未来を支える交通基盤」
 日時:平成23年10月29日(土)
 見学先:新東名高速道路, リニア・鉄道館 等
 参加者:38名

＜富山県＞「“つながる”現場を見てみんげ?」
 日時:平成23年11月12日(土)
 見学先:富岩運河中島開門,
 北陸新幹線工事現場 等
 参加者:28名

＜岐阜県＞「人の命や生活を守る土木施設について考えよう」
 日時:平成23年11月19日(土)
 見学先:丹生川ダム工事現場, 国道41号高山国府
 パイパス 等
 参加者:18名

③土木技術者と学生の交流会

講演会 「防災・災害復旧復興における土木技術者の役割」
 日時:平成23年11月25日(金)
 場所:名古屋通信会館
 講師:愛知県建設部道路建設課 今満 欣貴
 参加者:81名

意見交換会 土木技術者(官公庁・学校・民間企業)と学生の交流

日時:平成22年11月17日(水)
 場所:名古屋通信会館
 参加者:56名

④ エクスカーション

「飛騨高山の歴史散策」
 日時:平成23年8月29日(月)
 見学先:飛騨・高山
 参加者:20名

「名古屋港・木曾三川下流を巡るエクスカーション」
 日時:平成23年12月4日(日)
 見学先:名古屋港・木曾三川下流
 参加者:9名

(3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式

日時:平成23年10月26日(水)
 場所:中部地方整備局中部技術事務所
 菅橋(長野県木曾郡木祖村)
 名古屋市旧第一ポンプ所と東山給水塔
 (名古屋市上下水道局)
 太田橋(岐阜県美濃加茂市)
 木曾川河跡湖(トンボ池)の聖牛(国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所)

(4) 市民対象講座

講演会 「東海・東南海・南海地震に備えて」
 講演1:大規模震災発生時の緊急対応について

～阪神・淡路および東日本大震災からの教訓を生かして～

講師:名古屋工業大学 山本 幸司教授

講演2:液化化を考える

～東日本大震災の分析と課題を通じて～

講師:名古屋大学 中井 健太郎准教授

日時:平成23年11月25日(金)

場所:名古屋通信会館

参加者:127名

(5) 研究発表会

日時:平成24年3月8日(木)

場所:信州大学

参加者:448名

講演発表論文数: I～VII部門 262件

(6) 土木出前講座

①「新聞紙に乗ろう!橋の話と実験」

日時:平成23年7月1日(金)

場所:豊山町立豊山小学校

講師:愛知工業大学 鈴木 森晶

参加者:44名

②「気候の歴史をさぐる」

日時:平成23年7月2日(土)

場所:名城大学天白キャンパス

講師:名古屋工業大学 庄 建治朗

参加者:18名

③「環境に配慮した道づくりへの新しいしくみ～専門家会から施工ワーキングへ」

日時:平成23年7月20日(水)

場所:ウィル愛知

講師:名古屋市長政土木局 服部 幸也

参加者:14名

④「進化しつづける建設材料～東日本大震災における検証～」

日時:平成23年8月22日(月)

場所:静岡県総合研修所もくせい会館

講師:名古屋大学 国枝 稔

参加者:110名

⑤「震災発生時の緊急対応について～阪神・淡路大震災, 東日本大震災を教訓として～」

日時:平成23年8月26日(金)

場所:中部運輸局会議室

講師:名古屋工業大学 山本 幸司

参加者:80名

⑥「地震と津波」

日時:平成23年8月29日(月)

場所:豊橋市役所

講師:豊橋技術科学大学 加藤 茂

参加者:48名

⑦「名古屋市における地下鉄事業」

日時:平成23年9月13日(火)

場所:ウインク愛知

講師:名古屋市交通局 大住 真二

参加者:31名

⑧「緊急地震速報で命をまもる」

日時:平成23年10月3日(月)

場所:職業訓練センター(鈴鹿市)

講師:愛知工業大学 正木 和明

参加者:97名

⑨「けんたのわくわくおもしろ体験 橋のひみつ探検隊」

日時:平成23年10月9日(日)

場所:(株)デンソー高棚製作所・(株)デンソー技研センター

講師:愛知工業大学 鈴木 森晶

参加者:39名

⑩「生物多様性」

日時:平成23年11月19日(土)

場所:名城大学天白キャンパス

講師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:16名

⑪「緊急地震速報で命を守る」

日時:平成24年1月26日(木)

場所:関市立関商工高等学校

講師:愛知工業大学 正木 和明

参加者:76名

⑫「進化しつづける建設材料」

日時:平成24年2月4日(土)

場所:社団法人日本技術士会花車ビル北館

講師:名古屋大学 国枝 稔

参加者:13名

⑬「新幹線の線路保守」

日時:平成24年2月15日(水)

場所:愛知県立半田工業高等学校

講師:東海旅客鉄道(株) 永沼 泰州

参加者:40名

(7) 土木技術者と学生の交流活動事業(自治体プランチ活動)

名古屋市の土木技術者と名古屋大学土木系学部生・大学院生の交流

第1部:地方公務員としての土木技術者に求められるものとは

第2部:先輩社会人とのグループディスカッション

日時:平成23年12月27日(火)

場所:名古屋大学環境総合館

参加者:21名

2. 共催・協賛・後援行事

(1) 共催行事

①先生のための「社会資本」学習支援講座

主催:国土交通省中部地方整備局

日時:平成23年8月3日(水)

場所:国土交通省中部地方整備局四日市港湾事務所

②「都市のインフラとしての自然」を考える
 -いきもの目線とまちづくり目線の統合を!-

主催:なごや環境大学実行委員会

日時:平成23年10月15日(土)

場所:愛知芸術文化センター

③建設技術フェア2011 in 中部

主催:建設技術フェア2011 in 中部実行委員会

日時:平成23年10月26日(水)

場所:中部地方整備局中部技術事務所

④「橋梁技術発表会及び講演会 -鋼橋技術の進化と継承-」

主催:(社)日本橋梁建設協会

日時:平成23年11月15日(火)

場所:東建ホール・丸の内

⑤「東日本大震災を教訓にして東海・東南海・南海3連動地震に備える ~地盤工学における課題~」

主催:公益社団法人地盤工学会中部支部

日時:平成23年12月6日(火)

場所:名古屋大学ES総合館

(2) 協賛行事

①プロジェクトマネジメント学会中部支部シンポジウム

主催:プロジェクトマネジメント学会 中部支部

日時:平成23年11月15日(火)

場所:名古屋工業大学

(3) 後援行事

①三六災害から50年 防災講演会

主催:天竜川上流河川事務所, 天竜川ダム統合管理事務所, 三六災害50年実行委員会,
 (社)中部建設協会

日時:平成23年4月26日(火)

場所:飯島町文化館 大ホール

②第6回PIセミナー 文化創造からみた21世紀の国土づくり

主催:(社)社会基盤技術評価支援機構・中部

日時:平成23年5月17日(火)

場所:愛知芸術文化センター

③第22回岐阜シンポジウム 「“超”広域地震災害にそなえて-いま ぎふが ができること-」

主催:国立大学法人岐阜大学

日時:平成23年7月15日(金)

場所:長良川国際会議場メインホール

④平成23年度名古屋大学協力会総会・講演会 「グリーンモビリティ社会をめざして」

主催:名古屋大学協力会

日時:平成23年7月23日(土)

場所:名古屋大学 野依記念学術交流館

⑤第13回「知多から世界へ」講演会inセントレア

- 主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
- 日 時:平成23年8月26日(金)
- 場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑥第21回建設コンサルタント業務技術発表会
 - 主 催:(社)建設コンサルタンツ協会中部支部
 - 日 時:平成23年10月5日(水)
 - 場 所:愛知産業労働センター
- ⑦第6回新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト
 - 主 催:中日本高速道路株式会社 名古屋支社
 - 日 時:平成23年10月15日(土)
 - 場 所:金山アスナルホール
- ⑧文部科学省戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成プログラム
 - 岐阜大学社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニットシンポジウム 「地盤の災害を考える」
 - 主 催:岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター
 - 日 時:平成23年12月9日(金)
 - 場 所:長良川国際会議場メインホール
- ⑨防災フォーラム
 - 「3.11東日本大震災と濃尾地震の教訓から海溝型巨大地震に備えたフォーラム勉強会」
 - 主 催:実行委員会形式 木曾川上流河川事務所 岐阜県道事務所 越美山系砂防事務所 岐阜県, 沿川・沿道市町(木曾上, 岐阜国)
 - 日 時:平成23年12月22日(木)
 - 場 所:長良川国際会議場 大会議室
- ⑩第14回「知多から世界へ」講演会inセントレア
 - 主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
 - 日 時:平成24年2月2日(木)
 - 場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑪平成の三陸大津波による被災実態と復旧・復興の創造シンポジウム
 - 主 催:名城大学理工学部環境創造学科水環境工学研究室
 - 日 時:平成24年2月3日(金)
 - 場 所:名城大学薬学部ライフサイエンスホール

3. 会議

(1) 支部総会

- 日 時:平成23年5月16日(月)15:00~18:30
- 場 所:レセプションハウス
 - 名古屋通信会館(名古屋市西区牛島町5-6)
- 特別講演:名古屋大学の3名の先生方によるオムニバス形式
- 講演題目『自然災害に立ち向かう～研究の最前線～』
- 講演1 地震による地盤災害の予測
 - 名古屋大学 大学院工学研究科
 - 准教授 山田 正太郎
- 講演2 沿岸災害～津波と高潮～

- 名古屋大学 大学院工学研究科
- 准教授 川崎 浩司
- 講演3 被災した建造物の早期復旧技術
 - 名古屋大学 大学院工学研究科
 - 准教授 国枝 稔
 - 出席者:総会148名 講演会174名
- (2) 顧問会:1回
- (3) 商議員会:3回
- (4) 幹事会:9回
- (5) 調査研究委員会選考委員会:2回
- (6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回
- (7) 技術賞選考委員会:2回
- (8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
- (9) 地域貢献事業運営委員会:1回
- (10) 支部長特命委員会「土木分野における若手人材育成に関する検討委員会」:11回
- (11) 平成24年度全国大会実行委員会:1回
- (12) 戦略WG:9回
- (13) 地域WG:9回
- (14) 広報WG:8回
- (15) 講習会WG:9回
- (16) 発表会WG:9回

平成24年度

1. 主催行事

- (1) 技術講習会
 - 第1回「技術士資格取得のためにー建設部門の2次試験に備えるー」
 - 日 時:平成24年4月16日(月)
 - 場 所:愛知県産業労働センター
 - 参加者:62名
 - 第2回「ポンプ&高流動コンクリート指針」
 - 日 時:平成24年6月26日(火)
 - 場 所:愛知県産業労働センター
 - 参加者:70名
 - 第3回 「CO2削減を考慮したコンクリート建造物の解体, 再利用, 補修技術に関する調査研究小委員会」
 - 日 時:平成24年7月31日(火)
 - 場 所:愛知県産業労働センター
 - 参加者:49名
 - 第4回「鋼構造架設設計施工指針2012版」
 - 日 時:平成24年10月10日(水)
 - 場 所:愛知県産業労働センター
 - 参加者:59名
 - 第5回「けい酸塩系表面含浸工法の設計施工指針(案)」
 - 日 時:平成25年2月18日(月)
 - 場 所:金沢大学サテライト・プラザ
 - 参加者:48名

(2) 土木の日関連行事

- ①親子ふれあい見学会
 - 「木曾三川水郷地区の水辺環境を学ぶ」
 - 日 時:平成24年11月18日(水・祝)
 - 見学先:七里の渡跡, 長良川河口堰, 船頭平河川公園
 - 参加者:30名
- ②市民見学会
 - <三重県>「地域の生活基盤を支え, 災害に強い「命の道」を見学しよう!」
 - 日 時:平成24年11月11日(日)
 - 見学先:紀勢自動車道, 三重県立熊野古道センター 等
 - 参加者:35名
 - <名古屋>「100周年を迎える名古屋の上下水道施設を見に行こう!」
 - 日 時:平成24年11月17日(土)
 - 見学先:掘留水処理センター, 下水道科学館
 - 参加者:24名
 - <長野県>「長野県の安全と環境を考える」
 - 日 時:平成24年11月17日(土)
 - 見学先:犀川 久米路河川トンネル, 諏訪湖 等
 - 参加者:38名
- ③エクスカージョン
 - 「飛騨高山の歴史散策」
 - 日 時:平成24年8月30日(月)
 - 見学先:飛騨・高山
 - 参加者:34名
 - 「四日市」
 - 日 時:平成24年8月31日(火)
 - 見学先:四日市港
 - 参加者:31名
 - 「名古屋港・木曾三川下流を巡るエクスカージョン」
 - 日 時:平成24年12月2日(日)
 - 見学先:名古屋港・木曾三川下流
 - 参加者:29名
- (3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式
 - 日 時:平成24年10月25日(木)
 - 場 所:中部地方整備局中部技術事務所
 - 長篠発電所の堰堤と取水路(愛知県新城市)
 - 長良大橋(岐阜県岐阜市, 大垣市)
 - 手取川霞堤(石川県能美市, 能美郡川北町)
- (4) 中部支部選奨土木遺産パネル展示
 - 日 時:平成24年10月25日(木)~10月26日(金)
 - 場 所:中部地方整備局中部技術事務所
- (5) 市民対象講座
 - 講演1:世界一受けたい減災教室 ～もしもの時のために～

- 講 師:岐阜大学 高木 朗義教授
- 講演2:災害マネジメント力の強化
 - 講 師:北海道大学 高野 伸栄准教授
 - 日 時:平成25年3月11日(月)
 - 場 所:国土交通省 中部技術事務所
 - 参加者:200名
- (6) 研究発表会
 - 日 時:平成25年3月8日(金)
 - 場 所:愛知工業大学
 - 参加者:450名
 - 講演発表論文件数: I~VII部門 251件
- (7) 土木出前講座
 - ①「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
 - 日 時:平成24年6月27日(水)
 - 場 所:ウインクあいち
 - 講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
 - 参加者:60名
 - ②「新聞紙で橋を作ってみよう」
 - 日 時:平成24年8月8日(水)
 - 場 所:岩倉市希望の家(岩倉市)
 - 講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶
 - 参加者:22名
 - ③「近づく大地震ー地震発生のしくみと予測ー」
 - 日 時:平成24年8月29日(水)
 - 場 所:中部運輸局
 - 講 師:長野工業高等専門学校 吉本 吉倫
 - 参加者:83名
 - ④「気候の歴史をさぐる」
 - 日 時:平成24年10月2日(火)
 - 場 所:豊橋市役所
 - 講 師:名古屋工業大学 庄 建治朗
 - 参加者:33名
 - ⑤「地震と津波」
 - 日 時:平成24年11月1日(木)
 - 場 所:南知多町総合体育館
 - 講 師:名古屋大学 川崎 浩司
 - 参加者:17名
 - ⑥「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
 - 日 時:平成24年11月16日(金)
 - 場 所:愛知県自治センター
 - 講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
 - 参加者:30名
 - ⑦「来るべき東海地震に備えてー地震災害をさぐるー」
 - 日 時:平成24年11月22日(木)
 - 場 所:ハートフルスクエアG大研究室
 - 講 師:中部大学 山田 公夫
 - 参加者:80名
 - ⑧「海溝型巨大地震と内陸型地震について知って

- おこう」
日 時:平成24年11月29日(木)
場 所:名古屋市立八幡中学校
講 師:岐阜大学 能島 暢呂
参加者:352名
- ⑨「地震と津波」
日 時:平成25年1月8日(火)
場 所:愛知県立鶴城丘高校環境デザイン課
講 師:名古屋大学 水谷 法美
参加者:34名
- ⑩「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成25年1月25日(金)
場 所:津島市立蛭間小学校
講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
参加者:27名
- ⑪「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成25年2月13日(水)
場 所:名古屋市立有松小学校
講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
参加者:113名
- ⑫「新聞紙に乗ろう！橋の話と実験」
日 時:平成25年2月18日(月)
場 所:知多市立中部中学校
講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶
参加者:9名
- ⑬「地震と津波の基本特性」
「南海トラフ巨大地震・津波の被害予想」
日 時:平成25年2月19日(火)
場 所:西尾市立佐久島小学校
講 師:名古屋大学 川崎 浩司
参加者:15名
- ⑭「緊急地震速報で命をまもる」
日 時:平成25年2月25日(月)
場 所:岐阜県立岐阜工業高等学校
講 師:愛知工業大学 小池 則満
参加者:46名
- ⑮「新幹線の線路保守」
日 時:平成25年2月26日(火)
場 所:西尾市立西野町小学校
講 師:東海旅客鉄道株
参加者:51名
- ⑯「橋のふしぎ」
日 時:平成25年3月5日(火)
場 所:愛知県立東浦高等学校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿
参加者:8名
- ⑰「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」

- 日 時:平成25年2月18日(月)
場 所:豊橋市立幸小学校
講 師:名古屋工業大学 山本 幸司
参加者:199名

(8) 平成25年度全国大会

- 日 時:平成24年9月5日(水)～
平成24年9月7日(金)
場 所:名古屋大学
参加者:2200名(3日間延べ人数)

2. 共催・協賛・後援行事

(1) 共催行事

- ①次世代技術者育成 学生フォーラム「連動する巨大自然災害の減災対応への連携」
主 催:中部地方巨大災害タスクフォース
日 時:平成24年6月8日(金)
場 所:名古屋大学東山キャンパスES総合ホール
- ②先生のための「社会資本」学習支援講座
主 催:先生のための学習支援講座実行委員会
日 時:平成24年8月8日(水)
場 所:名古屋港湾会館

③建設技術フェア2012 in 中部

- 主 催:建設技術フェア2012 in 中部実行委員会
日 時:平成24年10月25日(木)～10月26日(金)
場 所:中部地方整備局中部技術事務所

④「橋梁技術発表会及び講演会 - 鋼橋技術の進化と継承 -」

- 主 催:(社)日本橋梁建設協会
日 時:平成24年11月16日(金)
場 所:東建ホール・丸の内

⑤「学生のための相談コーナー(建設技術フェア2012 in 中部)」

- 主 催:公益社団法人地盤工学会中部支部
日 時:平成24年10月25日(木)～10月26日(金)
場 所:中部地方整備局中部技術事務所

⑥「巨大自然災害に備える～3.11東日本大震災を忘れない～」

- 主 催:国土交通省中部地方整備局
日 時:平成25年3月11日(月)
場 所:中部地方整備局中部技術事務所

(2) 協賛行事

- ①プロジェクトマネジメント学会中部支部シンポジウム
主 催:プロジェクトマネジメント学会
中部支部
日 時:平成24年11月13日(火)
場 所:名古屋工業大学

(3) 後援行事

- ①第15回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成24年8月28日(火)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル

②第7回PIセミナー

- 主 催:(社)社会基盤技術評価支援機構・中部
日 時:平成24年9月21日(金)
場 所:愛知芸術文化センター

③第22回建設コンサルタント業務技術発表会

- 主 催:(社)建設コンサルタンツ協会中部支部
日 時:平成24年10月3日(水)
場 所:愛知産業労働センター

④第7回新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト

- 主 催:中日本高速道路株式会社 名古屋支社
日 時:平成24年10月27日(土)
場 所:テレビアホール

⑤シンポジウム「コンクリート構造物の信頼性向上への提言」-品質向上に向けた生コンからの要望と提言-

- 日 時:平成24年12月15日(土)
場 所:名城大学サテライト多目的室

⑥第16回「知多から世界へ」講演会inセントレア

- 主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成25年2月8日(金)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル

3. 会議

(1) 支部総会

- 日 時:平成24年5月16日(月)15:00～18:30
場 所:レセプションハウス
名古屋通信会館(名古屋市西区牛島町5-6)
特別講演1:超伝導リニアによる中央新幹線計画について
東海旅客鉄道株式会社
取締役中央新幹線推進本部長 宇野 護
特別講演2:超伝導リニアによる中央新幹線計画について
名古屋大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻教授 中村 光
出席者:総会181名 講演会195名

(2) 顧問会:1回

(3) 商議員会:3回

(4) 幹事会:9回

(5) 調査研究委員会選考委員会:2回

(6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回

(7) 技術賞選考委員会:2回

(8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回

(9) 平成25年度全国大会幹事会:2回

(10) 平成25年度全国大会常任委員会:2回

(11) 戦略WG:8回

(12) 地域WG:9回

(13) 広報WG:9回

(14) 講習会WG:8回

(15) 発表会WG:8回

平成25年度

1. 主催行事

(1) 技術講習会

- 第1回「技術士資格取得のために - 建設部門の2次試験に備える -」
日 時:平成25年4月16日(火)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:56名
- 第2回「技術士資格取得のために - 建設部門の2次試験に備える -」
日 時:平成25年5月25日(土)
場 所:金沢大学サテライト・プラザ
参加者:23名
- 第3回「2012制定 コンクリート標準示方書の発刊に伴う講習会」
日 時:平成25年6月5日(水)
場 所:今池ガスホール
参加者:133名
- 第4回「衝撃作用を受ける土木構造物の性能設計」
日 時:平成25年6月7日(金)
場 所:金沢大学自然科学本館大講義棟レクチャーホール
参加者:35名

- 第5回「2013制定 コンクリート標準示方書の発刊に伴う講習会」「これからの道路保全・維持管理特別講演」
日 時:平成25年12月11日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:60名

(2) 土木の日関連行事

- ①親子ふれあい見学会
「『道路・港湾・鉄道』暮らしに身近な土木について学ぼう！」
日 時:平成25年11月17日(日)
見学先:新名神高速道路, 四日市港ポートビル等
参加者:29名

- ②市民見学会
<石川県>「親子見学会」
日 時:平成25年9月7日(土)
見学先:金沢城公園, 金沢能登連絡道路, 北陸新幹線 等
参加者:43名

- <名古屋市>「鉄道の安全を守る技術や施設絵尾見学しよう！」
日 時:平成25年10月27日(日)
見学先:名古屋市交通局レトロでんしゃ館 等
参加者:28名

- <静岡県>「流通拠点となる港湾と新たな流通網となる中部横断自動車道を見学しよう！！」

- 日 時:平成25年11月17日(日)
見学先:袖師埠頭・新興津埠頭, 中部横断自動車道興津川橋 等
参加者:37名
- ③エクスカーション
「陶磁器産業と砂防」
日 時:平成25年8月30日(金)
見学先:愛知県陶磁資料館, 市之倉砂防堰堤など
参加者:26名
「海から港をみてみよう」
日 時:平成25年11月2日(土)
見学先:名古屋海洋博物館, 名古屋港内見学
参加者:19名
- (3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式
日 時:平成25年10月24日(木)
場 所:中部地方整備局中部技術事務所
参加者:80名
信越本線トンネル群 大廻隧道(長野県上水内郡信濃町, 飯綱町), 戸草隧道(長野県上水内郡信濃町), 坂口新田隧道(新潟県妙高市) 鹿島橋(静岡県浜松市天竜区二俣町鹿島) 千垣橋梁(富山県中新川郡立山町, 富山市)
- (4) 中部支部選奨土木遺産パネル展示
日 時:平成25年10月24日(木)~10月25日(金)
場 所:吹上ホール
参加者:715名
- (5) 研究発表会
日 時:平成26年3月7日(金)
場 所:岐阜大学
参加者:501名
講演発表論文件数: I~VII部門 263件
- (6) 土木出前講座
①「液状化しそうな地盤とは?作って調べてみよう」
日 時:平成25年6月26日(水)
場 所:西尾市立一色南部小学校
講 師:名古屋大学 中井 健太郎
参加者:28名
②「橋のふしぎ」
日 時:平成25年6月27日(木)
場 所:岐阜県立関有知高校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿
参加者:37名
③「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成25年7月2日(火)
場 所:北名古屋市総合体育館会議室
講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司
参加者:27名
④「地震と津波の基本特性」 「南海トラフ巨大地震・津波の被害予想」

- 日 時:平成25年7月9日(火)
場 所:北名古屋市総合体育館会議室
講 師:名古屋大学 川崎 浩司
参加者:32名
- ⑤「東海大地震と被害の話」
日 時:平成25年8月5日(月)
場 所:西尾市立東部中学校
講 師:中部大学 山田 公夫
参加者:302名
- ⑥「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成25年9月5日(木)
場 所:知立市立知立中学校
講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司
参加者:208名
- ⑦「地震災害・土砂災害の備えについて」
日 時:平成25年9月19日(木)
場 所:株式会社東芝セミコンダクター&ストレージ社四日市工場
講 師:三重大学 酒井 俊典
参加者:49名
- ⑧「進化しつづける建設材料」
日 時:平成25年10月3日(木)
場 所:鈴鹿市職業訓練センター
講 師:岐阜大学 国枝 稔
参加者:97名
- ⑨「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成25年10月4日(金)
場 所:西尾市立萩原小学校
講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司
参加者:50名
- ⑩「新聞紙に乗ろう!橋の話と実験」
日 時:平成25年10月10日(木)
場 所:富士宮市立東小学校
講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶
参加者:83名
- ⑪「液状化しそうな地盤とは?作って調べてみよう」
日 時:平成25年10月26日(土)
場 所:西尾市立平坂小学校
講 師:名古屋大学 山田 正太郎
参加者:80名
- ⑫「コンクリート構造物の維持管理」
日 時:平成25年11月27日(水)
場 所:愛知県企業庁
講 師:名古屋大学 中村 光
参加者:41名
- ⑬「緊急地震速報で命をまもる」
日 時:平成26年1月23日(木)
場 所:美濃加茂市生涯学習センター

- 講 師:愛知工業大学 小池 則満
参加者:9名
- ⑭「阪神・淡路ならびに東日本大震災からの教訓と大震災時の緊急対応について」
日 時:平成26年1月23日(木)
場 所:輪之内町立福東小学校
講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司
参加者:17名
- ⑮「コンクリート構造物の維持管理」
日 時:平成26年2月7日(金)
場 所:静岡県道路利用者会議
講 師:岐阜大学 小林 孝一
参加者:51名
- (7) 中部地方巨大災害タスクフォース
①歴史・教訓に減災を学ぶ見学会(地震津波編)
日 時:平成25年6月29日(土)
見学先:静岡県湖西市, 浜松市
参加者:31名
②歴史・教訓に減災を学ぶ見学会(大規模土砂災害編)
日 時:平成25年9月11日(木)
見学先:富山県立山町
参加者:35名
③歴史・教訓に減災を学ぶ見学会(台風・高潮編)
日 時:平成25年12月6日(金)
見学先:三重県長島町他
参加者:29名
④歴史・教訓に減災を学ぶ見学会(台風・高潮編)
日 時:平成25年12月7日(土)
見学先:岐阜県岐阜市, 海津町
参加者:28名
⑤迫り来る巨大災害に備える~中部地方巨大災害TF報告会~
日 時:平成26年3月14日(金)
見学先:愛知県産業労働センター (WINC愛知)
参加者:64名
- 2. 共催・協賛・後援行事
(1) 共催行事
①2013年度(第49回)水工学に関する夏期研修会
主 催:土木学会 海岸工学委員会
日 時:平成25年8月26日(月)~8月27日(火)
場 所:名古屋工業大学
②建設技術フェア2013 in 中部
主 催:建設技術フェアin中部実行委員会
日 時:平成25年10月24日(木)~10月25日(金)
場 所:吹上ホール
③橋梁技術発表会及び講演会-100年橋梁を目指した技術-
主 催:(一社)日本橋梁建設協会

- 日 時:平成25年12月6日(金)
場 所:東建ホール・丸の内
- (2) 協賛行事
①「機械製図講習会」
主 催:日本設計工学会東海支部
日 時:平成25年5月14日(火)
場 所:名城大学名駅サテライト
②特別講演会「ここまで来ている風力発電」
主 催:日本設計工学会東海支部
日 時:平成25年6月7日(金)
場 所:名城大学名駅サテライト
③プロジェクトマネジメント学会「中部支部シンポジウム」
主 催:プロジェクトマネジメント学会 中部支部
日 時:平成25年11月12日(火)
場 所:名古屋工業大学
④「第77回見学会 大同特殊鋼 知多工場」
主 催:日本設計工学会東海支部
日 時:平成26年2月21日(金)
場 所:大同特殊鋼 知多工場
⑤「名鉄のハイキング 電車沿線コース『宿場彩る太田橋と春の妖精カタクリを求めて』コース」
主 催:名古屋鉄道(株)
日 時:平成26年3月30日(日)
場 所:太田橋(土木遺産)(美濃加茂市)他
⑥「巨大自然災害に備える~3.11東日本大震災を忘れない~」
主 催:中部地方整備局, 名古屋大学減災連携研究センター
日 時:平成26年3月27日(木)
場 所:名古屋大学 減災連携研究センター
- (3) 後援行事
①名城大学自然災害リスク軽減研究センター 開所記念イベント
主 催:名城大学自然災害リスク軽減研究センター
日 時:平成25年5月31日(金)
場 所:名城大学天白キャンパス
②イブニングサロン第1回
主 催:名古屋工業大学
日 時:平成25年7月1日(月)
場 所:名古屋大学
参加者:23名(内学生11名)
イブニングサロン第2回
主 催:名古屋工業大学
日 時:平成25年10月18日(金)
場 所:名古屋工業大学(中止)
参加者:31名
イブニングサロン第3回

- 主 催:豊田工業高等専門学校
日 時:平成25年11月13日(水)
場 所:豊田工業高等専門学校
参加者:42名(内学生25名)
- ③「道路橋床版の長寿命化修繕に関わる」
主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成25年7月26日(金)
場 所:関市文化会館
- ④第76回見学会 三菱電機名古屋製作所
主 催:日本設計工学会中部
日 時:平成25年7月30日(火)
場 所:三菱電機名古屋製作所
- ⑤第17回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成25年8月28日(水)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑥橋梁保全・長寿命化シンポジウム2013
主 催:国土交通省中部地方整備局
日 時:平成25年8月28日(水)
場 所:名古屋国際センター 別棟ホール
- ⑦Japan Steel Bridge Competition 2013
主 催:土木鋼構造研究ネットワーク
日 時:平成25年8月31日(土)～
9月1日(日)
場 所:名城大学 天白キャンパス
- ⑧43回セメント系固材材セミナー
主 催:(一社)セメント協会
日 時:平成25年9月11日(水)
場 所:KKRホテル金沢
- ⑨第23回建設コンサルタント業務技術発表会
主 催:(一社)建設コンサルタンツ協会
中部支部
日 時:平成25年10月9日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
- ⑩第8回新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト
主 催:中日本高速道路(株)名古屋支社
日 時:平成25年10月27日(日)
場 所:電気文化会館
- ⑪with Dam ☆ Night in Nagoya
主 催:ダム工学会 活性化推進小委員会
日 時:平成25年11月18日(月)
場 所:名古屋大学ES総合館ESホール
- ⑫土木遺産保存活用シンポジウム「土木遺産を地域資産に」
主 催:土木・環境しなの技術支援センター
日 時:平成26年1月17日(金)
場 所:長野県立歴史館
- ⑬第18回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成26年1月28日(火)

- 場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑭文部科学省 成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者の育成」シンポジウム「インフラの町医者が守るみんなの暮らし」
主 催:岐阜大学研究推進・社会連携機構社会資本アセットマネジメント技術研究センター
日 時:平成26年2月26日(水)
場 所:岐阜市文化センター
- ⑮道路橋床版の長寿命化対策に関わる技術講習会
主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成26年5月9日(金)
場 所:名古屋国際センター 別棟ホール
- ⑯平成26年度第1回イブニングセミナー「東海道新幹線土木構造物の大規模改修工事」
主 催:(公社)日本材料学会東海支部
日 時:平成26年6月27日(金)
場 所:一般財団法人ファインセラミックスセンター

3. 会議

- (1) 支部総会
日 時:平成25年5月13日(月)15:00～18:30
場 所:レセプションハウス
名古屋通信会館(名古屋市西区牛島町5-6)
特別講演:浜岡原子力発電所の津波対策工事について
中部電力(株)
執行役員発電本部土木建築 部長 服部 邦男
出席者:総会190名 講演会198名
- (2) 顧問会:1回
- (3) 商議員会:3回
- (4) 幹事会:9回
- (5) 調査研究委員会選考委員会:2回
- (6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回
- (7) 技術賞選考委員会:2回
- (8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
- (9) 戦略会議:2回
- (10) 企画WG:随時
- (11) 地域WG:9回
- (12) 広報WG:9回
- (13) 講習会WG:9回
- (14) 発表会WG:9回

平成26年度

1. 主催行事

- (1) 講習会・技術講座
第1回「技術士資格取得のためにー建設部門の2次試験に備えるー」
日 時:平成26年4月19日(金)

- 場 所:愛知県産業労働センター
参加者:70名
- 第2回「北陸の巨大災害を考える」
日 時:平成26年8月29日(金)
場 所:金沢大学サテライトプラザ
参加者:39名
- 第3回「土木技術者の倫理・技術継承」
日 時:平成26年10月29日(水)
場 所:名古屋市中小企業振興会館
(吹上ホール)
参加者:32名
- 第4回「鋼・合成構造標準示方書 維持管理編」
日 時:平成26年11月11日(火)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:22名
- 第5回「技術士資格取得のためにー建設部門の2次試験に備えるー」
日 時:平成27年3月28日(土)
場 所:北陸地域にて開催予定
参加者:35名
- (2) 土木の日関連行事
①親子ふれあい見学会
「みんなの暮らしを支える土木について学ぼう！」
日 時:平成26年11月2日(日)
見学先:浅川ダム, 冠着橋, 茶臼山地すべり跡地
(動物園・恐竜公園)等
参加者:24名
- ②市民見学会
<富山県>「常願寺川に沿って, 3,000mを降下する」
日 時:平成26年9月6日(土)
見学先:立山カルデラ砂防博物館, 常願寺川の巨大水制群 等
参加者:43名
- <愛知県>「未来を支える社会基盤」
日 時:平成26年11月15日(土)
見学先:新東名高速道路, 安永川トンネル, リニモ車両基地 等
参加者:42名
- <岐阜県>「土木構造物と木曾川」
日 時:平成26年11月22日(土)
見学先:大井ダム, 新丸山ダム 等
参加者:31名
- ③エクスカージョン
日 時:平成26年8月29日(金)
見学先:名古屋港(金城埠頭・ガーデンふ頭・港内)など
参加者:愛知社会科教育研究会海部支部 24名
日 時:平成26年11月1日(土)
見学先:輪中の郷・水資源機構長良川河口堰・中

- 部電力西名古屋火力発電所
参加者:愛知教育大学2年生 56名
- (3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式
日 時:平成26年10月29日(水)
場 所:吹上ホール(名古屋市中小企業会館)
参加者:1035名
- 嫌谷砂防堰堤群(岐阜県中津川市)
旧稲葉地配水塔(愛知県名古屋市)
- (4) 中部支部選奨土木遺産パネル展示
日 時:平成26年10月29日(水)～10月30日(木)
場 所:吹上ホール
参加者:1650名
- (5) 研究発表会
日 時:平成27年3月6日(金)
場 所:豊橋技術科学大学
参加者:528名
講演発表論文件数: I～VII部門 278件
- (6) 土木出前講座
①「橋のふしぎ」
日 時:平成26年5月8日(木)
場 所:愛知県立起工業高校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿
参加者:20名
- ②「東海大地震と被害の話」
日 時:平成26年6月9日(月)
場 所:愛知県立春日井高校
講 師:中部大学 山田 公夫
参加者:38名
- ③「液状化しそうな地盤とは?作って調べてみよう」
日 時:平成26年6月21日(土)
場 所:西尾市立一色南部小学校
講 師:名古屋大学 中井 健太郎
参加者:42名
- ④「進化しつづける建設材料」
日 時:平成26年7月9日(水)
場 所:ウインクあいち(環境税制研究会)
講 師:岐阜大学 國枝 稔
参加者:22名
- ⑤「液状化しそうな地盤とは?作って調べてみよう」
日 時:平成26年9月4日(木)
場 所:稲沢市立大里西小学校
講 師:名古屋大学 山田 正太郎
参加者:78名
- ⑥「都市河川の環境と防災」
日 時:平成26年10月15日(水)
場 所:愛知県立守山高校
講 師:中部大学 松尾 直規
参加者:481名
- ⑦「液状化しそうな地盤とは?作って調べてみよう」
日 時:平成26年10月18日(土)

- 場 所:西尾市立平坂小学校
講 師:名古屋大学 山田 正太郎
参加者:90名
- ⑧「電子紙芝居を使い、水害について考えるワークショップ」
日 時:平成26年11月6日(木)
場 所:菰野町立菰野中学校
講 師:名古屋工業大学 秀島 栄三
参加者:247名
- ⑨「コンクリート構造物の維持管理」
日 時:平成26年12月5日(金)
場 所:愛知県自治センター(愛知県企業庁)
講 師:名古屋大学 中村 光
参加者:30名
- ⑩「進化しつづける建設材料」
日 時:平成26年12月5日(金)
場 所:四日市市文化会館
(北勢測量設計技術協議会)
講 師:岐阜大学 國枝 稔
参加者:25名
- ⑪「海溝型巨大地震と内陸型地震について知っておこう」
日 時:平成26年12月9日(火)
場 所:名古屋市立山王中学校
講 師:岐阜大学 能島 暢呂
参加者:120名
- ⑫「生態系と開発、環境・外来種、生物多様性、環境と生物の関係に関する一般知識から最先端の研究まで」
日 時:平成27年1月19日(月)
場 所:名古屋市立名城小学校
講 師:名古屋工業大学 増田 理子
参加者:46名
- ⑬「災害情報の見方(特に地盤災害に関する降雨情報について)」
日 時:平成27年2月2日(月)
場 所:愛知県立加茂丘高等学校
講 師:玉野総合コンサルタント(株)
長谷川 謙二
参加者:77名
- ⑭「生態系と開発、環境・外来種、生物多様性、環境と生物の関係に関する一般知識から最先端の研究まで」
日 時:平成27年2月9日(月)
場 所:名古屋市立鶴舞小学校
講 師:名古屋工業大学 増田 理子
参加者:28名
- ⑮「コンクリート構造物の維持管理」
日 時:平成27年2月20日(金)
場 所:江南市古知野西公民館

- 講 師:名古屋大学 中村 光
参加者:20名
- (7) 土木市民講座
- ①「ワー!地震だ!君んちの地盤は大丈夫?」
日 時:平成26年7月29日(火)・30日(水)
場 所:オアシス21銀河の広場
講 師:地盤工学会中部支部
久保 裕一・山田 正太郎
参加者:1100名
- ②「名古屋の「道づくり」のあゆみ」
日 時:平成26年8月21日(木)
場 所:北名古屋市総合体育館会議室
講 師:栄公園振興(株) 兼岩 孝
参加者:31名
- ③「名古屋の地下鉄建設の歩み及び地下鉄線路保守作業」
日 時:平成26年8月28日(木)
場 所:北名古屋市総合体育館会議室
講 師:名古屋市交通局 伊藤 正弘
参加者:29名
- (8) 自治体ランチ(愛知県):イブニングサロン
- ①日 時:平成26年5月27日(火)
場 所:愛知工業大学
参加者:21名(学生13名, 社会人8名)
- ②日 時:平成26年7月17日(木)
場 所:名古屋市立工芸高等学校
参加者:19名(学生10名, 社会人9名)
- ③日 時:平成26年9月1日(月)
場 所:愛知県庁
参加者:14名(学生9名, 社会人5名)
- ④日 時:平成26年11月17日(月)
場 所:名古屋工業大学
参加者:17名(学生9名, 社会人8名)
- (9) 学生と技術者の意見交換会
- ①「土木系で学んだことがどのように役に立つのか?」
日 時:平成26年7月25日(金)
場 所:名古屋工業大学
技術者:名古屋市交通局 伊藤 禎浩
対象学生:90名
- ②「国交省でどのような仕事をするのか?」
日 時:平成26年12月3日(水)
場 所:名古屋工業大学
技術者:中部地方整備局 関 信郎
対象学生:60名
- ③「コンサルタント業務の重要性, 社会に果たす役割」
日 時:平成26年12月10日(水)
場 所:名古屋工業大学
技術者:コンサルタント会社CE技術の会
対象学生:57名

- ④「高速道路の建設, 維持管理」[電力会社での勤務とは]
日 時:平成26年12月17日(水)
場 所:名古屋工業大学
技術者:中日本高速道路(株) 秋山
中部電力(株) 星野
対象学生:58名
- ⑤「ゼネコンの仕事のしくみ」
日 時:平成27年1月7日(水)
場 所:名古屋工業大学
技術者:鹿島建設(株) 中田 慎一・上谷 泰高
対象学生:53名
- ⑥「ゼネコンの仕事について」[海外での建設業務]「ゼネコンの様々な仕事形態」
日 時:平成27年1月14日(水)
場 所:名古屋工業大学
技術者:大成建設(株)
脇田 雅之・杉藤 哲也・堀田 新之助
(株)大林組
野村 正順・大窪 貴子
清水建設(株)
伴野 哲也・長谷川 高士
対象学生:54名
- (10) 後援行事
第12回 先生のための「社会資本」の役割について学ぶ学習支援講座
日 時:平成26年7月30日(水)
場 所:中部地方整備局 中部技術事務所
参加者:12名
- (11) その他
「土木学会100周年記念フェスタin中部」
日 時:平成26年7月28日(月)~30日(水)
場 所:オアシス21銀河の広場
参加者:3000名
2. 共催・協賛・後援行事
- (1) 共催行事
- ①建設技術フェア2014 in 中部
主 催:建設技術フェアin中部実行委員会
日 時:平成26年10月29日(水)~10月30日(木)
場 所:吹上ホール
- ②橋梁技術発表会及び講演会-100年橋梁を達成する技術-
主 催:(一社)日本橋梁建設協会
日 時:平成26年12月5日(金)
場 所:東建ホール・丸の内
- (2) 協賛行事
- ①第16回次世代自動車公開シンポジウム「モビリティを支える金属材料」
主 催:名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター

- 日 時:平成26年9月24日(水)
場 所:名古屋大学IB電子情報館東館2階
大講義室
- ②プロジェクトマネジメント学会「中部支部シンポジウム」
主 催:プロジェクトマネジメント学会
中部支部
日 時:平成26年11月11日(火)
場 所:名古屋工業大学
- ③「名鉄のハイキング 電車沿線コース『産業遺産百々貯木場跡と秋の勘八峡』コース」
主 催:名古屋鉄道(株)
日 時:平成26年11月9日(日)
場 所:百々貯木場跡(土木遺産)
豊田市民芸館他
- ④日本材料学会東海支部第52期総会講演会「材料学を減災・防災のためにどう役立てるか」
主 催:公益社団法人 日本材料学会東海支部
日 時:平成27年4月14日(火)
場 所:名古屋大学・環境総合館1F
レクチャーホール
- (3) 後援行事
- ①「名城大学と国土交通省中部地方整備局との連携・協力に関する協定」締結キックオフイベント
主 催:名城大学
自然災害リスク軽減研究センター
日 時:平成26年6月13日(金)
場 所:名城大学 天白キャンパス
- ②第19回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成26年8月28日(木)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ③第46回セメント系固化材セミナー
主 催:(一社)セメント協会
日 時:平成26年9月17日(水)
場 所:ルブラ山王
- ④第8回PIセミナー「2027年の名古屋を構想する-名古屋駅周辺と名古屋都市圏のランドデザイン-」
主 催:(一社)社会基盤技術評価支援機構・中部
日 時:平成26年9月26日(金)
場 所:愛知芸術文化センター12階
アーツスペースA
- ⑤第24回建設コンサルタント業務技術発表会
主 催:(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部
日 時:平成26年10月15日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
(ウインクあいち) 12F
- ⑥第9回新聞紙で作る高速道路(橋)コンテスト
主 催:中日本高速道路(株)名古屋支社

- 日 時:平成26年11月1日(土)
場 所:ナディアパークデザインホール
- ⑦土木見学バスツアー
主 催:公益財団法人 岐阜県建設研究センター
日 時:平成26年11月15日(土)
場 所:神戸町下水道事業, 西濃環境保全センター等
- ⑧現場技術者のための土質力学:第1回講習会
主 催:公益社団法人 地盤工学会北陸支部
日 時:平成26年12月4日(木)
場 所:石川四高記念館
- ⑨第20回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成27年2月10日(火)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑩中部地域づくり協会講演会「『河川学』が支える河川・流域の整備と管理」
主 催:(一社)中部地域づくり協会
日 時:平成27年3月2日(月)
場 所:レセプションハウス名古屋通信会館4F ユニオンホール
- ⑪道路橋床版の長寿命化対策に関わる技術講習会
主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成27年5月8日(金)
場 所:名古屋国際センター 別棟ホール

3. 会議

- (1) 支部総会
日 時:平成26年5月12日(月)15:00~18:30
場 所:レセプションハウス
名古屋通信会館(名古屋市区牛島町5-6)
特別講演:超電導リニアによる中央新幹線計画
東海旅客鉄道株式会社
中央新幹線推進本部副本部長 岩田 眞
出席者:総会204名 講演会255名
- (2) 顧問会:1回
(3) 商議員会:3回
(4) 幹事会:9回
(5) 調査研究委員会選考委員会:2回
(6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回
(7) 技術賞選考委員会:2回
(8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
(9) 戦略会議:2回
(10) 企画WG:随時
(11) 地域WG:9回
(12) 広報WG:9回
(13) 講習会WG:9回
(14) 発表会WG:9回

平成27年度

1. 主催行事

- (1) 講習会・技術講座
第1回「技術士資格取得のためにー建設部門の二次試験に備えるー」
日 時:平成27年4月4日(土)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:66名
- 第2回「モデル橋梁を使った橋梁保全技術」
日 時:平成27年10月30日(金)
場 所:名古屋大学講義室及びニュー・ブリッジ
参加者:28名
- 第3回「電力設備における自然災害の動向と課題」
日 時:平成27年12月17日(木)
場 所:中部大学名古屋キャンパス
参加者:34名
- 第4回「技術士資格取得のためにー建設部門の二次試験に備えるー」
日 時:平成28年3月26日(土)
場 所:金沢工業大学 扇が丘キャンパス
参加者:18名

(2) 土木の日関連行事

- ①親子ふれあい見学会
「橋をツクル×ミル×マナブ「世紀の難工事?ペーパーブリッジを架ける!」
日 時:平成27年10月4日(日)
見学先:ペーパーブリッジ教室, 松川橋, 新湊大橋,
国道8号線坂東立体交差事業現場 等
参加者:10名
- ②市民見学会
<名古屋市>「～生まれ変わる施設～」
日 時:平成27年11月7日(土)
見学先:中川橋, 名古屋環状2号線, 東山動植物園アジアゾウ舎
参加者:31名
- <三重県>「～未来につながる高速道路を見学しよう!～」
日 時:平成27年11月15日(日)
見学先:新名神高速道路(小牧高架橋, 野登トンネル, 安楽川橋)
参加者:40名
- <長野県>「～過去から未来まで暮らしを支える施設を巡る～」
日 時:平成27年11月15日(日)
見学先:国道403号トンネル工事, 牛伏川フランス式階段工 等
参加者:41名
- ③エクスカーション
日 時:平成27年10月30日(金)

見学先:虹のハイウェイ館, 安楽川橋, 野登トンネル, 長良川河口堰, 船頭平閘門管理所等
参加者:51名

- (3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式
日 時:平成27年10月21日(水)~10月22日(木)
場 所:吹上ホール
参加者:2090名
南向発電所取水堰堤(長野県駒ヶ根市中沢)
庄内用水元杵樋門(愛知県名古屋市)
蔵造川水路橋(長野県塩尻市北小野)
- (4) 研究発表会
日 時:平成28年3月4日(金)
場 所:豊田工業高等専門学校
参加者:569名
講演発表論文数:Ⅰ~Ⅶ部門 300件
- (5) 土木出前講座
①「土砂災害はどうしておきる」
日 時:平成27年4月25日(土)
場 所:ウインクあいち(環境税制研究会)
講 師:三重大学 酒井 俊典
参加者:21名
- ②「地震と津波」
日 時:平成27年6月8日(月)
場 所:愛知県立春日井高校
講 師:中部大学 山田 公夫
参加者:35名
- ③「阪神・淡路大震災ならびに東日本大震災からの教訓と大震災への対応について」
日 時:平成27年7月13日(月)
場 所:ウインクあいち(環境税制研究会)
講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司
参加者:20名
- ④「水域防災を考える 千年確率は千分の1の確率ではありません」
日 時:平成27年9月2日(水)
場 所:もくせい会館富士ホール
講 師:名古屋工業大学 北野 利一
参加者:57名
- ⑤「北陸新幹線の構造物の維持管理」
日 時:平成27年10月6日(火)
場 所:富山県立富山北部高等学校
講 師:JR西日本(株) 尾花 祥隆・林 高之
参加者:42名
- ⑥「緊急地震速報で命を守る ー地震・津波のメカニズムを知るー」
日 時:平成27年10月20日(火)
場 所:愛知県立鶴城丘高等学校
講 師:愛知工業大学 横田 崇
参加者:35名

- ⑦「地震と津波, 津波と高潮」
日 時:平成27年11月10日(火)
場 所:愛知県立鶴城丘高等学校
講 師:名古屋大学 水谷 法美
参加者:55名
- ⑧「東日本大震災を踏まえて, 南海トラフ巨大地震の液状化被害を考える」
日 時:平成27年11月25日(水)
場 所:名古屋港湾会館
講 師:名古屋大学 野田 利弘
参加者:110名
- ⑨「近づく大地震ー地震発生のしくみと予測」
日 時:平成28年1月22日(金)
場 所:三菱重工株式会社名古屋誘導推進システム製作所
講 師:長野工業高等専門学校 古本 吉倫
参加者:82名
- ⑩「災害情報の見方(特に地盤災害に関する降雨情報について)」
日 時:平成28年1月29日(金)
場 所:じばさん三重
講 師:玉野総合コンサルタント(株)
長谷川 謙二
参加者:27名
- ⑪「橋のふしぎ」
日 時:平成28年1月30日(土)
場 所:名古屋女子大学中学校・高等学校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿
参加者:187名
- (6) 自治体ランチ(愛知県):イブニングサロン
①日 時:平成27年7月9日(木)
場 所:東海工業専門学校
参加者:22名(学生12名, 社会人10名)
- ②日 時:平成27年12月3日(木)
場 所:名城大学
参加者:36名(学生26名, 社会人10名)
- ③日 時:平成27年12月8日(火)
場 所:愛工大名電高等学校
参加者:21名(学生12名, 社会人 9名)
- ④日 時:平成27年12月15日(火)
場 所:中部大学
参加者:31名(学生20名, 社会人11名)
- (7) 学生と技術者の意見交換会
①「土木技術者に求められるものー何を学び, 何を専門とするのかー」
日 時:平成27年10月26日(月)
場 所:愛知工業大学
技術者:(株)アイコ代表取締役社長 中村 吉男
対象学生:愛知工業大学1年生164名

- ②「国土の基盤を支える土木技術者」-社会基盤の企画から維持管理まで-
日 時:平成27年12月7日(月)
場 所:名城大学
技術者:国土交通省中部地方整備局 大口 鉄雄
中日本高速道路(株) 川島 陽子
(株)オリエンタルコンサルタンツ 大内 隆志
(株)大林組 岩城 孝之
ショーボンド建設(株) 平塚 慶達
対象学生:土木工学を専攻する各大学大学生236名

(8) 学習支援講座

- 第13回 先生のための「社会資本」の役割について学ぶ学習支援講座
日 時:平成27年8月10日(月)
場 所:中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
参加者:5名

2. 共催・協賛・後援行事

(1) 共催行事

- ①建設技術フェア2015 in 中部
主 催:国土交通省中部地方整備局, 名古屋国際見本市委員会
日 時:平成27年10月21日(水)~10月22日(木)
場 所:吹上ホール
- ②橋梁技術発表会及び講演会
主 催:(一社)日本橋梁建設協会
日 時:平成27年11月13日(金)
場 所:東建ホール・丸の内

(2) 協賛行事

- ①日本図学会中部支部30周年記念講演会
主 催:日本図学会中部支部
日 時:平成27年7月17日(金)
場 所:名古屋大学東山キャンパス
- ②平成27年度 第80回見学会
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成27年7月31日(金)
場 所:高速精密プレス製造工場
- ③第5回特別講演会と見学会
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成27年11月16日(月)
場 所:富士ゼロックスマニュファクチャリング(株)鈴鹿事業所
- ④平成27年度中部支部シンポジウム
主 催:一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会中部支部
日 時:平成27年11月12日(木)
場 所:名古屋工業大学 51号館 5101講義室

- ⑤平成27年度 第81回見学会
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成28年1月29日(金)
場 所:シンフォニアテクノロジー(株)豊橋製作所

(3) 後援行事

- ①「道路橋床版の長寿命化対策に関わる技術講習会」
主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成27年7月3日(金)
場 所:岐阜県科学技術振興センターテクノプラザ本館4プラザホール
- ②第21回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成27年8月28日(金)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ③「道路橋の長寿命化対策に関わる技術講習会」
主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成27年9月14日(月)
場 所:静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ
- ④第25回建設コンサルタント業務技術発表会
主 催:(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部
日 時:平成27年10月14日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
- ⑤第6回次世代地盤改良技術に関するワークショップ
主 催:国立研究開発法人土木研究所 北海道大学, 富山県立大学
日 時:平成27年10月20日(火)
場 所:富山国際会議場 大手町フォーラム
- ⑥第22回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成27年10月27日(火)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑦土木見学バスツアー
主 催:公益財団法人 岐阜県建設研究センター
日 時:平成27年10月31日(土)
場 所:東海環状自動車道事業等
- ⑧第10回新聞紙で作る高速道路「橋」コンテスト
主 催:中日本高速道路(株)名古屋支社
日 時:平成27年11月7日(土)
場 所:日本ガイシフォーラムレセプションホール
- ⑨第7回PIセミナー
主 催:一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部
日 時:平成27年11月26日(木)
場 所:愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

- ⑩豊川放水路完成50周年記念事業
主 催:豊川放水路完成50周年記念事業実行委員会
日 時:平成27年12月12日(土)
場 所:豊川放水路及び周辺地域

- ⑪京都大学リスクマネジメント工学講座 第9回市民講座
主 催:京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 災害リスクマネジメント工学(JR西日本)講座
日 時:平成27年12月21日(月)
場 所:金沢都ホテル セミナーホール

- ⑫成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業 「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者の育成のためのカリキュラム設計」コンソーシアム シンポジウム 「続:安全な「みち」のために」
主 催:岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
日 時:平成28年1月29日(金)
場 所:中電ホール

- ⑬第23回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成28年2月5日(金)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑭土木観光シンポジウム「信州の土木を訪ねよう」
主 催:土木・環境しなの技術支援センター
日 時:平成28年2月15日(月)
場 所:長野市生涯学習センター4階大学習室

- ⑮「現場技術者のための土質力学:第1回」講習会
主 催:公益社団法人 地盤工学会北陸支部
日 時:平成28年2月24日(水)
場 所:金沢大学サテライトプラザ 3F・集会室

- ⑯「現場技術者のための土質力学:第1回」講習会
主 催:公益社団法人 地盤工学会北陸支部
日 時:平成28年2月24日(水)
場 所:金沢大学サテライトプラザ 3F・集会室

3. 会議

(1) 支部総会

- 日 時:平成27年5月11日(月)15:00~18:30
場 所:レセプションハウス 名古屋通信会館(名古屋市西区牛島町5-6)
特別講演:「燃料電池自動車MIRAIの開発と水素エネルギー社会の実現に向けて」
トヨタ自動車株式会社 製品企画本部チーフエンジニア 田中 義和
出席者:総会204名 講演会235名

(2) 顧問会:1回

(3) 商議員会:3回

(4) 幹事会:9回

(5) 調査研究委員会選考委員会:2回

(6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回

- (7) 技術賞選考委員会:2回
- (8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
- (9) 戦略会議:2回
- (10) 企画WG:随時
- (11) 地域WG:9回
- (12) 広報WG:9回
- (13) 講習会WG:9回
- (14) 発表会WG:9回

平成28年度

1. 主催行事

(1) 講習会・技術講座

- 第1回「技術士資格取得のために-建設部門の二次試験に備える-」
日 時:平成28年4月21日(木)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:70名
- 第2回「土木技術者の倫理を考える -人と土木と-」
日 時:平成28年7月15日(金)
場 所:名古屋工業大学
参加者:38名
- 第3回「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針(2016年版)」
日 時:平成28年11月9日(水)
場 所:愛知県産業労働センター
参加者:69名
- 第4回「UAVの運用と土木分野における利活用」
日 時:平成29年2月10日(金)
場 所:石川工業高等専門学校
参加者:43名
- 第5回「技術士資格取得のために-建設部門の二次試験に備える-」
日 時:平成29年3月25日(土)
場 所:金沢市異業種研修会館
参加者:20名

(2) 土木の日関連行事

- ①親子ふれあい見学会
橋をツクル×ミル×マナブ「世紀の難工事?ペーパーブリッジを架ける!」
日 時:平成28年7月24日(日)
見学先:ペーパーブリッジ教室, 松川橋, 富山大橋等
参加者:18名
- ②市民見学会
<石川県>「親子でドボク探検!」
日 時:平成28年10月1日(土)
見学先:神谷内トンネル, 金沢外環状道路海側幹線, 金沢港御供田国際コンテナターミナ

- ル, 金沢城公園
参加者:38名
＜愛知県＞「ふらぁ〜り, 土木の旅 ～間近で見る巨大構造物～」
日 時:平成28年11月12日(土)
見学先:名古屋環状2号線, 刈谷ハイウェイオアシス, 矢作ダム
参加者:38名
＜静岡県＞「伊豆へのゲートウェイ! 土木の役割・大切さを学ぼう」
日 時:平成28年11月19日(土)
見学先:国道136号土肥拡幅工事, 国道136号下船原バイパス工事, 天城北道路
参加者:33名
- ③エクスカーション
「中川運河から見る今・昔 ～都市開発と防災～」
日 時:平成28年8月26日(金)
見学先:中川運河, 松重閘門, 露橋水処理センター, リンナイ倉庫, 岡谷鋼機倉庫 等
参加者:愛知社会科教育研究会海部支部 教師20名
- (3) 中部支部選奨土木遺産認定授与式
日 時:平成28年10月20日(木)～10月21日(金)
場 所:吹上ホール
参加者:2,173名
- (4) 研究発表会
日 時:平成29年3月3日(金)
場 所:金沢大学
参加者:536名
講演発表論文数: I～VII部門 309件
- (5) 土木出前講座
①「地震と津波」
日 時:平成28年5月9日(月)
場 所:愛知県立春日井高等学校
講 師:名古屋大学 中村 友昭
参加者:28名
②「地盤の調べ方」
日 時:平成28年6月18日(土)
場 所:株式会社光建 大会議室
講 師:松坂鑿泉(株) 由井 恒彦
参加者:90名
③「液状化しそうな地盤とは? 作って調べてみよう」
日 時:平成28年6月30日(木)
場 所:愛知県立起工業高等学校
講 師:名古屋大学 山田 正太郎
参加者:18名
④「橋のふしぎ」
日 時:平成28年7月11日(月)
場 所:愛知県立小坂井高等学校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿

- 参加者:41名
⑤「地震と津波, 津波と高潮」
日 時:平成28年8月20日(土)
場 所:名古屋港湾会館
講 師:名古屋大学 水谷法美
参加者:51名
⑥「阪神・淡路大震災ならびに東日本大震災からの教訓と大震災への対応について」
日 時:平成28年11月1日(火)
場 所:愛知県立鶴城丘高等学校
講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司
参加者:28名
⑦「自然災害に強い町造りの初歩」
日 時:平成28年11月8日(火)
場 所:愛知県立鶴城丘高等学校
講 師:名古屋工業大学 張 鋒
参加者:28名
⑧「電子紙芝居を使い, 水害について考えるワークショップ」
日 時:平成28年11月17日(木)
場 所:愛知県立海翔高等学校
講 師:名古屋工業大学 秀島 栄三
参加者:28名
⑨「液状化しそうな地盤とは? 作って調べてみよう」
日 時:平成29年1月12日(木)
場 所:岡崎市立北中学校
講 師:名古屋大学 中井 健太郎
参加者:190名
- (6) 自治体ランチ(愛知県):イブニングサロン
①日 時:平成28年5月27日(金)
場 所:豊川高等学校
参加者:19名(学生7名, 社会人12名)
②日 時:平成28年6月17日(金)
場 所:大同大学
参加者:22名(学生10名, 社会人12名)
③日 時:平成28年7月4日(月)
場 所:豊橋技術科学大学
参加者:22名(学生11名, 社会人11名)
④日 時:平成28年10月18日(火)
場 所:椋山学園大学
参加者:28名(学生16名, 社会人12名)
- (7) 学生と技術者の意見交換会
「土木技術者に求められるもの」-何を学び, 何を専門とするのか-
日 時:平成28年12月12日(月)
場 所:名古屋市公会堂
技術者:パンフィックコンサルタンツ(株) 市川 貴也
国土交通省中部地方整備局 金田 達也
矢作建設工業(株) 相澤 治
対象学生:土木工学を専攻する中部圏大学の1～

- 2年生199名
(8) 学習支援講座
第14回 先生のための「社会資本」の役割について学ぶ学習支援講座
日 時:平成28年8月24日(水)
場 所:カモメリア(豊橋市)
参加者:6名
- (9) 調査研究委員会報告会
「地区防災計画の策定支援方法検討委員会」
委員長:中村 光(名古屋大学)
「辰巳用水における土木技術の再考とそれがもたらす今日的意義」
委員長:池本 敏和(金沢大学)
「積雪寒冷地におけるコンクリート構造の劣化と健全度評価の適正化に関する調査委員会」
委員長:久保 善司(金沢大学)
日 時:平成29年3月3日(金)
場 所:金沢大学
参加者:37名
2. 共催・協賛・後援行事
(1) 共催行事
①建設技術フェア2016 in 中部
主 催:国土交通省中部地方整備局, 名古屋国際見本市委員会
日 時:平成28年10月20日(木)～10月21日(金)
場 所:吹上ホール
②橋梁技術発表会及び講演会
主 催:(一社)日本橋梁建設協会
日 時:平成28年10月28日(金)
場 所:東建ホール・丸の内
- (2) 協賛行事
①総会・特別講演
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成28年6月3日(金)
場 所:日本設計工学会東海支部
②機械製図講習会
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成28年6月および8月
場 所:名城大学天白キャンパス
③第50回化学工学の進歩講習会
主 催:公益社団法人 化学工学会東海支部
日 時:平成28年11月9日(水)～10日(木)
場 所:名古屋市工業研究所
④設計フォーラム
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成28年11月25日(金)
場 所:日本設計工学会東海支部
- (3) 後援行事
①「道路橋床版の長寿命化対策に関わる技術講習会」

- 主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成28年5月10日(火)
場 所:名古屋国際センター 別棟ホール
- ②「NATMとシールドトンネルの設計と実際講習会」
主 催:公益社団法人 地盤工学会中部支部
日 時:平成28年6月17日(金)
場 所:中部大学名古屋キャンパス三浦記念会館
- ③「中部地方の橋をどう守るのかを考えるシンポジウム」
主 催:東海構造研究グループ
日 時:平成28年8月19日(金)
場 所:名古屋大学 東山キャンパス
- ④セメント系固材の利活用セミナー
主 催:一般社団法人 セメント協会
日 時:平成28年8月24日(水)
場 所:ルブラ王山
- ⑤第24回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成28年8月26日(金)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑥平成28年度 第1回見学会・第1回講演会
「名古屋港港湾整備および航路浚渫土砂の有効利用に関する見学会および講演会」
主 催:公益社団法人 日本材料学会東海支部
日 時:平成28年9月28日(水)
場 所:名古屋ガーデン埠頭ポートビル
- ⑦第26回建設コンサルタント業務技術発表会
主 催:一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部
日 時:平成28年10月12日(水)
場 所:愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
- ⑧SGST 平成28年度第4回定期研究会(特別会)
「ヨーロッパの橋梁の動向」
主 催:東海構造研究グループ(SGST)
日 時:平成28年10月24日(月)
場 所:名城大学天白キャンパス 研究実験棟II 多目的室
- ⑨平成28年度土木見学バスツアー
主 催:公益財団法人 岐阜県建設研究センター
日 時:平成28年10月29日(土)
場 所:丸山ダム・新丸山ダム工事現場, 旧八百津発電所資料館 等
- ⑩セメント系固材の利活用セミナー
主 催:一般社団法人セメント協会
日 時:平成28年11月2日(水)
場 所:金沢商工会議所会館1Fホール
- ⑪第11回新聞紙で作る高速道路「橋」コンテスト
主 催:中日本高速道路(株)名古屋支社

- 日 時:平成28年12月7日(水)
場 所:電気文化会館イベントホール
- ⑫現場技術者のための土質力学:第3回講習会
主 催:公益社団法人 地盤工学会北陸支部
日 時:平成28年12月7日(水)
場 所:金沢大学サテライトプラザ 3F・集会室
- ⑬第10回PIセミナー「情報通信技術が変える建設産業の将来」
主 催:一般社団法人 社会基盤技術評価支援機構・中部
日 時:平成28年12月16日(金)
場 所:愛知芸術文化センター12階
アートスペースA
- ⑭講習会「コンクリート構造物の長寿命化」
主 催:公益社団法人 日本コンクリート工学会
中部支部
日 時:平成29年1月31日(火)
場 所:名古屋大学ES総合館 ESホール
- ⑮文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」事業コンソーシアムシンポジウム『あたりまえな“みち”のために』
主 催:国立大学法人 岐阜大学工学部
日 時:平成29年2月3日(金)
場 所:今池ガスホール
- ⑯第25回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成29年2月6日(月)
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル

3. 会議

(1) 支部総会

- 日 時:平成28年5月16日(月)15:00~18:30
場 所:レセプションハウス
名古屋通信会館(名古屋市西区牛島町5-6)
特別講演:「土木の広報」～なぜ理解されないのか～「伝わらない」と悩むすべての技術者へ～
日経B P社 建設局編集委員
西村 隆司
出席者:総会196名 講演会224名

(2) 顧問会:1回

(3) 商議員会:3回

(4) 幹事会:9回

(5) 調査研究委員会選考委員会:2回

(6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回

(7) 技術賞選考委員会:2回

(8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回

(9) 戦略会議:2回

(10) 企画WG:随時

(11) 地域WG:9回

(12) 広報WG:9回

(13) 講習会WG:9回

(14) 発表会WG:10回

平成29年度

1. 主催行事

(1) 講習会・技術講座

第1回「技術士資格取得のためにー建設部門の二次試験に備えるー」

日 時:平成29年4月18日

場 所:愛知県産業労働センター

参加者:62名

第2回「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」

日 時:平成29年4月26日

場 所:名古屋大学ES総合館 ESホール

参加者:75名

第3回「モデル橋梁を使った橋梁保全技術」

日 時:平成29年11月8日

場 所:名古屋大学

参加者:25名

第4回「河川シミュレーションソフト i R I C」

日 時:平成30年2月16日

場 所:富山県立大学

参加者:8名

第5回「技術士資格取得のためにー建設部門の二次試験に備えるー」

日 時:平成30年2月22日

場 所:金沢大学サテライト・プラザ

参加者:18名

(2) 土木の日関連行事

①親子ふれあい見学会

「橋で深まる親子の絆 | レゴブロックで橋を作ろう, 学ぼう」

日 時:平成29年10月28日

見学先:千曲川の橋を歩く(須坂市村上橋, 飯山市中央橋等)

参加者:21名

②市民見学会

<富山県>「秘密の土木探検ツアー ～色々なゲートウェイを見に行こう～」

日 時:平成29年10月28日

見学先:富山駅付近連続立体交差事業, 伏木富山港コンテナターミナル, 富山きときと空港

参加者:31名

<名古屋市>「都市生活をささえる 名古屋の水道・下水道」

日 時:平成29年11月18日

見学先:屋上野浄水場, 水の歴史資料館, 広川ポンプ所工事現場

参加者:28名

<岐阜県>「プロフェッショナルの現場を見に行こう！」

日 時:平成29年11月19日

見学先:東海環状自動車道工事現場(大野神戸IC周辺), 世界淡水魚園, 犀川遊水池

参加者:18名

③エクスカージョン

日 時:平成29年9月2日

見学先:東海環状自動車道四車線化事業(鷺見橋, 三尾河橋), 白川郷散策 等

参加者:Japan Steel Bridge Competition2017(JSBC2017)に参加している学生79名

(3) 中部支部選奨土木遺産・パネル展

建設技術フェア2017in中部内

日 時:10月18日(水), 19日(木)

場 所:吹上ホール

名古屋都市センター

日 時:7月14日(火)~17日(月)

(4) 研究発表会

日 時:平成30年3月2日

場 所:名古屋大学

参加者:617名

講演発表論文数: I ~ VII部門 322件

(5) 土木出前講座

①「地震と津波, 津波と高潮」

日 時:平成29年7月6日

場 所:愛知県立春日井高等学校

講 師:名古屋大学 中村 友昭

参加者:41名

②「電子紙芝居を使い, 水害について考えるワークショップ」

日 時:平成29年7月6日

場 所:船越生涯学習交流館

講 師:名古屋工業大学 秀島 栄三

参加者:47名

③「人間の快適生活と生物の生活環境」生物のすみかのしくみ」

日 時:平成29年7月6日

場 所:静岡市葵生涯学習センター

講 師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:72名

④「人間の快適生活と生物の生活環境」生物のすみかのしくみ」

日 時:平成29年7月13日

場 所:静岡市葵生涯学習センター

講 師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:64名

⑤⑥「丈夫な橋づくりコンクール」

日 時:平成29年8月3日, 8月4日

場 所:岩倉市「希望の家」

講 師:愛知工業大学 鈴木 森晶

参加者:29名

⑦「進化しつづける建設材料」

日 時:平成29年8月26日

場 所:名古屋港湾会館

講 師:岐阜大学 国枝 稔

参加者:71名

⑧「災害情報の見方」

日 時:平成29年9月29日

場 所:瑞浪市消防防災センター

講 師:玉野総合コンサルタント(株) 長谷川 謙二

参加者:22名

⑨「大規模地震発生時の緊急避難と緊急対応について」

日 時:平成29年10月2日

場 所:愛知県立半田東高等学校

講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司

参加者:990名

⑩「液状化しそうな地盤とは? 作って調べてみよう」

日 時:平成29年10月26日

場 所:愛知県立海翔高等学校

講 師:名古屋大学 山田 正太郎

参加者:30名

⑪「世界一の線路を守る ～東海道新幹線の線路保守～」

日 時:平成29年10月27日

場 所:T K P ガーデンシティ

講 師:日本機械保線(株) 蟹谷 慎也

参加者:51名

⑫「人間の快適生活と生物の生活環境」生物のすみかのしくみ」

日 時:平成29年11月7日

場 所:静岡市葵生涯学習センター

講 師:名古屋工業大学 増田 理子

参加者:74名

⑬「液状化しそうな地盤とは? 作って調べてみよう」

日 時:平成29年12月5日

場 所:愛知県立鶴城丘高等学校

講 師:名古屋大学 中井 健太郎

参加者:40名

⑭「大規模地震発生時の緊急避難と緊急対応について」

日 時:平成29年12月18日

場 所:岐阜県建設技術協会

講 師:名古屋工業大学名誉教授 山本 幸司

- 参加者:89名
- ⑮「これまでの川づくり・今後の川づくり—安全と環境—」
日 時:平成29年12月19日
場 所:愛知県立鶴城丘高等学校
講 師:名古屋大学 戸田 祐嗣
参加者:44名
- ⑯「橋のふしぎ」
日 時:平成30年2月8日
場 所:愛知県立海翔高等学校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿
参加者:33名
- ⑰「緊急地震速報で命を守る」
日 時:平成30年10月2日
場 所:岐阜県聴覚障害者情報センター
講 師:愛知工業大学 小池 則満
参加者:15名
- ⑱「緊急地震速報で命を守る」
日 時:平成30年2月27日
場 所:静岡市東部生涯学習センター
講 師:愛知工業大学 小池 則満
参加者:80名
- ⑲「橋のふしぎ」
日 時:平成30年3月7日
場 所:学校法人名古屋工業高等学校
講 師:名古屋工業大学 永田 和寿
参加者:25名
- (6) 自治体ランチ(愛知県):イブニングサロン
- ①日 時:平成29年7月4日
場 所:愛工大名電高等学校
参加者:20名(学生10名, 社会人10名)
- ②日 時:平成29年7月10日
場 所:名古屋大学
参加者:27名(学生19名, 社会人8名)
- ③日 時:平成29年10月10日
場 所:豊田工業高等専門学校
参加者:22名(学生11名, 社会人11名)
- ④日 時:平成29年11月2日
場 所:豊橋技術科学大学
参加者:24名(学生13名, 社会人11名)
- (7) 学生と技術者の意見交換会
学生グループによる土木遺産ポスター制作と、それを囲んでの土木技術者と学生および学生同士のディスカッション
日 時:平成29年11月13日
場 所:名古屋工業大学
対象学生:土木を専攻する中部圏の大学および高専の学生 137名
社会人技術者 39名

- (8) 調査研究委員会報告会
「地区防災計画の策定支援方法検討委員会」
委員長:中村 光(名古屋大学)
「木曽川流域圏における対流促進型国土の形成に向けた可能性調査委員会」
委員長:中村晋一郎(名古屋大学)
⑩ 時:平成29年3月2日
場 所:名古屋大学
参加者:27名
- (9) 中部地域における防災・減災シンポジウム
「中部地方整備局, 土木学会を始めとした各学会, 名大減災研における防災・減災への取組紹介」
「中部地域の防災・減災強化に向けたパネルディスカッション」
日 時:平成30年4月25日
場 所:名古屋大学
参加者:120名

2. 共催・協賛・後援行事

- (1) 共催行事
- ①建設技術フェア2017 in 中部
主 催:国土交通省中部地方整備局, 名古屋国際見本市委員会
日 時:平成29年10月18日~10月19日
場 所:吹上ホール
- ②橋梁技術発表会及び講演会
主 催:(一社)日本橋梁建設協会
日 時:平成29年10月27日
場 所:東建ホール・丸の内
- ③地域シンポジウム2017中部「わが国におけるPPP/PFI推進に向けた新たな取り組み」
主 催:公益社団法人土木学会 建設マネジメント委員会
日 時:平成29年11月20日
場 所:名古屋工業大学 講堂1階ホール (NITechホール)

(2) 協賛行事

- ①機械製図講習会
主 催:公益社団法人 日本設計工学会東海支部
日 時:平成29年6月および8月
場 所:名城大学天白キャンパス

(3) 後援行事

- ①「コンクリート構造物の長寿命化に関わる技術講習会」
主 催:(一社)日本建設保全協会
日 時:平成29年6月30日
場 所:名古屋国際センター 別棟ホール
- ②第26回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成29年8月28日
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル

- ③ジャパンスティールブリッジコンペティション2017(JSBC2017)
主 催:JSBC実行委員会
日 時:平成29年8月31日~9月1日
場 所:岐阜大学
- ④第27回建設コンサルタンツ業務技術発表会
主 催:(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部
日 時:平成29年10月4日
場 所:愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
- ⑤第12回新聞紙で作る高速道路「橋」コンテスト
主 催:中日本高速道路(株)名古屋支社
日 時:平成29年11月11日
場 所:電気文化会館会館イベントホール
- ⑥「景観からの道づくり」講習会 in 名古屋
主 催:(一社)日本みち研究所
日 時:平成29年11月14日
場 所:ウインクあいち5階「小ホール」
- ⑦現場技術者のための土質力学:第4回講演会
主 催:公益社団法人地盤工学会北陸支部
日 時:平成29年11月29日
場 所:金沢大学サテライトプラザ 3F・集会室
- ⑧講習会「土木・建築分野の生産性向上技術の現状と将来」
主 催:公益社団法人日本コンクリート工学会中部支部
日 時:平成30年1月26日
場 所:名古屋大学ES総合館 ESホール
- ⑨第27回「知多から世界へ」講演会inセントレア
主 催:特定非営利活動法人「知多から世界へ」
日 時:平成30年2月6日
場 所:中部国際空港(株) 第2セントレアビル
- ⑩文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」連携コンソーシアムシンポジウム「続:あたりまえな“みち”のために」
主 催:国立大学法人岐阜大学工学部
日 時:平成30年2月27日
場 所:高山市民文化会館
- ⑪第307回コンクリートセミナー
主 催:(一社)セメント協会
日 時:平成30年3月8日
場 所:ルブラ王山

3. 会議

(1) 支部総会

- 日 時:平成29年5月15日(月)15:00~18:30
場 所:レセプションハウス
名古屋通信会館(名古屋市西区牛島町5-6)
特別講演:使いたくなるSIP維持管理技術の地域実装にむけて
岐阜大学名誉教授 六郷 恵哲

- 出席者:総会173名 講演会214名
- (2) 顧問会:1回
(3) 商議員会:3回
(4) 幹事会:9回
(5) 調査研究委員会選考委員会:2回
(6) 優秀研究発表賞選考委員会:2回
(7) 技術賞選考委員会:2回
(8) 土木学会選奨土木遺産中部支部選考委員会:4回
(9) 戦略会議:2回
(10) 企画WG:随時
(11) 地域WG:9回
(12) 広報WG:9回
(13) 講習会WG:9回
(14) 発表会WG:10回

8.2 中部支部歴代役員

8.2.1 中部支部選出本部役員一覧

平成21年度 理事 犬飼 隆一 後藤 芳顯	平成26年度 理事 清水 茂 野田 豊範
平成22年度 理事 後藤 芳顯 安田 勝一	平成27年度 理事 野田 豊範 八嶋 厚
平成23年度 副会長 林 良嗣 理事 安田 勝一	平成28年度 理事 八嶋 厚 小室 俊二 監事 巾 淳二
平成24年度 副会長 林 良嗣 理事 宮池 克人 監事 高木 英樹	平成29年度 理事 小室 俊二 高山 純一 監事 巾 淳二
平成25年度 副会長 宮池 克人 理事 清水 茂 監事 高木 英樹	平成30年度 理事 市川 育夫 高山 純一

8.2.2 中部支部役員一覧

平成21年度 支部長 山本 幸司 顧問 深谷 一 大橋 雄六 川本 眺万 松浦 聖 石井 晃一 河本 毅一 内田 敏久 蛇川 雄司 小柳 洽 松尾 稔 伊佐治 敏 犬飼 隆一 松井 寛 本多 啓 大根 義男 宇佐美 勉 藤井 則義 渡辺 恭久 四俵 正俊 宮池 克人 商議員 佐藤 直良 富田 英治 安田 実 川西 寛 金森 吉信 北川 貴志 衛門 久明 入江 靖 植田 剛史 井波 久治 村上 芳樹 落合 博和 片山 健一 富野 哲郎	岩田 久志 馬場 直俊 長尾 登起夫 佐藤 清 井山 聡 山田 健太郎 中井 照夫 梶川 康男 小山 健六 郷 惠哲 本田 秀行 田中 博通 藍田 正和 柴田 俊治 森下 忠司 伊藤 秀生 田中 秀育 梅木 健一 長瀬 英彦 大島 弘 高木 不折 初田 収藏 岩田 好一朗 安田 勝一 安藤 晟光 丸井 国治 伊藤 義人 杉村 俊治 山本 秀隆 西川 力 幹事長 富永 晃宏 副幹事長 小畑 誠 幹事 阿河 武志 阿部 俊彦 五十嵐 心一 市川 育夫
--	---

岩田 宰衣 斐 信行 太田 好宣 加藤 茂 加藤 芳弥 金沢 和幸 兼岩 孝 川那部 嘉彦 喜瀬 茂樹 国枝 稔 児島 利治 小林 康成 榊原 和成 杉本 芳昭 鈴木 森晶 鷺見 浩一 高木 英樹 高木 善幸 高柳 伸次 竜澤 宏昌 田中 浩二 田中 信治 張 鋒 永瀬 信一 中山 章 仁木 将人 西村 大司 野口 好夫 野田 宏治 花本 希樹 早川 誠 広浜 全洋 藤居 良夫 藤田 宗寛 藤田 素弘 二木 孝則 星野 悟 堀内 将人 本田 敦 水野 英二 宮崎 安弘 宗藤 洋 村上 耕一 山崎 聡 和田 清 高柳 伸次 藤田 宗寛	小山 健 六郷 惠哲 松尾 直規 木村 勝行 服部 邦男 柴田 俊治 森下 忠司 伊藤 秀生 田中 秀育 後藤 晴男 長瀬 英彦 大島 弘 高木 不折 初田 収藏 岩田 好一朗 安田 勝一 安藤 晟光 丸井 国治 伊藤 義人 杉村 俊治 山本 秀隆 西川 力 富永 晃宏 幹事長 関 雅樹 副幹事長 長谷川 昌明 幹事 藍檀 オメル 阿河 武志 浅野 憲哉 安達 行彦 荒川 泰二 五十嵐 心一 牛田 啓彦 内田 吉文 衣斐 信行 太田 好宣 梶原 雅也 加藤 友秋 加藤 博和 金沢 和幸 兼岩 孝 喜瀬 茂樹 木全 博聖 櫛田 昌紀 児島 利治 小林 晃 淡澤 博幸 鈴木 森晶 宗宮 裕雄 高木 英樹 高野 典礼 田中 浩二 田中 信治 田中 義章 徳永 光晴 虎谷 和幸 中根 章雄 永瀬 信一 成瀬 龍也 長谷川 豊 花本 希樹 波間 寛 早川 誠 秀島 栄三 藤居 良夫 二木 孝則 本田 敦 前川 宏之 水野 英二 宮崎 安弘 村上 耕一 山崎 聡 山田 敏夫 渡辺 義則 虎谷 和幸 中根 章雄
平成22年度 支部長 野田 豊範 顧問 杉山 孝雄 多田 尚夫 深谷 一 大橋 雄六 川本 眺万 松浦 聖 石井 晃一 河本 毅一 内田 敏久 蛇川 雄司 小柳 洽 松尾 稔 伊佐治 敏 犬飼 隆一 松井 寛 本多 啓 大根 義男 宇佐美 勉 藤井 則義 渡辺 恭久 四俵 正俊 宮池 克人 商議員 富田 英治 岩立 忠夫 野田 徹 川西 寛 金森 吉信 北川 貴志 森山 誠二 入江 靖 植田 剛史 牧田 潔 村上 芳樹 落合 博和 三輪 友夫 澤田 幹雄 岩田 久志 馬場 直俊 長尾 登起夫 佐藤 清 富岡 誠司 林 良嗣 中井 照夫 梶川 康男	平成23年度 支部長 伊藤 義人 顧問 杉山 孝雄 多田 尚夫 深谷 一 大橋 雄六 川本 眺万 松浦 聖 石井 晃一 河本 毅一 内田 敏久 蛇川 雄司 小柳 洽 松尾 稔 伊佐治 敏 犬飼 隆一 松井 寛 本多 啓

第II編 中部支部のあゆみ

商議員	大根 義男	宇佐美 勉
	藤井 則義	渡辺 恭久
	四俵 正俊	宮池 克人
	山本 幸司	野田 豊範
	富田 英治	岩立 忠夫
	野田 徹	近藤 隆之
	金森 吉信	北川 貴志
	森山 誠二	入江 靖
	植田 剛史	牧田 潔
	村上 芳樹	吉川 開二
	三輪 友夫	澤田 幹雄
	岩田 久志	酒井 利夫
	鈴木 泰治	石垣 英一
	富岡 誠司	林 良嗣
	中井 照夫	梶川 康男
	小山 健	六郷 惠哲
	松尾 直規	木村 勝行
	服部 邦男	柴田 俊治
	渡邊 清	高木 英樹
	桑原 克仁	加藤 雄三
	長瀬 英彦	岩田 好一朗
	安田 勝一	安藤 晟光
	丸井 国治	杉村 俊治
	山本 秀隆	西川 力
	富永 晃宏	関 雅樹
幹事長	水谷 法美	
副幹事長	山本 俊行	
幹事	藍壇 オメル	青山 清隆
	安達 宗徳	荒川 泰二
	五十嵐 心一	牛田 啓彦
	内田 吉文	衣斐 信行
	大住 真二	太田 好宣
	奥田 孝	尾関 一郎
	梶原 雅也	加藤 昭悦
	加藤 博和	金沢 和幸
	兼岩 孝	神山 藍
	川畑 信之	喜瀬 茂樹
	木全 博聖	葛 漢彬
	柳田 昌紀	小池 則満
	児島 利治	小林 晃
	淡澤 博幸	鈴木 正人
	高乗 智徳	田中 信治
	田中 義章	堂蘭 俊多
	豊田 淳史	虎谷 和幸
	中野 哲朗	中野 正樹
	永瀬 信一	野田 宏治
	長谷川 豊	花本 希樹
	波間 寛	秀島 栄三
	藤居 良夫	前川 宏之
	宮崎 安弘	山田 敏夫
		吉田 吉治

平成24年度

支部長	足立 敏之	
顧問	杉山 孝雄	多田 尚夫
	深谷 一	大橋 雄六
	川本 眺万	松浦 聖
	石井 晃一	河本 毅一
	内田 敏久	蛇川 雄司
	小柳 洽	松尾 稔
	伊佐治 敏	犬飼 隆一
	松井 寛	本多 啓
	大根 義男	宇佐美 勉
	藤井 則義	渡辺 恭久
	四俵 正俊	宮池 克人
	山本 幸司	野田 豊範
	伊藤 義人	安田 勝一
商議員	高橋 浩二	近藤 隆之
	金森 吉信	土井 英尚
	長島 郁夫	北村 勉
	鶴井 秀樹	柴田 聡
	山本 秀隆	吉川 開二
	三輪 友夫	長谷川 篤
	猪熊 康夫	酒井 利夫
	鈴木 高志	石垣 英一
	大澤 健治	辻本 哲郎
	梅原 秀哲	梶川 康男
	小山 健	八嶋 厚
	宮田 讓	舟渡 悦夫
	服部 邦男	柴田 俊治
	渡邊 清	高木 英樹
	桑原 克仁	加藤 雄三
	長瀬 英彦	丸井 国治
	杉村 俊治	西川 力
	富永 晃宏	関 雅樹
	水谷 法美	
幹事長	佐々木 一英	
副幹事長	堀井 義一	
幹事	藍壇 オメル	青山 清隆
	浅野 一光	浅野 哲男
	東 康博	安達 宗徳
	市川 育夫	内田 吉文
	大住 真二	大滝 和広
	大竹 一由	太田 好宣
	奥田 孝	尾関 一郎
	梶原 雅也	加藤 昭悦
	加藤 博和	金沢 和幸
	兼岩 孝	神山 藍

平成25年度

支部長	平井 雄二	
顧問	杉山 孝雄	大橋 雄六
	川本 眺万	松浦 聖
	石井 晃一	河本 毅一
	蛇川 雄司	小柳 洽
	松尾 稔	伊佐治 敏
	犬飼 隆一	松井 寛
	本多 啓	宇佐美 勉
	藤井 則義	渡辺 恭久
	四俵 正俊	宮池 克人
	山本 幸司	野田 豊範
	伊藤 義人	安田 勝一
	梅山 和成	林 良嗣
商議員	山根 尚之	高木 善幸
	土井 英尚	長島 郁夫
	北村 勉	鈴木 研司
	柴田 聡	山本 秀隆
	吉川 開二	三輪 友夫
	望月 清司	猪熊 康夫
	酒井 利夫	恵飛須 朗
	瀬賀 康浩	大澤 健治
	辻本 哲郎	梅原 秀哲
	関 平和	清水 茂
	八嶋 厚	宮田 讓
	舟渡 悦夫	服部 邦男
	前川 功	渡邊 清
	高木 英樹	桑原 克仁
	加藤 雄三	江坂 正安
	杉村 俊治	西川 力
	富永 晃宏	関 雅樹
	水谷 法美	田村 秀夫

平成26年度

支部長	早川 高明	
顧問	杉山 孝雄	大橋 雄六
	川本 眺万	松浦 聖
	石井 晃一	河本 毅一
	蛇川 雄司	小柳 洽
	松尾 稔	伊佐治 敏
	犬飼 隆一	松井 寛
	本多 啓	宇佐美 勉
	藤井 則義	渡辺 恭久
	四俵 正俊	宮池 克人
	山本 幸司	野田 豊範
	伊藤 義人	安田 勝一
	林 良嗣	平井 雄二
商議員	八畝 隆	山根 尚之
	森山 誠二	市川 育夫
	高木 善幸	土井 英尚
	野知 泰裕	奥村 康博
	常田 功二	林 正之
	山下 研二	松井 誠司
	寺田 薫	日比野 進弘

幹事長	市川 和邦	
副幹事長	水野 貢	
幹事	藍壇 オメル	秋葉 雅章
	浅野 一光	栗田 政一
	石川 靖晃	井田 宏正
	伊藤 正弘	大竹 一由
	太田 好宣	奥原 寿隆
	尾関 一郎	加藤 昭悦
	兼岩 孝	神谷 浩二
	神山 藍	川口 雅樹
	川畑 信之	喜瀬 茂樹
	北川 昭彦	北村 佳則
	栗原 賢司	後藤 恭央
	後藤 尚弘	後藤 徳善
	柴田 鋼三	清水 和彦
	鈴木 弘司	鈴木 正人
	高瀬 達夫	武田 誠
	田中 信治	棚橋 秀行
	為重 誠	手計 太一
	戸栗 一泰	永瀬 信一
	長沼 明彦	中村 友昭
	成田 国朝	成田 伸夫
	西元 宏任	野田 宏治
	巾 淳二	伴野 哲也
	牧野 道義	増田 政俊
	松並 孝明	水谷 隆夫
	道浦 真	村田 晶
会計監査	巾 淳二	喜瀬 茂樹

第II編 中部支部のあゆみ

第II編 中部支部のあゆみ

	藤井 元生	恵飛須 朗
	瀬賀 康浩	柴田 和昭
	辻本 哲郎	小畑 誠
	関 平和	清水 茂
	八嶋 厚	本田 秀行
	原田 守博	服部 邦男
	前川 功	渡邊 清
	高木 英樹	桑原 克仁
	加藤 雄三	江坂 正安
	杉村 俊治	山本 秀隆
	西川 力	富永 晃宏
	関 雅樹	水谷 法美
	市川 和邦	
幹事長	鈴木 達之	
副幹事長	井田 宏正	
幹事	栗田 政一	石川 靖晃
	石塚 雅浩	伊藤 正弘
	岩田 靖	大竹 一由
	太田 好宣	岡崎 稔彦
	小川 秀史	奥山 雄介
	尾関 一郎	葛山 裕司
	神谷 浩二	神山 藍
	賀茂 友裕	川北 眞嗣
	川口 雅樹	川野 伸次
	喜瀬 茂樹	鯉田 昭雄
	後藤 徳善	清水 和彦
	鈴木 雅章	関 信郎
	高島 健	高瀬 達夫
	高野 典礼	武田 誠
	堀内 将人	為重 誠
	手計 太一	長沼 明彦
	中村 友昭	成田 国朝
	成田 伸夫	主田 義也
	野田 宏治	伴野 哲也
	増田 政俊	増田 理子
	松並 孝明	丸山 義廣
	三浦 均也	水谷 克也
	水谷 隆夫	村岡 清孝
	村田 晶	山田 薫夫
	吉田 竜生	
会計監査	喜瀬 茂樹	大竹 一由
平成27年度		
支部長	小室 俊二	
顧問	杉山 孝雄	大橋 雄六
	川本 眺万	松浦 聖
	石井 晃一	河本 毅一
	蛇川 雄司	小柳 洽
	松尾 稔	伊佐治 敏
	犬飼 隆一	松井 寛

	本多 啓	宇佐美 勉
	藤井 則義	渡辺 恭久
	四俵 正俊	宮池 克人
	山本 幸司	野田 豊範
	伊藤 義人	安田 勝一
	林 良嗣	早川 高明
商議員	八嶽 隆	海野 修司
	森山 誠二	市川 育夫
	高木 善幸	水谷 優兆
	野知 泰裕	奥村 康博
	常田 功二	林 正之
	山下 研二	松井 誠司
	山本 祐司	日比野 進弘
	藤井 元生	村上 耕一
	瀬賀 康浩	柴田 和昭
	森川 高行	小畑 誠
	関 平和	清水 茂
	八嶋 厚	本田 秀行
	原田 守博	服部 邦男
	前川 功	渡邊 清
	高木 英樹	安東 隆昭
	加藤 雄三	江坂 正安
	杉村 俊治	山本 秀隆
	西川 力	富永 晃宏
	関 雅樹	水谷 法美
	市川 和邦	鈴木 達之
幹事長	八木 恵治	
副幹事長	忽那 幸浩	
幹事	有田 守	栗田 政一
	石塚 雅浩	井田 宏正
	伊藤 明広	伊東 孝
	伊藤 正弘	及川 拓治
	大竹 一由	太田 好宣
	大森 義弘	小川 秀史
	小椋 進	葛山 裕司
	賀茂 友裕	後藤 徳善
	小山 茂	崔 瑛
	鈴木 金治	鈴木 雅章
	角野 晴彦	関 信郎
	高橋 大介	高見 至
	高柳 伸次	田下 昌志
	田中 伊純	堀内 将人
	張 鋒	手計 太一
	中村 晋一郎	成田 国朝
	成田 伸夫	新美 憲一
	主田 義也	原田 守啓
	伴野 哲也	藤井 祐紀
	牧田 通	松岡 隆之
	三浦 均也	水谷 克也
	水谷 隆夫	向井田 亮

	村岡 清孝	村田 晶
	山際 靖博	山本 恒平
	余川 弘至	
会計監査	衣斐 信行	千田 正孝
平成28年度		
支部長	杉戸 真太	
顧問	杉山 孝雄	大橋 雄六
	川本 眺万	松浦 聖
	石井 晃一	河本 毅一
	蛇川 雄司	小柳 洽
	伊佐治 敏	犬飼 隆一
	松井 寛	本多 啓
	宇佐美 勉	藤井 則義
	渡辺 恭久	四俵 正俊
	宮池 克人	山本 幸司
	野田 豊範	伊藤 義人
	林 良嗣	早川 高明
商議員	茅野 牧夫	守屋 正平
	森山 誠二	市川 育夫
	高木 善幸	水谷 優兆
	松村 篤	奥村 康博
	盛谷 明弘	加藤 昭悦
	三輪 友夫	山田 喜美雄
	加藤 友秋	山本 祐司
	牧 哲史	村上 耕一
	浅井 正	柴田 和昭
	中村 光	小畑 誠
	鳥居 和之	大上 俊之
	八嶋 厚	磯部 友彦
	内田 臣一	鈴木 英也
	前川 功	渡邊 清
	高木 英樹	安東 隆昭
	加藤 雄三	江坂 正安
	杉村 俊治	山本 秀隆
	西川 力	富永 晃宏
	関 雅樹	水谷 法美
	市川 和邦	鈴木 達之
	八木 恵治	
幹事長	小林 智尚	
副幹事長	小林 孝一	
幹事	有田 守	伊藤 明広
	伊東 孝	伊藤 文一
	伊藤 正弘	今井 敬三
	呉 承寧	大竹 一由
	太田 好宣	小川 秀史
	小椋 進	葛山 裕司
	賀茂 友裕	木村 秀治
	忽那 幸浩	熊谷 研一
	後藤 徳善	小山 茂

	崔 瑛	佐藤 学
	猿田 吉秀	澤田 守
	高橋 大介	高柳 伸次
	堀内 将人	張 鋒
	手計 太一	轟 直希
	富田 充宏	中村 晋一郎
	成田 伸夫	新美 憲一
	主田 義也	原田 守啓
	平岡 文吾	平田 浩一
	藤井 祐紀	舟田 浩志
	松岡 隆之	三浦 均也
	水谷 克也	水谷 隆夫
	向井田 亮	村田 晶
	山際 靖博	山田 好人
	山本 恒平	余川 弘至
会計監査	千田 正孝	桐山 和也
平成29年度		
支部長	服部 邦男	
顧問	大橋 雄六	川本 眺万
	石井 晃一	河本 毅一
	蛇川 雄司	小柳 洽
	伊佐治 敏	犬飼 隆一
	松井 寛	本多 啓
	宇佐美 勉	藤井 則義
	渡辺 恭久	四俵 正俊
	宮池 克人	山本 幸司
	野田 豊範	伊藤 義人
	林 良嗣	早川 高明
商議員	小室 俊二	杉戸 真太
	塚原 浩一	守屋 正平
	岡村 次郎	河野 修平
	宗宮 裕雄	水谷 優兆
	鈴木 克英	油井 均
	山岸 勇	加藤 昭悦
	三輪 友夫	山田 喜美雄
	加藤 友秋	伊東 正高
	平井 節生	浅野 一光
	浅井 正	青井 保男
	中村 光	小畑 誠
	鳥居 和之	大上 俊之
	八嶋 厚	磯部 友彦
	内田 臣一	鈴木 英也
	小笠原 功	松野 篤二
	高木 英樹	笹川 耕司
	岡田 裕輝	江坂 正安
	杉村 俊治	山本 秀隆
	西川 力	富永 晃宏
	関 雅樹	水谷 法美
	市川 和邦	鈴木 達之

第II編 中部支部のあゆみ

第II編 中部支部のあゆみ

Table of staff members including 幹事長, 副幹事長, 幹事, and 会計監査 with names like 八木 恵治, 浦上 博行, etc.

平成30年度

Table of staff members for Heisei 30, including 支部長, 顧問, and 商議員 with names like 松野 篤二, 大橋 雄六, etc.

Table of staff members including 幹事長, 副幹事長, 幹事, and 会計監査 with names like 平井 節生, 麻山 健太郎, etc.

※役員一覧は各年度土木学会中部支部通常総会当時(各年度5月)

8.3 会員数の変遷

土木学会の会員には、正会員(個人, 法人), 学生会員, 特別会員の種別がある。図8.1は、中部支部における平成29年度の会員数を種別ごとに示したものである。

図8.3は、平成20年度から29年度までの会員数の変遷を示したものである。図中の棒グラフが中部支部の会員数とその内訳を示している。

世間では少子化と呼ばれるなか、学生会員数が着実に増えている点に注目したい。これは、中部支部に所属する大学ならびに高専での技術者教育の一環として、学生には早期から学会員になることを勧め、各種イベントに積極的な参加を求めていることが、着実に結果として現れたものとする。

学生会員から、卒業後も自動的に引き続いて、正会員となることにより、今後の日本の建設業界を担う若手技術者が、土木学会員の立場でも活躍してもらえることにもつながるので、頼もしいかぎりである。

(平成30年3月31日現在)

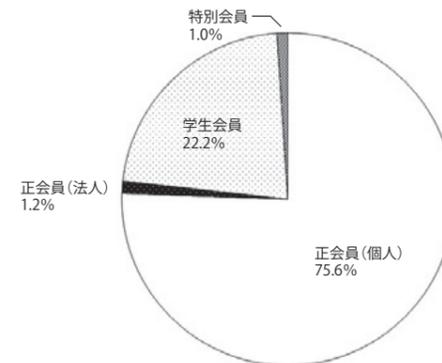


図8.1 中部支部における種別ごとの会員数 (平成30年3月31日現在)

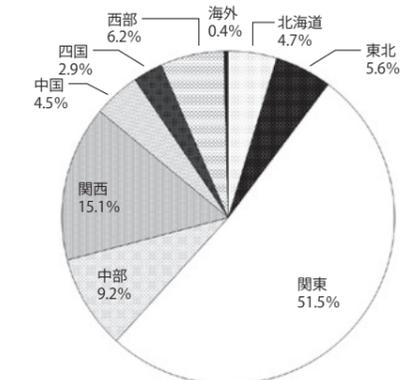


図8.2 支部ごとの会員数の割合 (平成30年3月31日現在)

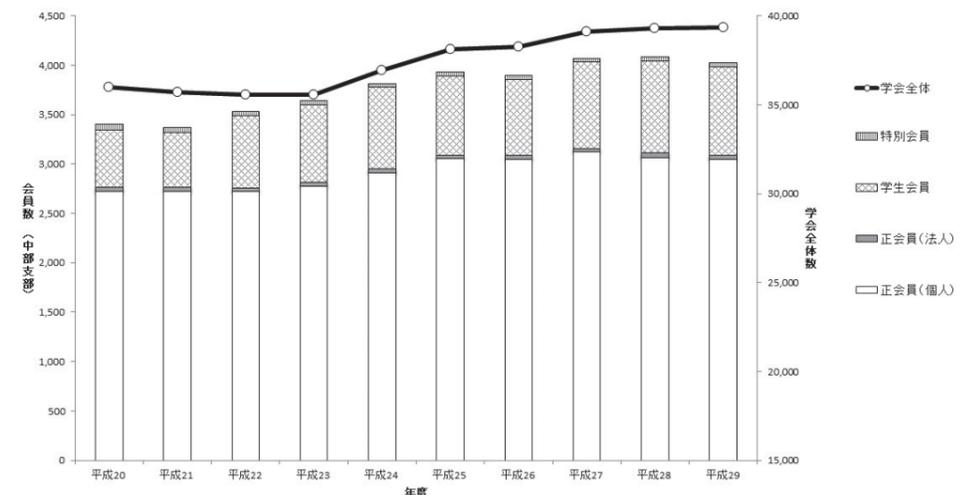


図8.3 中部支部および土木学会全体の会員数の変遷